

特高警察思想係座談會

大阪府特高課思想係

要旨

国立公文書館	
分類	
配架番号	3 A 15 40-8



内務省主催近畿府縣特高課思想係(右翼)座談會要旨

一日 時 昭和十七年九月三十日 午前八時三十分

二 場所 大阪市北區中之島三丁目 新大阪ホテル會館

三 出席者

内務省 久井事務官他二名

近畿府特高課長 細谷喜一

京都 大窪光則 木村忠義

兵庫 草場崎夫 中村五郎

滋賀 角野幸 佐々木静也

奈良 村井茂雄 高橋義志

和歌山 田中安吉 小崎貞一

大阪 小橋勇 中村増造



開會ノ辞

前田俊夫 由井正七

大阪府特高課長 細谷喜一

開會ニ先ダチ一言御挨拶申上ゲマス  
今日本省ニ於カレマシテハ特高就中右翼、左翼、権威者ヲ會同ニシ  
リマシテ今日迄ノ長イ間ノ御苦勞ニ基ク所ノ各般ノ体験ヲオモヒ  
ニ研究検討シ合ヒ以テ貴重ナル体験ヲ一般視察員ノ参考ノ資  
料トシテ日常ノ執務ニ資セントスルモノデアリマス。  
本省ケラ久井事務官始メ關係係官ガ御見エニナリマシテ我々  
日常第一線ニ立チ其ノ衝ニ當ツテ居ル者ニ對シ御指導ヲ賜リマ  
ス事ハ大イニ益スル所ガアルコトヲ期待致シマスト共ニ我々ト致シマ  
シテハ益々倍加スル職任ノ重大サニ彌々感奮興起セネバナラナ  
イノデアリマス。

昭和十七年九月三十日

於新大阪ホテル

近畿府縣 特高警察思想係(右翼)座談會要旨

大阪府特高課思想第二係

362865  
1954

時局下右翼左翼共ニ其ノ事務ハ煩雜ノ度ヲ加ヘツ、アリマス  
例之大東亞省ノ設置ニ就テ見マシテモ支那事変當時ハ餘程  
事情ヲ異ニ致シテ居リマシテ軍ニ官制ノ改革ニ止マラス今日ノ大  
東亞省ガ統帥大権ニ基イテ軍政ガ布カレテ居タノ内閣ノ責任  
タル行政若下ノ軍政ニ副期的飛躍ヲ遂ゲタモノデアリマシテ従来  
ノ如ク統帥大権ニ基ク軍政ニ對シマシテハ比較的批評ガ尠カツタ  
ノデアリマスガ行政権ニ基ク軍政ニ移行シク今日デハ今年末末  
年初頭頃ヨリ之ガ論議ガ豫想セラル、ノデアリマス。

殊ニ愛國陣營ノ動向ハ相當活潑ナルモノガアリマシテ注意ヲ要スル  
モノト思ハレマスシ左翼方面ニ於キマシテモ各般ノ事犯横擧ヲ見ツ  
、アルノデアリマシテ従来ヨリ又更ニ一層其ノ陣營ヲ整備シ將來ハ  
躍進ニ備ヘホバトラスト思フノデアリマス。

斯ナル際本省関係諸官ノ御指導ノ下ニ時ヲ得マシテ此ノ座談  
會ヲ開催シマスコトハ寔ニ有意義ト存ゼラル、次第デアリマシテ



各位於カレテハ充分御検討上御参考ニ資セラレ度イノデ  
アリマス。  
萬事不行届ト莫ク恐縮ニ堪ハマセンガ何卒御海答ヲ乞フ次  
第デアリマス。

内務事務官 久井忠雄

今回實務研究会ヲ開催スルニ當リ各府縣ニハ事務繁劇、  
中々不拘揃ツテ會同ニナリ地元大阪ニ於カレマシテハ何彼ト御  
配慮ヲ煩ハシ定ニ感謝ニ堪ハナイ次第デアリマシテ衷心御禮  
申上ゲマス。

御承知ノ通り昭和十二年七月支那事変ガ勃發以來警察事務  
ガ繁雜ニナツクト多ク大ニモノデアリマスガ産業救國會、野蠻  
獎勵、協和會等警察本來ノ任務トハ餘程懸隔ノアルヲ  
後次的第二義的意義ヲ持ツモノガ増加シマシタ事ハ著大デアリ

マシテ例之産業救國會ニ署長ガ臨席シテ一場ノ講演ヲナシ  
産業戰士ノ心カラナル愛國ノ至情ニ基ク國策投身ヲ鼓舞  
スル如キ複次的第二義的デアリマシテ警察本來ノ使命ハ  
儼然トシテ控ヘテ居ルノデアリマシテ單ニ警察署長ガ部署  
會所町會等ニ出席シテ講演會ヲマツテ能事終レリトシテ  
居ル様デハ本當ニ使命達成ニ邁進シテ居ルトハ言ハレナイノデ  
アリマス。

世上ニハ戰果ガ治安ヲ維持シテ居ル、警察ハ戰果ニ依ツテ治安  
ヲ維持シテ居ルノデアツテ警察丈ケテ治安ヲ維持シテ居ルノデア  
ト言フ風評ガアリマスガ我々トシマシテハ之ハ聞キ遁シニナナイコトデ  
アリマシテ大ニ自肅自戒任務達成ノ爲メニハ捨身ノ心構ヘカ必  
要デアルト痛感致シテ居ル次第デアリマス。

共產主義運動ノ取締ニ致シマシテ又表面上活潑ナ動キガナイカラ  
運動ガ停止シタ如ク思ヒ各種講演會、座談會等ニ出席



致シテ居ルノミデハ所期ノ目的ノ到底達セラレナイデアリマス。  
我々が確固タル地步ニ立ツテ職域奉公ニ邁進シナケレバ警察  
組織ハ四離滅裂ノ陣容ハ宙ニ浮イテ治安維持ノ大任ハ  
果セナイデアリマス。

警察本來ノ任務ガ何デアルカヲ三思反省スルノ必要ガアルノデ  
ハナカラウカト思フデアリマス。現在ハ我々政府當路者ノ打ツタ  
手が人情ニ合致シテ居ルカ真ニ國民生活ノ生々タル面ニ觸レテ  
居ルカ何ウカヲ検討シテ見ル時期ニ到達シテ居ルノデアアルマイカ  
ト思ハレルノデアリマス。

警察トシテモ昭和十二年以來ノ警察行政ノ跡ヲ回顧シテ見ル  
必要ガアル。斯カル意味ウケテ警察ハ其ノ本來ノ使命トスル治安  
的觀望ニ一應立テ歸ツテ面検討ヲ要スルト言フコトニナリマスノデ  
各位ガ從來ノ経験セラレタコトヲ中心ニシテ苦心、失敗、成功シタ事  
例ヲ研究スレバ其所ニ幾多ノ貴重ナル資料ガアリマスノデ之ヲ採

リ上ゲテ後進警察官ノ執務教養資料ニ供シ度イト思フノデ  
アリマス。尚我々トシマシテモ警察ノ行キ方ガ現在ノ通りデ良イ  
カ付ウカ深ク考フベキモノガアリマスガ私が前述シマシタ事ニ就テ  
細部のニハニ三謬ツタ考ヘモアルカトモ思ヒマスガ其ノ大綱ハ決  
シテ謬ツテ居ラナイト確信シテ居リマス。  
各位ハ此ノ機會ニ忌憚ナク過去ノ御経験ナリ將來ノ御意見ナリ  
ヲ述ベラレマシテ充ニ分ニ御検討アラシコトヲ願ヒ致シ度イノデ  
アリマス。

會ノ進行ニ付キマシテハ私ノ方カラ指名シテ進行致シマス。ソシテ  
此ノ座談會ノ記録ハ大阪デ調製シマシテ各府縣ニ送附面ビ大  
阪ニ回收スル様ニ致シ度イト思ヒマス。  
デハコレカラ午前中右翼關係ノ事項午後ハ左翼關係ノ事項  
ニ就テ話ヲ進メテ行キ度イト思ヒマス。時間ガ足ラナイ言フ儘ガ  
アルデ事件ノ大要ヲ述ベ詳細ニ涉ラナイ様簡略ニ願ヒマス。

座談ハ座ツタ儘デ結構デス。

大阪府 (第二係長)

(小橋警部)

先ツ私ノ希望ヲ述ベマスレバ此種座談會ハ從來ヨリ各府縣ニ於テ希望セラレテ居ツタ處デアリマスガ色々ノ事情デ殆ンド中絶ノ状態ニナツテ居リマスガ出来レバ半年又ハ一年ニ一回ブロック會議ヲ開イテ戴キマシテ御指導ヲ仰ギ度イト思ヒマス。

尚私ハ大阪ヲ中心トスル大体ノ國家主義運動ノ一般情勢ヲ述ベ個々ノ問題ハ係ノ方カラ述ベルコトニ致シ度イト存ジマス  
久井事務官

一般情勢ハ成ル可ク簡略ニ願ヒ個々ノ事案ハ係ノ方カラ發言サレ  
タラヨロシイ。

(小橋)

大東亞戰爭勃發前大阪府ニ於ケル右翼陣營ハ暗雲低送或ハ前進ヲ叫ブアリ或ハ北進ヲ呼號スル状態ガ因体ノ中ニ在リ居リマシテ何カ勃發スルノデハナイカト危惧ノ念ガ常ニ吾々關係者ノ腦裡ヲ去来スルト言フ様ニ狀況ニアツタデアリマスガ大東亞戰爭ノ勃發後支那事変ハ大東亞戰爭ニ包含サレテ暗雲低送ノ状態ハ一掃サレタ。右翼陣營デハ自分達ノ希望ガ通ツタ或ハ因体ノ幹部間ニハ自分等ノ平素ノ意見ガ政府ニ容レラレクト言フ風ニ解シソレテ暗雲低送ノ一應解消シタデアリマス。  
之ガ國內ノ思想動向ニ共同ノ十氣持ヲ添ヘオ互ヒニ我々ハ大東亞戰爭ノ完遂ニ努力セバナラヌト言フ氣遣ヲ醸成シタデアリマス。  
又四日旅行ノ衆議院議員總選舉ニ際シマシテハ英米的自由主義的思想ノ撲滅、戰爭完遂ヲ叫シダノ民心ニ從イテ行ク更ニ南進北進ヲ叫シテ居ソノ連中ニ一應自分等ノ主張ガ通ツタコトニヨリテ收メ對外的ナモノガ國內的ナモノニ轉換サレ國家社會ヲ大言



壯語シテ者一應ヲ收メテ觀テハアルガ底流面ニ於ケル思想ハ活  
潑ト運動カラ地味ト運動即チ整理運動ハ如キ形態ヲ執ルニ至ツタ  
ルデアリマス。

一例ヲ執ツテ見マシテモ赤誠會、國粹同盟ニ致シマシテモ從來如キ  
運動形態ヲ一擲シテ自己鍊成ノ運動形態ヲ執ルニ至ツタノデアリ  
マス。ソウシテ之等ハ活潑ト運動カラ地味ト運動ニ換ツテ居リマスガ  
時アラステテ收メテ居テモ表面ニ華々シイ活舞台ヲ現出セシト隨時  
共ノ片鱗ヲ示シツアリマシテ大東亞戰爭完遂後力ノ呼號ニモ似  
テ漸次何等カノ機會ニ斯ク如キ片鱗ヲ現ハスノデアリマシテ大阪  
ニ於ケル各種団体ガ一應整理運動ノ形態ヲ執リ現在大キト動キハア  
リマセンガ整理運動ガ自己鍊成ニ努メテ居ルモノハ機會アラバ躍動セ  
ントシテ居ルガ如キ等ノ實相デアリマス。

先般ノ言辭出版會、全結社等臨時取締法ニ依ツテ結社ガ内務  
大臣ノ許可ヲ要スルコトニツク關係上之ノ制約ヲ受ケ政治的思慮

的団体ガ文化団体、研究団体、修養団体ト言フ様々名目ニ置キ換  
ヘラレマシタガ分論之等ハ真ノ意味ニ於ケル修養団体デモ、文化団体  
デモ、研究団体デモ無ク一枚脱皮スレハ思想団体デアリ政治団体デア  
リマシテ吾々トシマシテモ臨時取締法ノ關係カラ一應斯ウシタ名目ニ置  
キ換ヘタ団体ニハ視線ヲ外シテ居リマスガ内面ニ於ケル動向ハ情緒ニ附  
スベキテハナイノデアリマシテ之等団体、實際ハ政治的意味ヲ多分ニ容  
藏シ自分等ノ主張、片鱗ヲ隨時現ハスト言フ狀況ニアリマシテ名目ニ  
捉ハレ修養団体、文化団体、研究団体ト言フ單純ナルモノニ考ヘテハ  
ナラナイノデアリマス。

更ニ最近ノ傾向ト致シマシテ翼賛會其他公的団体ノ中ニ左翼的  
傾向ヲ有スル者ガ之等ノ中ニ役職員トシテ入り又國家主義右翼陣  
營ノ連中ガ自己ノ保身カラ翼賛會ノ役職員ニ賣込運動ヲスルト  
言フ実狀デアリ欺瞞ガ各種ノ整理統合問題ヲ繞リ利益独占主  
義カラ時局便乘主義ノ自由主義的ト動キヲ見セテ居ル次第デアリマ



シテ表面上は榮光の動キ、甚イテアリマス。其裏面ニ於テハ、動キハ、賦閑ニ於テハ米英的思想ガ瀰漫シ、國家主義陣營ニ於テハ自己保身ノ術ニ汲々トシテ相當活動ヲ動キヲ見セテ居ルノテアリマス。

大東亞省ノ設置ヲ繞リ、統帥大權カラ行政權ニ移行シタ南方諸地域ハ、軍政ニ就テハ、今迄ノ統帥大權ニ基ク軍政ニ對シマシテハ、批判ノ餘地ガナカツタガ行政權ニヨル軍政ニ對シテハ、種々ナル論議ガ豫想サレ表面未ダ何等ノ動キガナイ様デアリマス。其内面ニ於テハ大キク動イテ居ルノデアリマシテ、國民ノ間ニハ政府ノ言フ通りニナラネバナナイガ然シソレハ自分等ニ取ツテハ致命傷デアルト言フ思想ガアツテ不平不満ガ充滿シテ居ルト言フノガ實狀デアルト思ヒマス。

又徵用問題ニシマシテハ、待遇其他ヲ繞ル不平不満ガアリ、軍人遺家族問題ヲ見マシテハ、應召、戦死者遺家族ノ意嚮ヲ徵シマシテハ、表面上ハ國家ノ爲メ、國家ノ死活ニ際シ身命ヲ抛ツノハ當然デアルト一應國家目的ニ透徹シタヤキ言動ヲ爲ス。其裏面カラ視ケト却

々不平不満ガ多ク包藏サレテ居ルノデアリマシテ、凡有方面ニ不平不満ガ内包サレテ居ルノガ今日ノ現状デアルト思フノデアリマス。

斯ナル時期ニ際會シ居ル吾々特高警察ノ擔フ使命ハ大キク之ガ結果ハ重大ナ影響ヲ為安上ニ昭スユトニナリマス。其ノ互ヒガ一意専心職域奉公ニ献身セネバナラヌト確信致シテ居リマス。大体以上ヲ以テ一般的情勢ヲ由上ゲタ次第デアリマス。

大阪府(第三係主任)

(中村警部)

私が右翼ノ主任中村デアリマス。

只今係長カラ一般情勢ニ就テ御話ガアリマシタガ今日ノ右翼運動ガ新ニ形態ヲ採リ而出發シテキルノニ對シ吾々如何ニシテ之ニ對處スベキデアルカラ先ツ考ヘサケレバナラヌト思フノデアリマス。

視察取締ノ對象ガ從來ト異ツタ形態ニ於テ而出發セル今日吾々

又亦新タキル構想ノ下ニ之ニ對應スル視察陣營ノ整備強化ニ格段  
ノ創意ト工夫ヲ加ヘル必要ガアルト思フノデアリマス。表面的ニ  
カキ活動カラ地球ノ塾運動ニ置キ換ヘラレタ右翼ハ構想ヲ新タ  
ニシテ會員ノ獲得ニ奔走シテ居ル現状デアリマスガ就中一新會  
ノ如キ、最近管下ニ於テ演説会ヲ開クコト五回ニ及ビ

其ノ実状ハ 旧會員ノ切換ハ 五〇〇名  
一五〇名  
新會員

ヲ得テ居リマス。從而団体視察ノミニテハ視察内偵線ノ院ヲ期  
シ得ナイ、何ウシテハ將來ハ個人視察ニ重ク置カネハナラ又事ニ  
ナリマス。吾々寡少ナ視察員ヲ以テシテハ個々人ニ就テハ視察内  
偵ハ却々出来難イノデアリマスカラ之ガ對策ト致シマシテ新會員ヤ  
要注意會員 視察ハ各署ノ特高 外勤係ノ協カヲ煩ハス外ハナイハテ  
ナリマスガ従来當府ノ実状ハ特高課ニ於テ直接一切視察取締ニ當リ  
テ餘リ所轄署ニハ知ラセテナカッタ、又今日迄ノ実情ハソレデモ足り  
テ

ハリハデアリマスガ個人ヲ鍊成スル塾運動ニ於テハ單ナル団体ノ視察  
取締ニハ其ノ完備ヲ期シ得ナイ、然レ新シク入會スル者ノ思想  
傾向ニハ尤モ注意シテレベナラヌモガ多イノデアリマス。斯カル重  
要ノ取締對象人物ガ逐日増加スルノデ自然ト特高課ノミデハ目  
ガ届カヌコトニナルノデ此ノ莫ク私達ハ心配致シマシテ新會員ノ視察  
ニ所轄署ノ特高 外勤係ト一体トナリ視察陣營ノ強化ガ必要  
デアルト考ヘマシテ當府デハ之ニ應ズル係員ノ教養ノ目的デ「時報」  
ヲ出スコトニシテ八月號ニ 創刊號トシマシタガ只今御手許ニ差シ上ゲ  
リタノガソレデアリマス。

従来當府特高課カラ特高ノ「時報」ヲ出テ居ツタノデアリマスガ什  
ウシタ關係ガ取締団体ノ或者ノ手ニ渡ツテ居ツタ事ガアリマス此  
レデハイケナイト言フコトア中止シタト言フ様ナ事例モアリマス、  
今回此ノ莫ク考ヘマシテ機密保持ノ莫ク強調スルニ共ニ一々  
奉行番號ヲ取リマシテ其ノ所在ヲ明確ニシテ絕對斯ニナ事ノナ



様ニ注意シテ居ル次第デアリマス。九月第二號ハ只今タイプデ  
敵イテ居リマスノデ兩三日中ニ出来上ル筈デアリマス。只今申上ゲマ  
シタ事ハ内務省カラ御指示ニツイテ居ラレルヲ將來ノ對策ト云フ項  
ニ該當スルノデハナイカト思ツテ居リマス。

次ニ最近ノ事件關係ニ就テ申上ゲテ見度イト思ヒマス。ソレハ本年  
四月衆議院議員總選舉ノ際

佐賀縣カラ立候補シタ 眞崎勝次少將  
ノ應援辯士トシテニニ六事件關係者ト自稱セル

森田満夫

身元調査ヲ佐賀縣カラ通報ニ接シ調査シマシタ處前科四犯ヲ  
有スル者デアルコトガ判リマシタノデ總選舉終了後歸來ヲ待テ換  
擧取調ベマシタ處

辯士隊長 福成神次

ト云フ者が眞崎少將ノ令兄デアル眞崎甚三郎大將ニ私淑シテ

第三者運動ヲ志スルマツタノデアリマスガ此ノ應援辯士ハ皆ニニ六  
事件關係者デアルト誇稱シテ大変ナ人氣デアツタト言フコトデア  
リマスガ結局眞崎少將ガ最高点デ當選シタ事ハ此ノ辯士隊ノ  
旺盛ナル活動ノ結果デアルト言ハレテ居ルノデアリマスガ此ノ隊長デ  
アル福成ニ

### 誅汪陰謀事件

探知シマシタノデ早速活動ヲ開始シ長崎 福岡 警視廳  
ニ關係者ヲ取押ヘラシメ戴イタノデアリマスガ福成ガ大阪ニ着イタ時ニ  
尚行 嘉代部長ニ對シ朝食ガ齋ニデカラ、襖ヲスルカラ襖ガ齋ニダ  
テ手鏡ヲ鏡メテ進行シテ做シイト言フサツハリシタ態度デアリマシ  
テ津警署署ニ留置シテ翌日私ト野田警部補ガ取調ヘニ行  
キマシタガサツト立ツテ町宰ニ儀禮ヲ盡シマス然レド人物モ相當ナ  
デアアル而シテ姿態容貌カラ之ハ何カナル人物ト言フ六感ガ自然ニ働イ  
タノデアリマス。斯様ナ第一印象ヲ受ケマシタノデアリ私等トシテモ腹ヲ



締メテカ、ル必要ガアルト思ヒマシテ先方モ男一匹當方モ男一匹ト言  
フ氣持デ取調バマシタガソレガ好結果ヲ齎シ四日間其令貌ガ判ツ  
タ、色々ト書類ヲ見タリ長崎ヲ押收シテ郵便物ヲ検閲シテ居ル中  
〇〇ト言フ伏字ガ多数使用サレテ居タコレハ前後ノ文脈ガ金錢  
デハナク拳銃ニ關連トイハ言フ確信ヲ持ツニ至ツタノデアリマス。  
結局此ノ事件ハ各種ノ事情カラ監視廳ニ於テ取調ヘルコトニテ送  
局サレマシタガ起訴猶豫處分ニナリマシタ。其ノ後福成ガ釋放  
サレテ帰郷ノ途次一席設テ話合セマシタガ其ノ時「拳銃ハ某所  
ニ找シテ置イタノデス。モウ二三日留置シテ取調ベラレタラ吃度言ハ  
ザルヲ得ナカツト思ヒマス」ト語ツテ居リマシタ。又コレハ私達ノ失  
敗デアリマスガ吾々ハ右翼ノ取締ヲマツテ居ルノテ全然左翼ノ方  
ニ氣付カナカツタノデスガ福成ノ手帳ノ中ニハ尾崎秀実一派ノ所  
謂「コゾルゲ」事件ノ關係者ノ名前ガ書留メテアリマシタガ之ハ何  
ノノ關係カト言フ程度テ身柄移牒ニツタノデアリマスガ私モ野田

警部補モ又部下ノ者モ左翼的見地カラ全然追ヒ窮シナカツタ  
デスガ監視廳デハ誅汪事件ヨリ又此ノ事件ノ方ガヨリ重要  
アツテ目下某方面ニ着々捜査ノ手ガ進ビテ居ルト言フ事  
ヲ聞イテ居リマス。「コノ人物ハドノ人物カレト問ハレタ時ハ  
ヲ刺サレル思ヒガシタト後デ告白シテ居リマシタ。  
尾崎秀実一派ガ上海ニ根城ニ活動シ東亞聯盟ノ中ニモ相當  
赤ノ勢力ガ榮喰ツテ居ルカラ實ニ恐ルベキモノガアル。重慶ノ  
情報ガ比較的ヨク入ルト言フノハ彼等ノ中ニゴミンテルント連  
絡シテ居ル者ガアルカラデアリマシテ其ノ代リ日本ノ情報モ亦彼等  
ノ手ヲ通ジテ重慶ニ流レテ居ルト思ハレルノデアリマス。嘗テ  
福岡縣カラ代議士ニ出タコトノアル無産陣營ノ闘士淺原  
健三ガ岡藤ト改名シテ今上海ニ於テ活躍シテ居ルコト又事實  
デアリマスシ滿洲ノ建國大學ニモ大分赤が入ツテ居リ教授ノ中ニハ  
相當ノ意識分子トシテ注目サレテ居ルノ事ナル。

殊。右原莞爾ノ流トシ、及ハ佐官級ニ重慶ト直接交渉セントノ意  
圖ヲ有スル者ガアリ、注意ヲ要スル莫デアリマス。ト申シテ居リマ  
シタガ、何ウシテ左翼運動ノ実状ニ明ルイカト申シマス、ト現地ニ於ケ  
ル右翼運動ヲ發展セシムル爲ニ左翼ノ暗躍ヲ抑壓シカケレバ  
ナラヌ之ガ爲ニハ先ヅ其ノ実態ヲ知ラネバナラスカラ相當此ノ実状  
内偵ニハ苦勞致シマシト申シテ居リマシタ。

以上ノ様ハ事實ヲ反省致シマシテ私達ハ右翼ト言フ先入觀念ガ  
アツテ左翼ノコトヲ念頭ニ置カナカツク爲ニ左翼ノ事ハ全然等閑  
ニ附シタノデアリマシテ全ク失敗デアリマス。將來非常ニ教訓トナツ  
タノデアリマスガ右翼ガカラト言ツテ左翼ニ無関心デアツテハオラス  
私達ハ如何ナル場合デモ思想警察官デアル限り右翼タルト  
左翼タルトヲ論ゼズ両面カラ規察内偵シ檢舉取調ベヨシナケン  
ハナラナイト思フデアリマス。  
久井事務官

偽軍人デアルト言フ事ノ判ツタ端緒ハ  
(中村)

佐賀縣ニ於ケル應援演説デ元陸軍大尉ト自稱シ佐賀縣  
カラ身元調査ノ通報ガアツタカラデアリマシテ當年四十一歳堂  
々タル軍人タイプダシ町内カラ出征應召ノ軍人ノアル時ハ送  
別ノ辞ヲ堂々ト述べタリ又兵營迄見送ツテハ歩哨ニ敬禮サ  
セテ「中隊長ハ居ルカ」ト中隊ニ入ツテ行クト言ツタ調子デ近  
所ノ何人ト雖モ森田ノ軍人デアルト疑フ者ナク近所デ聞イテ  
見テモ「アレハホウトウノ軍人デスゼ」ト心サテ軍人ト信ジテ居タノデ  
アリマスガ滿洲ニ居ツタト言フノニ其ノ當時ノ事ヲ聞イテ見ルト  
曖昧デシンドロエドロニナルノデ偽軍人デアルト言フ事が判リマシタ。  
久井事務官

モウニ三廿シタラテ手帳ノ中ニ記シテアルコトヲ割ルト福成ガ言ツタト  
言フガソレハドウシテヤレナカツタノガ。



(中村)

大体手配ハ長崎、福岡、佐賀、警視廳ニ御願シテ置イタ  
ノデスガ警視廳デハ關係者、都合上自分ノ方デヤルト言フノデ  
内務省ノ方カラ御話モアリ、警視廳ニ移牒シタノデ、福成ノ身柄ハ  
當府ニ於テハ僅カ四日間ニ取調ベ、期間ガナカッタ、誤デ大体本  
人ノ経歴カラ事件ノ概要ヲ取調ベル程度ニ終ツタ、誤デアリス。

細告課長

佐賀縣カラノ通報以前ニ大阪デハ視線内ニカッタノカ。

(中村)

ナカッタノデス。

細告課長

ソウシタ視線外ノ人物ガソナ事ヲヤルノモアルデスナア

久井事務官

右翼ノ取調ベニ一男一匹ト言フ氣持、取調ベガ好結果ヲ齎シタ

茅柳ハ多イ、警視廳ノ関口君ガ西田親ヲ取調ベノ際、西田  
ガ「逃」シテ呉レト頼ミ、関口君モ自分モ切腹ノ吐ヲ決メテ「逃」シ  
レデハ逃シテヤロウト男一匹ノ氣構ヘテ對シタ、處今迄頑トシテ  
白刃割ラナカッタ西田ガスラ、トコヲ割ツタト言フネ。

(中村)

福成ガ大阪駅ニ於テ裸ヲサシテ呉レ、其ノ後デ手錠ヲ篋メテ連行  
シテ、獄ニイト言フ態度、中津署ニ於ケル態度ハ相當儀禮ヲ  
盡シタモノデ、「コリヤ餘程當方又不動ノ心ヲ以テマラネト心構ヲ  
直シテ掛ツタ次第ヲアリマス。一應世間話等、居ル中ニ本人ノ  
態度ニ觀シ、出ルシ本人ノ當方ニ親シク「感」ジテ来ルト言ツタ  
調子デ、福成ハ中津署ニハ「私」ニ當テ、若イ時分、行政留置ノサ  
レタコトガアルヲ想出ソアル署ニ、等ト詰メタモノデス。

ソレデモ、四日中ノ事件ノ全貌ヲ掴ムコトが出来タ、デアリマス。  
思想警察官ハ皇道精神ニ徹シテ居ラネハナラヌ。私ノ決イ



賧カラデモコノ事ハ良ク判ル。殊ニ右翼、取締ニ當ル警察官ハ自  
己鍊成ヲ彼等ニ頭ヲ下ゲサセル位、修練ヲ積マホバナラヌ、ソウ  
スルコトニオツテ彼等ガ人格ヲ打タレ私淑シテ末ル様ニナル、ソウス  
トハ視察ス内偵又本筋ニ入ツタモカ出来ル。右翼陣營ノ連中  
ト共、自己鍊成ヲシテ居ルハ別ニ具體的ノ話ハシテ呉レル道理ガナ  
イガ其處ハ特高警察官ノ感ヲ彼等、勤キガ判ル。  
充ニ分ニ自己鍊成セホバナラヌ。右翼ノ取締ガ左翼、労働等ノ  
視察ト異ニスルト吳ハ笑ニ共ニ自己鍊成シ皇道歸一ノ精神ニ徹ス  
ルト言フ吳ニアルト思ヒマス。

細谷課長

實際君ノ言フ通りダセ、五事件ノ前田、影山ガ本部ニ頑派ツテ  
勤カヌ警視廳カラ警部が行ツテスデテ受付ケヌソシテ「関口  
サンニ末ヲ貰ツテ呉レト言フ」ダソウシテ「自分等ノ心境ハ安倍  
總監ニ直接聽イテ呉レト言フ」ダ彼等ノ心情ガ安倍サンニハツキリ

判ツテ居ルト思ツテサタノダ。同志的ノ氣持ハ克ク通ジルモノダカラ  
一般ニ徹底シテ貰ヒ度イ関口君、諸等ハ中村君ノ話ト符節ヲ  
合スレ

久井事務官

関口君ガ彼等ニ言ツテ居タ事ハ「俺ハ君等ト同ジ氣持ヲ國ヲ憂  
ヘテ居ル」ガ君等ト同志的ノ氣持ヲシタト言フ事ダ。同志的ノ  
氣持ガカラポイントガ合ツテ彼等ノ勤キガ判ル影山ガ警視廳デ  
ノ座談會ノ時ニモ同様ノ事ヲ言ツテ居タ。





大失敗ヲ嘆レタノデアリマスガ其ノ原因ヲ回顧致シマスト  
セハ甚ク言譯ノ標ニテリスガ其ノ右翼運動ノ事イカク頃  
テアリタリ思想係トレテ左翼右翼ニ分レテ居リ右翼係ハ  
全部デナニニ名テアツタノデスカ其ノ十ニニ名ノ者ハ無  
主義運動水平運動學生左翼運動國家主義運動親軍取締  
トシテ左翼ノ部面ノ取締ニ當ツテ居リ現出ノ標ニ右翼大運  
動ノ取締カ増強サレテ居ラス而モ生産党國粹太極党呼  
武合國社系等活潑ナ動ヲラレテ居リマシカ其ノ時ハ  
特ニホテ主トシテガリ切リヤ左翼テ檢舉シタヌノ事ハ  
手依ヒト云フ標ナ事ヲヤラサレテ居リマレテ國家主義運動  
ノ視察ヲ事内ニヤワテ居タモハ捜査部長一名テ其ノ一名  
カ各團體事務所ヲ覗イテ廻ワシ居タ標ナ状況デアツタノデス  
今カラ考ヘテ見マスト昭和八年神兵隊事件ノ起ル其ノ前年  
ニハ五一五事件血盟團事件アリ其ノ前年ハ滿洲事變動發

ト云フ大陸的ニハ軍事行動國內的ニハテロ行爲ニヨル現狀打破  
ノ事件カ相次イテ起ツタニモ不拘國家主義運動ノ視察取締  
カ等由ニ附サレテ居タ事ニ大ナル原因ガアツタト考ヘテ居ル  
ノデアリマス、神兵隊事件ノ起ツテ始メテ吃驚シテ一度ニ右  
翼係ノ陣營カ強化サレタノデス、何故血盟團事件ヤ五一五事  
件ノ起ツタノニ視察取締カ強化サレナカツタカラ今カラ  
考ヘテ見マスノニ當ルハ共產主義ノ極メテ活潑ナ時代  
アリセカ檢舉ニ全力ヲ盡シテ居タ事トセ等ノ事件ハ直  
接國家主義團體ノ視察取締ニ刺戟ガ薄カツタノデハナイカト  
想像スルノデアリマス、五一五事件ハ陸海軍青年學校ヲ主  
流トシ民向テハ愛郷塾橋孝三郎ヲ中心トスルモノデアリ血盟  
團事件ハ井上日昭ヲ中心トシレバモ、當ルハ國家主義團體ト  
シテ表裏政治思想活動シテ居タ團體ト多分ニ趣ヲ異ニシ  
タ分子ノ躍起デアリ、ソコニ視察ヲ諷ツテ居タハナイカ

小思フノデアリマス。吾々が國家主義運動ヲ取締ルノハ只種々  
非合法不穩手段ニ出スル虞レガアル為ノデソレヲ予防制圧シ  
治安ヲ維持スルノガ目的デアリマシテ彼等カ絶対ニ非合法手  
段ニ出テヌトスレバ何レモ予取締ル必要ハナイト思フノデア  
アリマシテ予素ノ視察内偵ハ要ハソレニ備ヘル為ノモノデア  
ルト思フノデアリマス。

神矢隊事件關係者ノ取調ベニヨリ此等ヲ回顧レテ見マスト  
視察内偵カ多ク程度行届イテ居レバ亦然察知サレト思  
ク節カアルノデアリマス。此等ノ事大阪向ニ連絡復ハ三  
月モ經ハズ連絡ノ為ノ往復レテ居タノデアリマスガ連絡復ハ  
ハ一候察知等々令合場所ニテ團體事務所ヲ使用シナイ  
ノニ視察員ハ事務所ノミ廻コテ居タコト後カラ諷ハルト神  
矢隊事件ハ各團體カヲ参加レテ居タノデスカ其ノ一ノ大阪  
愛國青年聯盟テハ愛國青年會ノ利益ヲ維持  
行シ程度

ノスカラ彼等ニ金入ル譯ガナイノニ外泊ガ松島ニ於  
買ヒ一行ワタリレテ相当遊ンデ居タ事實ガアツタノデアリ  
ス。此ハ東京カラ連絡復ガ上京旅費等ト稱シテ相當ノ金  
ヲ渡レテ居タノデス。彼等ニレテ見レバ一大事ヲ決行シ前々カ  
ラ此ノ世ノ風モ切ツテ置コウト云フノテ相當遊ンダノデスカソレ  
等ヲ感知出来ナカワタ事ニ甚度ガアツタノ事ト思ヒマス。

視察ニハ團體ヲ中心トスル視察部面ト個人ヲ主トスル視察ト  
ガアルガ團體事務所アルハ當方モ話セナイ事モアルレ先方モ話  
セヌ事モアソテ事務所アルハ余ッロヲ利カヌ方ガヨイト思フ。先  
方ハ警部カラ話ガアリマシタガ視察内偵ハ所轄ノ特高外  
勤迄徹底ニサセネバナラヌ個人々々ノ性格ヲ各々ハ特高課員  
タケテハドウシテモ手不足ニナルカラ特高課員ハ先人童兵ヲ  
定ムテ童兵主義ヲ行カネバナラヌコノ團體アルドレガ重要ナ  
物ヲスルノデアルカチヤント目標ヲ定メテ置ク事ガ所望デア  
ル



中村警部が云ハレタ。同志的気持ニテ接能レテ居ルト概  
ニ其ノ性格ニ判ル。林ヨリソノ者、心ノ動搖ハ其大敵ナリル  
ト云ハレト思フ。

右翼取締カ法案ト違フハ私ノ個人的意見テアリマス。カ絶  
シハ其ノ又ト云ハレタ。又テハイカト思フ。自分カ内偵線ヲ持ツ  
テ居ルカラ安トタト云ハレタ。其持カ失敗ノ原因ト思フ。元ヨリ内偵  
線ヲ得ル事ハ必要タカセテ願フテ居ルハ情報ハ持ッテ来テ呉レ  
ルカ持ヘタ情報テ却テ惑ハサレル事カ多イ。神兵隊事件ノ被害カ  
保釋テ出所レテ公判ナシ、連絡ナドヤリ全国的ニ何カ策動氣配  
ガアリ内務省ノ指令ニ基イテ一斉検挙ヲヤツタ事ガアルカ取調  
ノ結果ハ何モナカワタ。只彼等ノ感情ヲ害スル事大カノ收穫デア  
ラズ。当世各府縣共神兵隊事件被害ノ動靜通報カ頻々ト往復  
サレタカ至メラレタ。情報ヤ怪レナ情報ガ多ク正確ナル判断ヲ誤  
リシカ内務省ニ蒐集サレテ此儘放置出来ス。遂ニ一斉検挙

ナワタモノト私ハ考ヘテ居ルカコウシタ重大ナ結果ヲ招クニ至ル  
コトヲ思ハバ慎重ニ徹底シテ確信ノワタ。視察内偵ヲ期セバ  
ナラ又ト思フ。私モ当世責任ヲ感レタハデスカセテハイカヌ。右翼ノ  
取締ニハ昔分ガ要ル自分デ見極ノ内偵ニヨルノデナレバ情報ニ  
重責ヲ置クトリ。トシテモナイ内偵ヒラ惹起スル事カ往々アル

視察内偵ニ就テ

私ハ視察員トシテノ体験ヲ申シゲマス。ト事務所ヲ訪レテモ  
アナタノトコハドウデスカ。何か変ワタ事ハアリマセンカ。等トハ  
絶社ニ申カナカワタ。事務所ニ行ケバ先ス電話ニ由意レタ。何カ  
ノ誰カラカ、ワテ来タノカ。トシテ要件テカ、ワタノカ。注意シテ  
申ク。又テ大凡ノ見当ガワキ。東京カラ誰ガ来タト云フ事ヲ  
ニニ知ツタ事ガアル。又電話ノ下ニアル黒板ニ氣ヲツケル  
ヨク黒板ニ誰カヨリ電話アリト記シテアツタリレテ参考  
材料ヲ得タ事モアル。又顔ノ知ラヌ来訪者ヲ検討シテ

シバ關係ノ分ツタ事モ又通信關係等ニ注意シ電  
報テモ誰カヲキタカ通信省當局ノ協力カ望ミレバ先方  
ハ電信法規ヲ遵守シテ協力シテ呉レズ局長ニ逢フテモ道  
信内容ハ言ハズ呉ルカガ然レ暗示ハ與ヘテ呉レルハ電文ハ知  
ラセナイカ暗示ヲ與ヘテ呉レルカラセニヨツテ檢査レタト云  
フ事例ハナイガ安全慮ヲ與ヘラレル事ハ屢々デアリタメ又人物  
其ノ者ニ就テモ考ヘテ見エバナラヌ又當府カ檢査シタ若槻  
民政黨總裁時政ニ係リテ被疑者カ肺病ヲ前途ヲ悲  
觀シテ傍觀ニ死スオス何カ風變リナト云フ氣持カアソナ事  
ヲサセタメテ死スオス事ハ決中ニ病氣天凶留執行  
停止ニナリ其後死セシメタ  
又也五事件ノ影ニ當リ肺病カ相當昂進シテ居ラタ事  
候カアリ現其ノ健康ニ復シテ居ルカ多分ニ當時健康  
環境ニ支配サレルガ事ハ不ウシト云メテ吳モハ注意シテ見ル

3

必要カアルト思フ又相手方ニ接觸スルニハ同志的ナ氣持ヲ結  
合スルヲナカレバ本人ノ心情ハ分ラウ筈モナイ水ニ竹ヲ結  
テ杯ナ事ニナル也又眞箇ノモノハ出テコナイ平素何味モ所謂  
刑事根性テ附合ッテ居テハ相手方モソノ氣持ハ判ルト思フ  
此ニハ一杯飲ム事モアロウソレ位ニナラネバ本人ノ氣持ハ判ラヌ  
神軍隊事件以後ハ大阪ニハ大ニテ事件カナク感アコンナ事ヲラト  
云フ事件ハナイケレ共同志的氣持ヲ持タバナラヌ事ハ充分  
言ハ得ルト思フ  
中村警部ガ言ハレタ杯ニ軍道精神ニ徹スルト云フ事ハ云フ  
迄モナイ

日本主義運動者ノ積リテ相當研究モ要ル先方トビツタ合  
話デナケレバナラヌ又ヨクアル杯ニハ視察員ハ虫カスカカラ  
何モ相手ニセヌト云フ杯ニコンナ事ハ視察員方全ク期スベ  
クモナイ大體不穩計画ハ人ヲ殺ス決意ヲ爲スノ事アルカラ



性格的ニモ内満ノ情操ヲ持ツタミノデハ人ハ容易ニ殺セヌモノ  
デアロウト思スドウレテモ其外ニハ性格的ニ愛ヲ示居ルモノ  
カアルト思ス好例ハ相澤中佐デ永田中將ヲ刺ス前ニハ  
平素ト全然異ツタ性格ヲ持主ニナフテ居タトノ事多ク  
此ノ人相カラレテモ表現サレテ居タ称ニ私ハ思ス普通ノ  
状態デハ人殺ハ出ヌ又コンナ人物ニ煽動サレテ追イテ  
行クニハ追イテ行ツテモ性格的ニハ行動ヲ共ニスル事が出ヌ  
イト思ス

私ニ昭和七年カラヤツテ居ルガ仲々六ヶ敷イ右翼運動  
取締ニ就テ一日トレテ安心シタ事ハナイ不安心ノ連續  
デアル  
塾運動ノ状況デスガ大阪ニハ洗心塾ヲ始メ多数ノ塾カアル  
ガセカ結集シテ太キテ塾運動ヲ展開セントスルノ機運カ  
見ヘ京都ニ出掛ケタリ奈良ニ出カケタリスル所ニテ

乃心知シテモ不モテス曰フ所ハ結合ヲ緊密ニシテ御協カ  
御願シタイノデアリマス

團體ヲ起シテ個人的連繫ヲ保ツト云フ所ニテハ視察  
ノ以テ固カクナラフテ特高課員ノミデハトウレテモ不足  
ニナルカラ各署ノ特高係理想ヲ云ヘハ外勤係迄モ徹底セ  
レムル必要ガアルノデアリマス

其ノ例神矢隊事件ニ大阪カラ福島ニ部一云者カ係レ  
居テ上京ガ勤係所員ニ不審部員ヲ取調ベテ國庫  
折戻祈願ノ事ト同志五十餘名ト共ニ大阪駐カラ上京スル所  
シテ云々トテスガ派所員ハソウカト云フテ其傳放還日一日  
過ヤテ所轄ノ特高係ニ連絡シ所轄署カラ特高課ニ連絡シテ  
ワタシハ既ニ上京ノ行ハ終タ後ノ事ヲ知後ノ事ヲアワ  
タセウツル外勤員ニ徹底シテ認識ヲ出テ居ル大阪組  
ノ上京ヲ阻止スルタカニ知シナカフタ

事変以来頻々トシテ人事ノ異動が行ハレテ居リ皆征勅勅等  
ノ為メ後任者ニ引継グ場合アリテ文書ニ残レテ置ケナイ事ガア  
リ異動ノ都度一新ニ視察ヲ開始スルト云フノテ一向充實  
レテ視察ガ出来ナイ職ガアルノデ自分ノ見極メタキ範圍内デ  
可成文書ニシテ実績ヲ残シ其ノ看管内ノ右翼左翼共  
不向思想運動ニ関スル限リ文書ニ残シ標ニセバオナラヌト  
思ヒマス

又本部デモ斯標ニ努メル要ガアルト思ヒマス先刻申上  
ケテ神矢隊事件ニ着検察ノ時デモ特高課ノ神矢隊事  
件関係者事内ノ視察員ガ一名アツタノデスガ一着検察上  
ナルト共一人ガ全部案内スルカニ行カス受持所轄特高係  
ノ宿直ノ視察員ニ案内サセ檢査ヲヤツタノデスガ各署ノ  
宿直員カ案内シテトノ家カ不明デサツタ判ラズ非常ニ  
マゴツイタ事ガアリマスガコンナ事デハ一朝有事ノ際ニ向キ合

ハ又私ハ特高主任並佐中右翼左翼ヲ向ハス各隊ヲ起ヘテ置イ  
テ家ハ一々圖示シテ力及バカシテ事件ノ起ツタ場合何カ  
カ居ルト云フ標ニ誰ニテモ判ル標ニシテ置イタ  
セハ第一係員ニ構ハル問題アルト思ヒマスガ私ノ経験デ  
ハニニ六事件ハハ相当私達係ノ中ニモ動搖レタ者モアツタ  
事ノ思ヒマスガソレハ要スルニシテカツレバ腹カ密着テ居ル  
四トニ基回スルト思ヒマス

當時共ノ道ノ方テ左翼ノ革命ノ絶テアリ得ナイガ右翼ノ革命  
一云ハハ語弊ガアリマスガ或ヒ成切スル事ガアルカモ知レナイ  
等ト云ハレシ白モアツタノデスガコウ云フ事ヲ直感シテ大部  
隊ノ叛乱デスカラニシテト云フ標ナ馬鹿ガク事ハ其ノ  
際ニ右翼運動ノ最盛ニ居タモノト云場ト云フ標ノ事ヲ考ヘテ  
多少心ニ動搖ヲ示シタノデハナイカト考ヘラレルノデス  
殊ニ某方面ニ於テハコノ事件ノ推移如何ニヨツテトウレヨウカト



内々外策ヲ講レテ居テ餘ヲ事度サハアツタコトナホク自己ノ  
職責ニ對スル信念カモ京本ヨリ此カ出テ居ルハ決テカ、ル  
動搖ヲホスコトハアルツト思ス  
警察官殊ニ特高警察官ハ自任ノ非分ガ何アルカヲシツカリト  
把握レ如何ナル事ヲ爲シ當ツテモ非分ニ拘スル確回タル信念ヲ  
養フテ置カネバナラヌト思フ木乃伊取リガ下リ伊テカルト  
言フ壁言ヘモアリ特ニニニ大ニ事作テソウゴクエ深ク痛感セラレ  
夕次第テス  
貴重ナル此向ラ覺クニテ深ク御記ニ致レマス

京都  
(大窪)

私ノ方ハ一般情勢ハ只今大阪方面トアマリ大差ナイデ本省ニオ願ヒ致シ  
テ置キタイノハ先刻大阪ガウモ發言ニナリマレタガ斯フレタ會同ヲ屢々  
行ツテ御指導ヲ仰ギ度イト思ヒマス

私自身ノ問題特高第ニ係トレテノ問題モ色々ヤリマスガ從来カラ  
人事異動ノ頻繁ナ事殊ニ支那事變後ハ引續ク應召之ガ補充  
採用募集難、私的の生活難等々多クヤリマレテ此ノ結果異動ノ度ニ警察  
官ノ経験ガ淺ク視察内便ヲ致レマレテモ小サイ莫止ニハ不及ニ係  
、係員トシテ視察員自身ノ向上鐵成ガ絶対必要テアリマレテ視察  
ニシテモ内便ニシテモトウレテモ教養ニ特ニ力ヲ入レル必要ガアルヲ痛  
感致シテ居リマス

此レ之モ大東亞戰爭ニ於テ受テ多數ニ應召者ヲ出シ將來ノ見透シモ  
非常ニ困難ヲ加ヘ從ツテ單的ニ申レマレテ個々ノ視察員ヲ何處ニ

重點主義ニ據ラザルヲ得ナイノ事私リ方ハ先ゾ係員ノ教養ト横ノ  
關係即チ又間的ノ繋リヲ緊密ニスルコトニアルヲ思ヒ各署ニ於テ  
月一回ノ懇談會ヲ開催スル等教養ニ努メテ居リマス私ノ考ヘル  
所テハ先ゾ半年位デ臆氣カラテ特高警察ノ使命ヲ判ル其處ニ我  
々ガ專問的ニ見地カラ指導レテ從來カラ總括レテ特高情勢ヲ  
知ラセルコトヨリ中央ノ流キハ判ツテモ中央以外ニ地方ニ横斷的全  
國的ニ眺メタモトク問題ヲ捉ヘテ地方的ニ輕視スル又ハ情勢不明  
ノ爲ニ鬼逃ヌト云フ様ナ事カアルト思ヒマス  
底流ニ於ケル參考トシテ又注意事項トシテ資料的ナモノヲ御配  
布願ヒタイト思フ次第デアリマス

内務省

各府縣共同ニ様ナ御意見デスカラ毎月特殊ナ情勢ヲ御知  
ラセ致レタイト考ヘテ居リマス  
夫レカラ今此ノ機會ニ申上ゲテ置キマスガ御承知ノ様ニテ口

11/10

ハ集團テロト個人テロトアリ集團テロハ判リヤスイガ個人テロハ却々  
判リ難イ。現在ノ狀況ハ大義名分ガ立タナイト云フノデ集團的  
ナテロハナイガ底流ニ於テハ尚警戒ヲ要スルモノガアルノデアリマス  
個人テロハ殆ント未前防止ガ困難デアツテ西山直榎本大吉等  
件ニ見ラレル通りデアツテ特ニ西山直榎事件ニ於テハ地方ニ於テモ  
ウツレ氣ヲ付ケテ貫ツテ居タラ判ラネハナラ又狀勢ガ澤山アツ  
タノデアリマス

只今申レマレタコトハ是非励マレ合ツテ充實レタモノヲ依リ  
御希望ニ副ヒタイト思ヒマス

兵庫

(草場)

國家主義團體ノ一般情勢ニ就キマレテハ只今大阪府カラオ話ニ  
ナリマレタノト大同小異デアリマスノデ省略致シマスガ只私ガ最  
近特ニ感心マス事ハ只今オ話ニナリマレタ各種革新団体ノ動



向カ必ズレモ其ノ主流面ヲ基盤トシテ動イテ居ラナイ事  
ハ我々ニモ觀取出來ルノデアリマシテ勿論視察ノ焦莫ハ団体  
其ノモ中樞トシテ進マナケルハナラナイ事ハ當然デアリマスガ  
之ノミテハ完璧ヲ期シ得ラナイヲ茲ニ廣ク一般民衆ニ直接シ  
其ノ思想ノ底流面ヲ検討シテ常ニ急進的役割ヲ持ツ個々ノ  
革新部面ヲ我々ノ視察圈内ニ集中シテ其ノ完璧ヲ期セナケレ  
バナラナイト思ヒマスガ是カ方法ト致シマシテハ全警察ノ細胞機能  
ヲ特高的ニ勤員シテ常ニ廣ク民意ノ忌憚ナキ聲ヲ聞ク事ニ努  
メテ居リマス併シ一方ニ於テ此ノ部面ニ關聯ヲ持ツ一般情報ノ蒐  
集モ忽ニ出來ナイト思ヒマス  
要ハ第一線ガ常ニ各階層ニ深ク喰入ツテ眞ノ聲ヲ聞ク事ニヨリ  
テ急進的核心中樞ニ得ルノデハナイカト思ヒマス  
尚一ツ變ツテ傾向ト致シマシテハ最近政府ノ各政策殊ニ内政部  
面ニ軍ノ意向ガ強ク反映シテ來ル事ハ戰爭遂行途上當然ノ事

進シマシテ一般民衆ハ皇軍ノ輝カレキ戰果ニ陶醉シテ  
思想的ニ浮上ツテ氣持テ事毎ニ軍トノ關聯ヲ持ツアル事ハ  
見逃セナイ事實デアリマス  
之ヲ除外シテハ愛國運動ノ真相ニ觸レル事ハ恐ラク不可能デ  
ハナイカト思ハレマス

特ニ神戸市ノ様ナ自由主義華ヤカリレ外港都市ガ一変シテ  
衛戍地化シテ地域ニ於テ殊ニ其ノ傾向ガ顯著ナ様デアリマス  
新様ナ意味カラ致シマシテ我々モ之ニ先行シテ一層軍ト密  
接ニ連繫ヲ得ル必要アルヲ痛感致シマス是ハ軍ニ才役所  
或ノ連絡ヲ密ニスルト云フ事以外ニ個人的ナ紐帶ニヨリテ其ノ  
核心中樞ニ行ク事ニ努メナケルハナラナイト思ヒマスガ之ガ技  
術的所感ニ就キマシテハ省略サセテ載キマス  
尚過去ニ於ケル事件檢閲ノ狀況感想等具體的ナ事例ニ  
就キマシテハ條ノ中村警部補カラ説明スル事ニ致シマス

兵庫  
(中村)

私ハ昭和七年七月ヨリ特高警察ニ従事シ今日に至リテ居リマスガ  
其ノ間神兵隊事件其他各種事件ニ遭遇シマシタガ視察ノ方法  
事件ニ當リテ警察官トシテノ自覺等ニツキマシテハ只今大阪府ノ  
中村前田両氏ノ御意見ニ全ク同感ヲ其ノ核心ニツキテ居リマスノデ  
今更私カラ申上ケバキモノハアリマセン  
私カ特高課勤務ヲ命ゼラレマシテ今日迄七年間ニ直接関係シタ  
事件ガ最近ニ於テ最大キナ事件ト致レマシテハ昭和十五年一月  
四日ニ發生シマシタ現役青年將校ヲ中心トシテ一部民間ノ關係セ  
ル英國領事館襲撃不穩事件デアリマシテ之ハ未然防止サレ  
マシタガ兵庫縣ニ於テ警察並ニ憲兵ノ全機能ヲ集中シテ最  
近ニ於ケル最大キナ事件デアリマス  
自分ハ其ノ事件ノ概況ヲ簡單ニ説明シテ此ノ事件ニ關係シ

マシタ私ノ体験ト申シマスト烏鴻カマシイ次第デスガ少シオ話  
セセテ戴キ度イト思ヒマス  
先ヅ事件ノ全貌カラ申上ゲマス

英國領事館不穩事件概況

一日一時 昭和十五年一月四日  
ニ事件関係者

現役軍人

主謀総指揮 元參謀本部付

陸軍少佐 伊藤 佐又

當三十八年

行動隊長 後方勤務學校助教

陸軍中尉 丸崎 某

行動隊員 陸軍中尉 牧澤 某

同 龜山 六藏



後方勤務學校生徒小尉六名  
（民間） 神戸ホテル支配人 増田政吉

當三十八年

### 三、發覺ノ端緒

事件主謀者タル伊藤少佐ハ當時北支山西省太原某部隊  
大隊長ニ任命サレ赴任ノ途次十五年一月三日某神山本通  
リニ丁目所在 神戸ホテルニ山立花多聞レタル偽名ニテ投宿  
翌四日西下セル同志九名ノ將校ハ山本通り四丁目所在  
富士ホテルニ投宿セレノ姫路部隊ノ應援ヲ得テ

「英米兩國領事館襲撃」

- 一 劃策レリ、テリト、情報ヲ神戸憲兵分隊ヨリ入手スルト夫
- 二 關係者ヲ檢舉協力方ヲ懇請サレタルニ依ルモノデアリマス
- 三 事案ニ對スル檢舉協力方策
- 四 右協力方懇請ヲ受ケタル當廳ニアリテハ急據特高外事

警務 各關係課長並ニ課員及關係各署員ヲ動員シ夫々  
所定ノ檢舉發見對策ヲ樹立シ關係者ノ發見檢舉ニ全力  
ヲ集中スルト共ニ憲兵隊ト緊密ナル連絡ヲモトニ事端發生  
ヲ未然ニ防止シ得タノデアリマス

### 不穩計劃ノ概要

#### 一、動機

主謀者伊藤少佐ハ透徹セル尊皇攘夷論者ナル處ヨリ支那事  
變ノ長期化ハ畢竟英米ノ板蕩的敵性ニ因由スル處大ナル不  
拘國民ノ大半ハ事變ノ長期化ニ疲勞情氣ヲ生ジツ、アリ更  
ニ軍部内及政府中央部ニハ親英派ノ抬頭著レク 親英派對  
親独派ノ相剋摩擦ハ日ト共ニ激甚ニ極メツ、アリテ國家ノ  
前途深憂ニ堪ヘズト爲レ累ニ日英會談再開ニ當リテハ陸  
相（畑大將）宛數回ニ宣リ建白書ヲ提出レタルニ悉ク一蹴ガ  
レタルニ至リ合法手段ヲ以テテハ極英ヲ不可能ナルニ痛感

軍人ハ徒ニ戰場ニ於テ血ヲ流スヲ能事ト心得内地ニ在リテ眞ニ  
滅私奉公ヲ期スルノ士ナキヲ遺憾トシ居リタルニ對支事  
變ノ方向ハ揚子江ノ一部解放、珠江ノ解放等々在支資源ハ  
英資本ニ吸收サル、素因ヲ作リツ、下ル現狀ヲ觀テ斯クテ  
ハ二年有半ノ聖戰意義ヲ滅失スル懼アリ時恰ニ英國ハ対  
独戰ニ主カテ傾注シツ、アリ殊ニ日本ハ紀元二十六百年ノ意  
義深キ好機ニ會シ東洋ヨリ英國勢力ヲ驅逐スルノ絶好ノ  
機會ナリトシ今コソ戰場ニ於テ流血ス血ヲ國內ニテ流スベキ秋  
ナリト云フ最少ノ犧牲ヲ以テ最大ノ效果ヲ擧ゲバク意圖シ  
居リタル際獨々北支出征ノ命ヲ受クルヤ茲ニ同志ヲ糾合シ楠  
公ノ聖地ニ於テ排英、實際行動ヲ起スコトヲ決意スルニ至  
リツタリデアリマス

ス目的  
國際港都タル神戸市ニ於テ英國領事館ヲ襲撃爆彈ヲ

投擲シテ建物ヲ破壊排英ノ直接行動ヲ敢行スルト同時ニ排英  
檄文ヲ撒布シ以テ一般民衆ノ輿論ヲ喚起シ全國的攘英運  
動ノ狼火ヲラシメントセシモノ

3. 決行日時  
一月四日午後十時一同大楠公神前ニ集合シ翌五日拂曉ヲ期  
シテ行動ニ移ル豫定デアリマシタ

4. 方法  
總指揮 伊藤少佐  
行動隊長 丸崎中尉  
行動隊員 牧澤、龜山、西中尉  
ヲ始メ後方勤務學校生徒六名ヲ之ニ參加セシメ英國領事館  
ニ手榴彈ヲ投擲建物ヲ破壊スルト共ニ同隊員ニ依リ用意セ  
ル檄文ヲ市内要所ニ撒布スル計劃ヲ示居タノデアリマス

伊藤少佐ノ行動



翌四日午前十時頃伊藤ハ大事決行場所タル英國領事館ヲ視  
察シタル後豫テ私淑セル姫路佐々木師團長ヲ訪問本件敢行  
ニ協カチ求メタノデアリマスガ却ツテ師團長ヨリ擬意方説得  
サレ午後ニ特項更ニ野砲隊ニ廣瀬英一大尉ヲ訪シ同市魚  
町鈴之家料亭ニ於テ會談會飲シタル後參謀本部附ニ榮  
轉シタル同大尉ト共ニ午後六時十分姫路駅弁上リ列車ニ便  
乘本名ハ神戸ニテ下車歸還直チニ同志ノ宿泊所タル富士木  
テルニ連絡ヲ採ルベク奔走シタルモ時既ニ警察並ニ憲兵ノ張  
込アリテ連絡殆ド不能ニ終リ豫而同志間密約セル集合場  
所ニ赴クベク四日午後九時三十分頃私服トナリテ湊川神社ニ  
至リタルガ密約時刻ニ遅ルコト十分ヲ經過セルニ同志ノ來  
應ナキヲ以テ豫テノ約ニ依リ福原町料亭「今里」ニ至リ  
神戸ホテル支配人増田政吉ト會見決行不能ニ終リタル赴  
キ會談スルト共ニ本名ハ責任上自決セントシタルモ増田ノ

反對意見ニ依リ擬意レ午後十一時頃當廳ニ出頭警察部  
長殿ト會見ニ種々説得サレタル後直チニ神戸憲兵分隊ニ  
自首シタルモノデアリマス  
民間 増田政吉

神戸市神戸区山本通り二丁目  
神戸ホテル支配人 増田政吉  
當三十八年

本名ハ豫テヨリ華新意識濃厚ニレテ感激性強ク夙ニ武藤貞  
一ノ主宰セル警察社ニ關係シ警察一致運動ニ從事スルト共ニ  
常ニ排英ノ急務ナル所以ヲカ説強調シ居リタルモノナル處一  
三日投宿セル伊藤少佐ノ動靜並ニ態度ニ就キ或種ノ事態ヲ感知  
スルト共ニ伊藤少佐ノ復命書ヲ接合シ尋常ノ人物ナラ  
ザルヲ悟リ機ヲ見テ同少佐ノ居室ニ訪テ時局問題ニ就キ意  
見ヲ求メタル際同少佐ヨリ

「英國ノ對日制裁ノ歴史及支那事変ヲ總ル英國ノ援將敵性  
暴露状態排英熱ノ冷却セシ情勢ヨリ攘英ノ最急務ナル所  
以シテ閣下カサレ直ニ之ニ共鳴シ一死以テ國難ニ處セシヨト  
誓ヒテリ茲ニ於テ本名ハ伊藤少佐ヨリ本件事案ノ内容ヲ  
打明ケラレ協力方依頼ヲ受ケ分快諾シ同志トノ連絡及公文撤  
布ノ任務等ヲ引受テタリテアリマス  
大体本件ノ概況ニ就キマレテハ此ノ程度ニ致レマレテ本件ニ  
関係レシレバ概シテ体験ニ付テテ話レ申上ケタリト思ヒマス

### 英國領事館襲撃不穩事件体験記

本件發生當初自分ハ非常召集ヲ受ケ登壇シマレシ時ハ午後  
六時頃デ既ニ廣瀬警察部長殿初メ松下特高大員外事小  
倉警務各関係課長殿ニ事態ノ重大性ニ鑑ミ悲壯ナル面持  
テ緊張シテ特高課長室デ鳩首之カ對策協議中デアリマレテ

本件ニ直接関係ニ持ツ松本兼二係デハ福田係長以下緊張レ  
課員ノ登壇ト共ニ其ノ配置ヲレテ居ラレタリマス自分カ登壇  
シテ居テ當時ノ状況ハ本件主謀者伊藤徳又少佐ハ「橋多聞  
ト偽名シ其他関係青年將校約二十名末神レタレトノ情報カ  
入りマレタガ共ノ宿所々在ケ判明シテ居ラス又主謀者伊藤少  
佐ハ姫路師團ノ應援ヲ求ムル爲メ姫路ニ向ツタト云フ情報カ  
齎ラサレテ居リ或ヒハ姫路ノ部隊カ動ク様ナ事ハナイカト云フ  
心配モアツタノデス

當時姫路部隊ニ於ケル一部革新青年將校ノ動キハ相當活  
潑デアリ本件激起將校ト合流スル様ナ事ハオキニシモアラスト  
考ヘラル、經夫レ程憂慮スベキ情勢ニアツタノデアリマス  
之カ爲メ警察部ニ於テハ所轄姫路警察署ヲ督勵シ姫路憲  
兵隊ト緊密ナル連絡ノ下ニ營外居住要注急進將校ノ動靜  
ノ觀察内偵部隊ヲ行動警戒監視ニ當ラシメ姫路部隊ノ行



動未然防止ニ努メタノデアリマス

一方短路師團ニ於テハ事態ノ重大性ニ鑑ミ所屬將校中或ハ之ニ参劃スル者ナキヲ保レ難シト佐々木師團長ハ營外居住將校ノ禁定命令ヲ發スルト同時ニ四日午後八時急據管下各部隊ニ非常召集ヲ發令シ各部隊長ヲレテ所屬部隊將校ニ對シテ輕率盲動ヲ戒ムル訓示ヲ為サレシメ其ノ雅務ヲ注意シテ居タノデアリマス。其ノ結果本事件ニ對スル部隊ノ見透シモ判然トシ五日午前八時ニ至リ歩兵第三十九聯隊ヲ最後トシ非常召集ノ解除ヲ行ツタノデアリマス。

本件ニ付テ私共ニ命セラレタ任務ハ事件關係者ノ檢舉ト事件ノ未然防止ニアリマレテ

町當時(午後七時)自分ハ松下特高課長殿ヨリ主謀者伊藤少佐ノ所在捜査ト其ノ行動内偵ノ任務ヲ命セラレ課並ニ警察署視察員三名ヲ伴ヒ從來ヨリ軍人ノ出入頻繁ナル富士

ホテルニ急行レタ所其處ニハ既ニ憲兵曹長以下四名が張り込メテ居リ連絡ヲ取ツテ見マスト事件關係者以外ノ軍人数名ト關係者ヲレキ者モ居ルガ充分其ノ識別が付カズ宿帳モ味ヲ取ツテ居ナイト云フ有様ヲ出入スル軍人ニハ夫々尾行ヲ附不審訊問ヲヤツテ居リ一面電話交換台ニ一名宛配置レ彼等ノ連絡ヲ掴ムベク待期レテ居タノデアリマスガ未ダ主謀者ノ所在ヲ尋見シテ居ナイト云フノデアツテ自分ハ主謀者ノアゲトレハ別ニアリト直感シ視察員三名ヲ本部ト連絡ニ同所ニ殘レ山本通りニ丁目ノ「神戸ホテル」ニ急行レタ所既ニ所轄三宮警察署員二名が張り込メテ居テ異狀ナレト云ヒ又受付ノ女中(豫而見知リノタカ)ハ「六隊サン」ラレト云ヒ一人モ見ハマセシト云ヒ其ノ態度ハ殊更澄レタ恰好テ落着カク変ダト思ヒ乍ラ受付ノ後方ニアル電話交換台ノ交換手(女事務員)ニ氣ヲ配リ乍ラ受付ノ中ニ入ツテ行クト何時モト異ナリタ

カ女ノ氣障リガ違ヒ話題ヲ変へ様ト努メ然モソツハレノ様  
子が見へ受付ノ椅子ニ腰ヲ下レテ夫レトナク周圍ノ氣配ヲ  
窺フト隣室ノ事務室カラ私語ガ聞エルヲ「トア」ヲ聞ケル  
ト私服憲兵四人ガ机ト火鉢ヲ圍ンテコーヒート菓子ノ接待ヲ  
受ケテ居タノデアリマス。夫レハ正レフ憲兵サニ、体裁ノヨイ  
確諾ニナツテ居ルナト六感カ閃クト同時ニ占メタト直感  
シタノデスカ然レ素知ラヌ風テ連絡ヲ取ルト其處ノ憲兵  
モ亦「本件関係者ラレイ者ハ誰モ來ナイ」ト云フノデス  
爰テ参考迄ニ一寸申上テタイ事ハ此ノ憲兵ノ入ツテ居ル事務  
室ハ玄關ヲ入ツテ受付ケト「トア」一重テ隣接シ其ノ出入口ハ  
受付ノ内側カラト西横ノ通路ニ面レ一ヶ所アルノデスカ其ノ事  
務室カラハホテル出入者ニ對スル見透監視ハ全然出來ナイノデス  
從ツテ張込ノ憲兵ハウマク其ノ事務室ニ関込メラレタト云フ  
状態ニアツタノデス

自分ハ其處ガ此ノ處

神戸ホテル支配人 増田政吉

が打ツタ芝居此ノ事件ハ増田が参割レテ居ルモノト直感レ  
タノガ直チニ受付ノ外ニ出テ「ボク」ニ「増田君ハ居ルカ」ト夫レ  
トナク尋ネルト「居リマス」ト答ヘタノデ「何處ニ居ルカ」ト聞ク  
ト「奥テ何か仕事ヲレテ居ルト云フノデ夫レテ自分ハボク」ニ對  
シ「増田君ニ一寸會ヒタイカラ呼シテ來テ呉レト取次レテ所  
寸オ待テ下サイ」ト返事レテ來タノデ待ツテ居ルト五分位過ギ  
テモ出テ來ナイノデツマク巻カレタカ？。内心焦リ乍ラ同伴  
レテ來タ視察員ヲホテル裏門ニ張込マセ自分ハ玄關ニ頑張  
リ待ツテ居タノデス

此處テ一寸増田ノ思想性格ニ付テ申上ケマス。増田ノ性格ハ情  
熱的熱血漢テ非常ニ激レ易イ性格ノ持主テ嘗テ武藤貞  
一ノ美米排撃思想ニ共鳴シ自ラ武藤貞一ノ主宰スル茶政社



同人トナリ陣頭ニ立テ活躍シ或ハ龍善三郎ノ神戸事件ヲ  
播クトキロンドン條約華府條約ノ軟弱外交ヲ論難シ支那  
事變發生スルヤ日本ノ狀態ハ今ヤ明カ維新ノ前夜ト同様  
和維新ノ前夜ナリト英米自由主義思想排撃ト國內親英米  
重臣為政者打倒ヲ強調シ五一五事件血盟團事件以來ノ  
各種事件關係者ノ犠牲的行爲ヲ絶讚シ中村義明三上卓  
等ノ東神ニ當ツテハ交誼ヲ持テ自ラ國士氣分ニ陶醉シテ居  
タノデス

斯ウレタ彼ノ思想性格ヲ知ツテ居テ自介ハ神戸ホテルニ入ツタ  
時カラ斯ウレタ空氣ヲ見テ増田ガ本件ニ參劃シテ居ルモノト  
直感シタリテアリマス

夫レカラ約十分程過リテ増田ハ操手ヲレテ忙レクテ大変オ  
待タセレマシタ一寸用事ヲシテ居リマスノテトナ用件ヲセウカレ  
ト大分紅調憔悴ニ墮ラレタ面持テ何喰ハス顔ヲ出テ來タノデ

自介ハ此処デハ語が出来ヌカテ君ノ聲ヲ語サウレト彼ノ居處ニ  
同行シ

夫レマデニ自介ハ増田ガ此ノ事件ニ參劃シテ居ルト云ツ事ヲ前提  
トシテ増田ニ對スル構想ヲ練ツテ居タノデヌカラ語カラ

君等ガ英國ノ支那事變切害ヲ日屢迫態度ニ憤慨シテ今ヤラ  
ントレテ居ル計劃ニ付テハ一應同意テアルガ然レヨク考ヘテ見ヨ  
コナテ馬鹿ガ事ハナイ夜間誰一人居ナイケヤード銀行ノ  
三階ニアル英國領事館ヲ襲ツテ路上ガラヒストルヲ撃ツテモ  
手榴彈ヲ投ゲテモトレ丈ケノ效果ガアルカ恐ラフ寇硝子ノ二三  
枚モ壞セバ閣ノ山デハナイカ！ソナテ維新ニ等レイコトヲ大衆  
衆ニヤルナンテ夫レハ英國ニ何等ノ痛撃ヲ與ハス却ツテ英國  
ヲレテ乘ゼレバ日本ヲ國際的危機ニ陥レ一層對日強壓手  
段ヲ用フルデアラウコトハ現下ノ客觀的諸情勢カラシテ必然  
デアル從ツテ君等ガ救國ノ情止ミ難キ熱意ニ燃ハテヤツ事

ハ水泡ニ帰スルノミナラス共ノ小事ガ國家ヲ危胎ニ導キ國賊  
ハ譏リヲ受ケルハ必定デアル

國家ヲ擧ゲテ震撼セシメタニニ六事件ノ結果ヲ見テモアノ通  
リデアル 更ニ熟慮シテ大道ニ就クベキダヤルトセバ其ノ時  
機ハ自然熟シテ來ルデアリケル

ト事件ノ全貌ヲ掴ムバク説得ニ努メタ所彼ハ周章狼狽昂  
奮シ本件ニ對スル事實ヲ否定スルノデ更ニ自介介  
君等ノヤツテ居ル總テノ全貌ハ既ニ判ツテ居ル君等カ此ノ  
不穩事件ヲ決行スルトシテモ犧牲ヲ出スダケデ死デアル

既ニ嚴重ナル警戒網ハ張ラレテ居リ駄目ダ君デ話ガ判ラヌ  
ナラ伊藤少佐ニ會フカラソウ取次イデ呉ト  
ト云ヒマス増田ハ少シ落付イテ來タ様子デ

伊藤少佐ハ明日午前十一時ノ船デ北交ニ赴任スル用度レノ為人  
今外出レテ居ラレマス

荷物ハ下ルカト聞クト「將枝行李カ三個大ケデスルト云ヒマレ  
タノデ此ノ時コソ自介ハ占メタツト思ツタノデス

夫レカラ増田ハ話題ヲ換ヘ  
「實ハ今晚ハ時カラ花隈ノ志人ナリニ於テ祭政社ノ幹部

會ガアリマスノデト失禮シマス

ト云ヒマスノデ「幹部會ニハ誰々寄ルカト聞ケト「武藤貞一杉  
村伸及私ノ三人志ケテスルト云ヒマスノデ或ハ此ノニ又モ事件ニ  
關係ヲ有ツテ居ルノデハナイカト考ヘ

「夫レデハ僕モ一緒ニ行クト後ヲ視察員ニ託シホテルヲ出  
掛ケ自動車ヲ拾フ迄約ニ丁余少歩キ其ノ間此ノ事件ト祭政  
社關係ヲ探ツテ見ルト祭政社ノ關係ハ幹部會ヲ兼ネテノ新  
年宴會デアルコトガ明確ニナリマレタ更ニ事件ノ核心ニ触レ

様ト伊藤少佐ノ行動ヲ追及シマスト知々事實ヲ話レマセヌ  
「夫レデハ僕ハ大義ニ立テ職權ヲ以テ君ヲ檢束スルト申シテ



ト彼ハ思案ノ末トウノ本音ヲ吐キ

「実ハ伊藤少佐ハ福原ノ料亭へ今里ニ身ヲ隠レテ居ル九時ニ  
私ト連絡ヲ執ルヨトニナツテ居ル」

ト白狀シタテ愈々本筋ニ入リト躍如クモノヲ感ゼタリマス  
自分ハ増田ヲ直チニ檢束スヘキカ否カニ付苦慮レマレクガト  
口トテ自動車ヲ拾ヒ車中ニ於テ兎毛角一應縣廳裏テ下レ智  
田ヲ捜査本部ニ連行セヨト考ヘ縣廳裏デ一應下レタノデスガ  
増田ハ檢束サレルモノト考ヘタラレク

「一寸待ツテ呉レト言ヒ

「爰テ檢束サレタラ私ハ密告レクト思ハレ同志ニ對レ裏切者ト  
サレ私ノ男が立テテナリ面目ハ丸潰レニナルカラ私ニ男ヲ立テ  
サセテ呉レ」

ト云フノデス自分ハソノ詛ハト聞クト

「貴男ノ面目ノ立ツ様ニ努力カスレト云ヒマスノデ

「僕ノ面目カ立ツテモ事案ヲ解決セズ治安ヲ紊レ國家ヲ危機ニ導  
ク如キ事ハ斯レテ許サレズト同行ヲ惡ムル」後ハ

「夫レデハ衆政會ノ會ニ一寸顔ヲ出シテ豫定ノ約束ノ時間ニハ伊  
藤少佐ト會見シ事案ノ決行中止ヲ説得レ特高課ニ伊藤少佐

ヲ同行スルカ又ハ貴男ニ連絡スルカラ十時半頃迄私ニ待合ヲ異止  
ト云ヒ其ノ態度ハ極メテ真剣テ派ヲ流レテ泣訴スルニテ

自分ハ

「若レ夫レカ失敗ニ級スル様ナコトガアレバ直チニ僕ニ連絡レ僕  
ト腹ヲ刺遣ヘル覺悟ガアルカ」ト念ヲ押ス

「自決シマス」ト申レマレ其ノ覺悟ノ程ガ窺ハレタリマス

「ヨレ夫レデハ十時迄ニ必ズ事ノ成否如何ヲ問ハズ連絡スル様ニ  
ニト申渡レ彼ノ差出シタテニ握手ヲ交レ別レノヲアリマス

自分ハ直チニ捜査本部ハ警察部長室ニ級リ只今申述ヘマ  
レタル如キ情況ヲ詳細ニ報告スルト共ニ料亭志人等以テ

（今更）二彼等ノ行動觀察内偵ノ并取テ才願シテ再度神  
戸赤テレハ其々増田トノ連絡ヲ待ツテ居タノデスガ十時三十分  
カ来テモ増田カラテ其ノ連絡ヲ待テ居タノデス今更ニ二連絡ヲ見ル  
ト十時前ニ出掛ケラレタノデス其ノ時ハ夫敗ツテト思ヒ  
同時ニ豊夫トトモ考ヘ附近ノ交番カラテ捜査本部ニ連絡スルト  
今増田ガ伊藤ヲ同行シ自首シテ来タ  
トノ事テ漸ク安心シ本部ニ引揚ケタノデス本部テハ五謀者  
伊藤ガ自首シ事件ガ未然ニ防止出来タト云フノテ安心感ガ漂  
ソテ居リコト位内々嬉シカツタコトハナカソクノデス  
然レ夫レマテノ経過ニ於テ縣庁裏マデ来テ増田ヲ引キ降シ  
檢束スルカ増田ノ言ヲ信シテ政治工作所謂腹藝ヲハベキカ  
ノ分岐矣ニヒツク時ハ事案ガ重大丈ケニ何レニスベキカノ  
断ニ一寸迷ソクハ又式シ文ヲ爾後ノ行動觀察工作ヲ進メ  
ル氣ガ起ツクテス

次ハ豫定ノ時間ニ増田カニ連絡カナカソク事テ其ノ時  
ノ憔悴苦衷ハ事件ガ事件丈ケニ此レ以上ノモノハ嘗テ所  
々事ハアリマセン  
又増田ガ本部ニ伊藤ヲ連シ自首シテ報ヲ聞イタトキハ此  
以上ノ感激ハナク今尚其ノ感激ノ新ナルモノヲ今日感ズル  
第デアリマス斯ウレタ苦心ナリ感激ハ各種事件ニ遭遇シ若  
心ノ程ガ深ケレバ深イ程感激モ大キク恐ラク自ラ体験サレタ  
方々ニ於テノ味ヲコトノ出来ル優越感テアリ感激テアルト  
思ヒマス  
最近ノ觀察内偵上私ノ感シタコトヲ申上ゲマスト今日右翼團  
係ノ一般動向ト致レマレテハ過般ノ言論、出版、集會、結社等  
時取締法ノ施行ニヨリ結社ハ大転換ヲ余儀ナクセラルニ至リマ  
レテ非合法運動ハ地下ニ潜ソクハナイカト思ハレマ又從ツテ  
今後ノ非合法ノ内偵ハ一層困難ガ伴フト思ヒマス、合法運動ハ



從來ヨリ輿論ノ喚起ト其ノ情勢機運ノ發展ニ下リマシテ今後  
ト雖モ合法運動ノ裏面ニハ必ず非法分子ガ潜在シテ居ル  
ト云フ事ヲ前提トシテ合法面ノ有力分子ノ行動及此等ノ人物  
ト関連ヲ持テ表面ニ現シナイ人物ノ思想性格行動ヲ充分  
内偵知悉シテ非合法活動ノ未然防止ガ肝要デアルト思ヒ  
又又非合法ハ彼等ガ意思表示スルモノテナク視察内偵  
ノ徹底ニヨリ第六感ニヨリ感取セラル、モノデアルト体験上  
考ヘラレルノデアリマス

久井事務官

先程ノ伊藤左又ノ不穩計劃事件發覺ノ端緒ハ

(中村)

大阪デハ既ニ即承知ノ様ニ思ヒマスガ四日午後五時頃憲兵隊  
ニ電話ガ林ノタノデス 榎原神宮ニ参拜シタ事ハ判ツタガ夫レカ  
ラ先ハ判ラナイ、神戶ニ行ツタライト云フ情報ガ入ノタノデス

伊藤少佐ヲ檢束シト云フ事ハ憲兵隊ニハ全然知ラセテ  
非常ニ昂奮シテ居ラ警察部長殿ニ會ソク時ナド身  
アルノ、震ハレテ居リマシタ、興奮シテ居ルカラ休マセテ  
ト云ツテ休ンダノデスガ、ゴクソト死人ノ様デシタ、公用行本  
ノ中ニハ英國領事館襲撃ノピラガ三千枚位入ツテ居リマ  
シタ

内務省

伊藤少佐ト民間ノ増田トノ連絡ハ

(中村)

全然ナカツタノデス、伊藤少佐ノ話ニ全然共鳴シテ決行ニ加  
ハリ三日ノ土特頃ノ話合デ同志的結合ガ出来タ、憲兵隊デ  
ハ全然何モ判ラナカツタ

久井事務官

永イ間ノ視察内偵ガ徹底シテ居タカラソノ様ニ成果ガ得ラ

大阪府特高課長

中村君ノ弟ニシテ、五事件ノ際岡山ノ関係者ニ前々日ニ  
他ノ仕事デ上京シタモノアリ、只一人ノ人間也、ケ墓参ヲスルト云  
フ様ナ事情ヲ残り、偶々訪レシ際事情ヲ打明ケラレ行ニ加ハ  
リタ、影山が大東塾ノ塾生ヲ五六名連レテ参加レタガ影  
山ハ平素塾生ニ「自介ガ挺身スルトキニ共同レテ躍起スル  
様」ニ教ヘ込テ居テ

久井事務官

平沼襲撃事件ノ際、関口君ノ話デハ全然油断レテ居テ相  
ダ、アンナ男ガヤルトハ思ハナカッタ、大言壯語ハレテモソ  
騰力ガアルトハ思ハナカッタ、又地方カラ全然通報ガナカッタ  
トナトガ擧ゲラレ、會談ハ皆西山ノ神官宅デ行ハレテ居テ

大阪府特高課長

コナナ事モ視察ノ行届カテカッタ矣デアルト思フ

中村君ノ第一ノ奥増田ニ對スル平素ノ視察ノ奥デハ七五事

件ノ察知端緒ト似タモノガアル、大東塾ヲ持ツテ居ル視察

員ガ午後八時頃塾ニ行ツテ見ルト何時モ其ノ頃迄ニ飯ソテ居

ルモノガ十数名居ナイ、コレハ怪シイ、何かアルゾ、トト、晚ンダノ

ガ捜査ノ端緒デアル、平素自動車等使ヒモレナイノニ大東塾生

カラ自動車ノ注文カアソタト云フノデ調ベルト可成リノ台敷デア

ル行先ヲ調ベルト比較的近い所デアルソナ事ヲ色々調ヘテ居ル

ト何處ヘ誰ガ行クト云フコトガ判リ自動車ノ行カナイ所ハ徒歩

デモ行ケル場所ヲト云フコトガ判リ大体何時何分頃ニ自動車ノ

中デ器具ヲ梱包シテ乗込ムト云フ筆迹判ツタ

平素ノ視察状態ノ変化ハ何デモナク無狀ノ様ニ思ヘルガ實

ニ重大デアル、中村君ノ才話ト七五事件ヲ綜合レテ考ヘルト



實ニ特節ヲ合スル莫カ多イ

久井事務官

七五事件ハ警視廳ト大東塾ト合同シテ芝居ヲ打ツク様ニ  
サヘ云ハレテキル位デ全ク圖星ガ的中レタ事件デアル平素  
ノ視察内偵ガ徹底レテ居タカラデアル

大阪府特高課長

平沼事件ノ朝警視廳ノ警備係長堀崎君ト關口君ガハス  
ノ中テ偶然出會ヒ四方山話ノ末關口君ガ堀崎君ニ「団体事  
件ハ大体事前ニ判ルケドモ個人事件ハ全然判ラヌ個人事  
件ハ第一線ノ者ニ頼ムゾ」ト云ハレ堀崎君ガ「ヨレ引受ケタ  
ト云ツテ別レタ所ガ其ノ日ニアノ事件ガアツタ  
私ハアノ事件デ遂ニ責任ヲ感ジテ居ルガ西山ハ岡山デ視  
察ニ入レテ居タガ第一線デノ視察ハ其處迄行届イテ居ナ  
カツタ

久井事務官

太分大キナ動キガアツタデスナ

大阪府特高課長

奴サン達ハ知ソテ居テ知ラヌハ特高課長ケト云フコトニナツタ  
其後ノ左翼ノ座談會デハ強調スル心算ダガ他府縣ノ通報  
ヲ讀ミテモ過古ノ歴史ヲ讀ミデ居ルガ如キ状態デアツテ  
此ノ事件ハ何ノ為ニ檢舉サレタノカ其ノ後ノ動キハドウナ  
ルノカト云フ風ニ関心ヲ以テ見ルコトガ甚イ。視察戰術上ノ  
參考トレテ熱心ニ讀ム必要ガアル

兵庫

(草場)

特高ノ仕事ガ事務的ニナツテ輕視サレル結果デアハナイデセウ

カ

久井事務官

大阪火ケノ問題デハナク全國的ナ問題デアルワレイ

大阪府特高課長

管下六十三署ノ特高主任デ治安維持法違反ノ取調ノ出來ルモノハ僅カ三名デアツテ實ニ心細イコト事テ萬一事件ガアツク場合ニハ其ノ處置ニ困惑スルト思フノデ特ニ放養ニ重責ヲ入レル意味デ警務課長ニ話レテ講習所ヲ出ラ來タ警部補ヲ二名指名レテ配置ヲ受ケ課長直轄トレテ手許ニ置キフリーランサートレテ應援サセル所轄ノ特高主任ヲ本部ニ招シテ取調サセル代リニ手許ノ警部補ヲ署ニ特高主任ノ代リトレテ出スサウスルトニヨツテ所轄ノ特高主任ハ聽取ヲ取ツタリ事件ヲ處理スル經驗モ出來フリーランサーノ警部補ヲ特高主任ノ仕事ガ出來ルト云フ様ニナリ將來ノ人ヲ育テル意味ニ於テ教養ニ意ヲ用ヒネバナラヌ

久井事務官

カク云フ問題ハ事件ガ起ツテカラデハ遅イノダカラ未然ニ防止スル為メニ平素ノ視察内偵ヲ良クアラネバナラヌ

大阪府特高課長

先刻ノ前田君ノ神矢隊事件ノ事ダガ先日田邊署ニ行ツタラ寒川君ナシカ當時本部ニ連絡レタラソノ島鹿ノ事ガアルカト云ツテ相手ニサレナカッタト云ツテ居タガソノ事ガアツタノデハナイカ



和歌山

(田中)

和歌山縣ノ概況モ先刻未嘗様ガ御話ニナラレタト略々同  
様デアリマシテ大ニ夕動キハナイノデアリマス只十一日カラ一  
月乃至三ヶ月ノ豫定デ井上日召ガ未縣シテ居ルコトデア  
リマス。現在、右翼陣營ニハ現政府ニ協力ノ建前ヲ執ツテ  
居リマスガ一部ニハ現政府打倒ノ流ノアルコトヲ内面觀察致  
シテ居リマス又最近迄ニアマリ積極的ニ出ナカッタモノテ  
モ強硬ニ出テキルモノガアリマス

私ハ從來カラ特高デ成功又ハ失敗シテノ經驗ハ相手方ノ人  
物ヲシツカリ腹ニ入レテ置クカ否マニ係ツテ居ルト思ヒマ  
スガ例ヲ大岸大尉ニ執ツテ見マスト本人ニ接スルト皇  
室主義ノ話バカリシテ居ルノデアリマス

五二五事件以來三ヶ月以前ノ家ヲ借用シテ居ク大岸大尉

ノ家ニ張込ニテ見張ラシク事ガ成ル相テ其レテ来在者  
ガ良ク判ツタ相デアリマスガ遂ニ大岸大尉ニ發見サレテ打  
ツク斬ツテヤルレト云ハシラセテコトガアル相デアリマス  
之ヲドモモツト渡ラ打明ケテ接近シタテラバツテテ失  
敗ハナカッタノカモ知レナイト思ヒマス  
相澤中佐ガ大岸大尉ノ感想ヲ聞キ来タコトガアル  
其時大岸大尉ハ昭十四五年頃英米ヲ打倒セネハナラ  
ヌト語ツク和歌山ニ於テモ英米打倒ノ機運カ醸成サレ  
信濃丸ニ於テ野外講演會ガアリ當時神武會ノ英米宗  
南ト云フ奴ガ關係シテ居マシクガ頼リニ東京 神奈川方  
面ニ来住シテ居テクノテ怪シイト脱シテ内面捜査ラシメシク  
ガ二三日不在ニナツタコトガアリ家内ニ就イテ聞イテ見  
マスト別ニ何モ告ゲスニ出掛ケタトノ事デ歸ツテ来タ  
ラ知ラセテ呉レト頼ンテ三日目ニ行ツテ見ルト色々話

合ツク末「絶対」口外ニテ貫ツテハ困ル君モ僕モ腹ヲ切ラネ  
バナラヌト前提シテ「笑ハ今夜英米系人物ノ暗殺計劃  
ニ大段ノ振込ノ料亭ヲ計劃シテ来タ首領ハ本間寛一郎  
ト云フヤデ「本間ハ来タカレト問ヒマスト「来タト云フヤ  
私ハ道ノニ當時ノ小林特高課長ニ御話申上ケ小林課長  
カラ上村事務官ニ電話報告シテ貫ヒマシク「絶対」和歌  
山カラ来タト云フコトハ言フテ貫ツテハ困ルト云フ事ヲ  
頼ンテ置イタノデアリマス所ガ三日後湊ガ私ノ所ニ飛込  
ンテ来テ例ノ事件ハ暴露シタオ前ガ言ツクンクラウレト  
言フノデ私ハ「ソノ馬鹿ナ事ハナイ僕モ絶対ニ口外ニテ居  
ラントト言ヒマシテモ「内務省デ聞イタ所ニヨルト和歌山  
方面カラ出クレト云ツテ責ムルンテ私ハ徹頭徹尾知ラス  
存セヌト一頁張リデ押通シマシクガ之トモ先方ガ見込  
云々ト云フモテ相手方ノ腹ノ中迄見抜クト云フ密接ガ關係



が成功サセタ例トモ言ヘルト思ヒマス。和歌山デハ清水一  
閑院宮殿下、松平宮相山本英輔大將其他二三名暗  
殺ノ計劃ガアツタカ其レハ私ト凄トク間ニ腹ニ一物モ藏  
セヌ個人的ナ緊密ナ關係ガアツタ為メニ知ルコトガ出来  
ト思フ以上少シテモ参考ニナレバト思フテ御話シテ  
久井事務官  
之ト同ジ様ナ話ハヨク聞ク個人的ニ密接ナ繋リヲ  
コトハ必要ト思フ

（奈良）  
村井

奈良縣ノ第二主任デスガ不穩事件ヲ檢舉シタ経験ヲ  
モツテ居リマセンノテ誠ニ心林ジイ氣ガ致シマス  
事務官殿ノ方カラ見ラレマシテモ奈良縣ハ何ヲシテ  
居ルカトイフ事ニアツテ頼リ無ク思ハレテ居ル事ト思  
ヒマスガ此構ヘダケハ平素ノ視察ノ体様ハコウシテ居ル  
トイフ事ヲ申上ケルコトニヨツテ御指導ト御諒解ヲ  
得タイト思ヒマス

第一ニ私ノ方テハ塾組織ニアツク敵ノ狙ヒ處ヲ掴シテ居  
ル掴シテ行ク積リテアリマス  
塾ニナルトト人数ハ減レカモ知レナイ代リニ血盟關係ガ  
出来ルソウナルト親族兄弟ヨリモ私叔スル人ノ感化  
ヲ強ク受ケテ彼等ノ事アルトト突然ニ起上レル人物

が増へル少クトモ集團テロテナイ個人テロノ誘弁  
過程ニナルト見テ居ルノテアリマス。ソレソレハ本縣  
他府縣人カラ放導サレル可能性ノテ地理状態  
ニアルコトカラシテモ極メテ重要ナコトテアルト思フテ  
一生縣命ニテツテ居リマス。先般五條町ノ栄山寺  
ノ道場ニ國粹同盟ノ鍊成會ガアリ。今奈良市デハ  
大日本一新會ノ分會ガ結成中テアリマス。赤誠會  
ハ塾ヲ遠早ク造フテ居リマス。又別ニ皇道翼賛道  
場デモ我コソハ塾組織ノ元祖カリトイフマウテ顔ヲ  
シテ居リマス。決シテ安心ハシテ居ナイノデアリマス。盛下  
非常ト不安ヲ私共ハ持ツテ居ルノデアリマシテ一線ノ特  
高主任ニ對シマシテハ書類ノ通達マ會議ノ相談ヲ超ベ  
ク執心サテモツテ

何カナイカ 何カ不穩事件ヲマル指令ヲマイテ居

ナイカ他人ノコトデモ聞イテ居ナイカオ手傳位ハシテ居ル  
ノ何カ出セヨ  
ト激情的ナ叫ビテ拳ゲルヲ比喩シテ居ルノデアスソレコ  
ノ課ヲ一線ノ關係ヲナシニ個人的ナ情愴ニ基ク日本古來  
ノ「頼ミシ」ヲ以ツテ起クナケレバナラン様ニスルノデアスガ外  
部ハ云ヘマセンガ「無レ」ノデアスネ  
郵便ノ裏面入手位ハ朝飯前デス。私ハ曾テ一二年半程一  
線ノ特高主任ヲシテ居ノノデアスガソノ時ノ経験ヲ申上ゲ  
マス。ト巡問ノ時ニアマエ池ノ撮影所ニ左翼前歴者ガ来  
テ居ル疑ヒガアルカラ偵察セヨトイワレテアレラノ俳  
優仲間ニハ普通通ノ手段ハ喰ヒ込メナイカラ無茶苦  
茶ナニナリオヲ造ツテソノ撮影所ヘ持込ニテ監督イ  
ナメラヤツタ事ガアリマス。興重キネマノ金田ト云フ監  
督ガスガ段々日数ヲ終テ行クウチニ遂ニ映画ヲ撮ハナ



分レバテラン事ニテリマレテ不慮ガハ監督ノ言葉ニヨリ  
マスト彼ノ造ツクハ荒野の叫びハ神戸事件ト云  
ノガ内務省ヲ左翼的ナシナリオクト云フノテクハト録  
ヲ入レラレタ其レガ爲ニ検閲ヲ受ケタ残リスイルム  
デハ物ニオラン興行価値ガオイト云フ事ニオツテ私(余  
田)人氣ヲ落シクト云フマシアコトヲ本人ハ口カラ聞キ  
マシタガ結局コレモ苦勞シタ結果東京ニ居ル其ノシナ  
リオライイターノ罪デアツテ金田ノ罪デアイイ其ノ金田  
ハ今私ノ知ツテ居ル處ニ仕事ノ變向ヲシテ暮シテ居ル  
カレドモ何等莫ヒガナイト云フ事ニ終ノテシマツテ却  
ツテ其ノ映画ヲ造クル爲ニ三月モ浪費スル人モ言ハシ  
マウナ始末テ終ツタノデアリマス  
結論ヲ申上ケマスト私ハ奈良縣ハ肇國ノ聖地デア  
リ明治維新ノ魁ヲシタ處ヲ國家主義運動クケル

ソシニ他府縣ノ人カラ見マスト見エル様デアリマスガ肇  
國理想カラ芽生ヘタ日本主義理論ハ成長スルニ隨ツテ  
矢張り肇國ノ理想デ不穩行動不敬行為ガ抑ヘラ  
レシノデハナイカト一人思フテ居ルノデアリマス往昔ノ左  
翼運動ノ歴史ヲ見マシテモ當時ノ農民労働組合ノ幹  
部ハタラ幹デアツテ終着的テ希望カラカ若クハ  
地方ノ政治ヲ左右シタイガ爲ニ走り廻ツク連中許リ  
テ今日跡形モ残ツテナイ様ヲ始末デアリマス  
大都會日ニ近イテハ無イカト云フ事モ經濟的ナ功利  
主義ニハ敏感カレトモ思想的ニハ衛星都市ハ役割  
ヲ果シテ居ラント云ハマス思想テハ生活出来ナイノデ  
ス不平原一隆デモ山本十一ヲモ故郷デモ受入レラレ  
ナイ縣民ガツイテ行カナイ隨ツテ成長シナイ縣  
民性ダト云フ客觀狀勢ニ押サレテ居ルノデアリマス

ソコへ視察が劇シイト申シマスト自慢ニアリマスガ松  
等ハ<sup>7</sup>良キ敵御座ンナレト侍ツテ居リマスノデス  
カ

久井事務官

ソウカネ 縣民性グト安心セナイ様ニ  
村井

イマ決シテ安心シテ居リマセン却ツテソノ故ニ飛出  
シ者が出ナイカト心配シツ、仕事ヲシテ居ルノデア  
リマス 奈良縣ニハ神社佛閣が多イ、今日議ラシク  
リ打合セフスルニカモフラスル場所ガ至ル所ニア  
レトイフ莫カラシテモ不安ナノデアリマス  
大阪府特高課長  
平沼事件ノネ 西山ネマレハソノ親分ニナル男ガ  
絶ヘズ過激ナ事ヲ云フノデ視察シテ居タガ西山ト云

ノガ飛ビ出スト云フ事ガ判ラテカツタ岡山ノ地方ノ無  
ノ青年ガ飛出シテ誤カネソレトネ  
モウソツハ東京ヘハマテ多少ソノ男ト會談ハミテ  
カ事件ニ纏レテナイ ホントノ実行行為ハ岡山ノ神  
官ノ宅テマツテ居ル

久井事務官

此ニツ、矣カラシテモ奈良モウソツマツテ貫ヒタイ  
事件ノ前日ガ當日ニハ必ズ神社デ祈願ヲマツテ居ル  
君ノ云ツタ神社ニ氣ヲツケルコトニ依ツテ是非成果ヲ  
挙ゲテ貫ヒナイアレラノ祈振ハ普通ノ人ト様子  
カ遠クニイネ 身体ヲブルク振ハシテ居ラニイ  
ネ

村井

ハツウソトマリマス 今日ノオ話ハ課長サンニ報告



一線ニ徹底ニテニツカリマシマス  
トウモ有難ウ御座居ニシタ

宗教關係ニ就而  
大阪

(田井)

私ハ宗教ノ係トシテ取締視察内偵ニ相當苦心致シマシカ  
昭和十一年以來大キナ檢舉事件トシテハ

- 人ノ道不敬事件
- 天理本道事件
- 天理三輪講事件
- 無宗派基督教不敬事件
- 大自然天池白之大神事件
- 神靈科學詐欺事件
- 本門法華宗事件

等カアリ當時ノ係長本多警部ノ御指導ニ依ツテ檢舉シタ  
ノデアリマスガ宗教警察ノ要訣ハ信仰者ニナリ信者ニナル

事が必要デアリマス、私、体験デモ實際馬鹿ラレタ思ヒ  
警察本然ノ任務トハ全経線遠イモノノ様ニ錯覺ニ陥ル  
コトハ屢々デアリマシテ、ノ道事件ヲモ大自然モ地日ニ大神  
事件デモ随分苦勞シマシタ、女自然天地日ニ大神事件テ  
ハ福島靈覺ト云フ者ヲ手先ニ使ツテ内偵シマシタガ教祖ノ  
小島十カノ向ヒノ家ニ信者ノ控家ト云フノカアツテ其處ニハ肺  
病患者カコロノ、ト致シテ居リマシタガ其處ニニ晩白ツテ  
内偵シタノデマリマス、感染スル様ナ事モ考ヘラレマシヨイ  
氣持ハ致レマセンテシタガ運良ク感染モセス事件ノ真相ヲ  
掴ニテ十三年九月ニ一齊檢舉ヲ致シマシタ又人ノ血事件  
テハ事件ノ端緒ガ單ナル告訴狀一本ニアリマシメ、ハテ真相  
ヲ掴ハノニハ全ク警察ノ仕事トウケ龍シタ様ナ事違隨分ヤ  
ツテ来マシタ例マアノ事件ハモ種彦セラシタ事ガ告訴サレテマル  
ノデスガ本人ハ未ダ十ニ才位ノ少女ナノテ當時ノ事トヲ語サ

セルトモウ顔ヲ眞赤ニシテ何モ云ハヌソレヲ檢事局デ全部ヲ  
言ハセル様ニスルニハ骨ノ折レル仕事デアリマシタ、又事件ノ違  
行中人ノ道テハ之ヲ感付イテ告訴人ヲ賞收スル為メ現金  
二千圓ヲ持ツテ告訴人ノ家ニ来マシタ、私ハ之ヲ取下ゲサセテハ  
事件ニナラナイト思ヒテモ警察官ガ干與シテ收受ヲ拒  
マセタトアツテハ後カラ問題ニナルト思ヒ禊ノ陰ニ隠シテ受  
取ラヌ様ニスル為メニ僅カニ十圓ヤ三十圓ノ金ハトウテモナル今ニ  
十圓貰ツテ告訴ヲ取下ゲル様ナ事ハ其日タレトスカレテ見タリ  
成詰シテ見タリ全ク縁ノ下ノカ持子ノ的ニ仕事ニ骨身ヲ削ラレタ  
ノデアリマス  
私ノ体験デハ信者ニナリ切ルニアラザレハ内偵ガ出来ヌ特  
ニ宗教事犯ハ特別ニ機密ガ嚴格デナケレハナラヌト云フ矣  
デアリマス、友達ヤ家族ガモ今自分ガトシテ事ヲヤツテ居  
ルカヲ淺スコトガアツテハ絶対ニナラナイノデアリマス



宗教ハ漢トシテ普通第三種即チ氣狂ヒ扱ヒタル向カアリマ  
宗教ノ特質ト致レマシテハ神道デモ佛教デモ基督教デモ  
常に未來ノ王國ヲ語ツテ居ル事デアリマシテ例之天理本道デ  
ハ甘露台世界 佛教デハ、ロケ世界 基督教デハ千年王國  
新天新地ト呼ンデ居リマス、私達宗教ノ取締ニ任ズルモノハ  
先ヅ信者ニナリ切ル事カ何ヨリ大切ダト思ヒマス

久井事務官

教義ノ研究ナスルニ信徒ニナリ切ラネハナシイソツツ如何  
特別ノ方法ハアリマセンカ

(由井)

特別ニ之ト云フ事モ思ヒ當リマセンガ天理本道事件ニ見ル様  
ニ教祖ハ「自分ハ生キ神デアルト思ソテ居ルノデアリマスカ  
ラ矢張り内部ニ喰入ソテ終ハ不入機密ハ掴メナイト思ヒマ  
ス

久井事務官

矢張り信徒ニナリ切ソテ居ラネバ打テ明ケラレナイ様チ秘密  
ノ事カ多イノダネ

奈良

(高橋)

私ハ昭和三年十一月治安維持法違反ニ依リ檢舉サレマシタ  
元天理本道天理研究所ノ所在地ニ勤務致レテ居リマス、関  
係上之ガ檢舉ニ至リマス迄ノ概要ト現在之ガ関係者ニ  
對スル視察取締ノ狀況ニ就イテ申レ上ゲテ見タイト思ヒ  
マス

昭和三年四月不敬罪ニ依リ檢舉サレ解散ヲ命セラレタ天  
理研究所大西愛治郎等ガ再興シタノハ如何ナル處ニ基  
因スルカト云フコトカラ考ヘテ見度イト思ヒマス

昭和三年四月檢舉ト同時ニ天理研究所ハ閉鎖サレ其ノ後

ハ所轄ノ駐在巡查カ駐在所ヲ引揚ケテ研究所内ニ駐在レ  
專ラ關係者ノ出入ヲ嚴禁レ再興ノ機會ヲ與ヘナイ様ニ  
取締ヲ嚴重ニレテ居タノデアリマスカ彼等關係者ハ  
第一ニ檢舉サレテ取締ノ結果カ信仰ハ構ハナイカ思想カ悪い  
ト云フ説示デアノタト云フコト、  
第二ニ檢舉サレテモ也ズ甘露台ハ救ハルノタト信者ニ云ヒ  
聞カセテ居タ處ハ大西愛治郎カ無罪トナツタト云フノテ  
精神病者デアルタメ無罪ニナツタト云フコトヲ秘ニレ  
一般信者ニハ  
神ノ豫言ハ的中レタ又神ハ其ノ子甘露台ヲ救ハレタ又  
神ヲ罰スル法ハナイ  
ト云フコトヲ宣傳レテ信セシメタ事  
第三ニ檢舉後彼等ニ轉向ノ一翼タル生業ヲ與ヘラレズ働ク  
コトノ幸福ヲ感ゼシメズ依然トレテ甘露台ノタメニ働クト

云フ信仰ニ生キルコトヲ志レサセナカッタコト  
第四ニ病氣其他ノ精神病ヲ受ケタ一時的信仰ニ能ク  
タト云フモノト違ニ彼等信者ハ二代三代ト親ノ代カラノ信仰  
者テ謂ハバ生レラニレテ甘露台大西愛治郎ヲ神ノ如クニ  
崇拜レ他界ヲ知ラヌ又信仰ノ無智者デアリタト云フ文ケニ  
轉向カ出来ナカッタト云フコト  
第五ニ檢舉レタ府縣デハ嚴重ト視察取締ヲ續行スルガ  
關係ノナカッタ府縣デハ時日ノ経過ト共ニ取締ニ間隙カア  
ツタコト  
第六ニ信仰者デナイ信仰ヲ強ヒル本道ノ役員カ相當期間  
ヲ忍ビテ天理研究所ヲ志レサセタ時分ヲ待ツテ元ノ信者  
ニ通信其ノ他ヲ再興ヲ呼ビカケタルコト  
第七ニ依ツテ再興ノ期ヲ與ヘタノデハナイカト思ヒマス  
前申レマシタ様ニ之等ノ諸員ヲ考慮シテ所轄ヲハ駐在



所員ヲ研究所内ニ駐在セシメ巖重ナ取締サレテ居タノ  
アリマスカ約三年経経過レテカラ研究所内ノ荷物ヲ引取  
リニ來ル者ガ出來テ來マレタノテ荷物ノ送り先ヲ調べテ見  
ルト皆同ト處テ何處ト云フコトガ判リマレタノテ調べテ見  
スト信者關係者ガ寄リ合ツテ居ルト云フコトアリマ  
地元丈ヶが余リ巖重ナルタメ土地ヲ改ヘテ潜行的ニ再興運  
動ヲヤラレテ却ツテ其ノ根柢ヲ擱メナクナルト云フノテソ  
レカラ研究所ノ駐在ヲ引替ハレタノテアリマ  
其ノ後速速元信者ガ何處カラトナク集ツテ來ル様ニナリ  
其處ヲ巖重ナ視察ニ入り第ニ次檢擧トナツタト云フ様ナ  
次第デアリマス  
斯様ナ訣テ信仰ニ依ル犯罪者ニソキマレテハ却テ祝祭ニ所  
際ヲ許サレマセン  
現在ノ元天理本道關係ノ私ノ方ニ在位レテ居リマスモノ

勤向ニソキマレテ

昭和三年ノ檢擧ニハ信仰丈ハ許ナレタガ今度ハ本道其  
ノモノガ惡イト言ハレ又長イ間取調ヲ受ケタ間ニ信仰  
ノ中心ヲ誤ツテ居タト云フコトハ良ク判ツタ而レ今更他宗  
派ニカハルコトモ出來ナイレ他ノ何モノカニ又レカラ頼ツ  
テ良イノカ判ラナイ  
ト云フノガ一般ノ心境デアリマレテ此ノ間モ現在入監レテ居  
リマス木村五一ノ母親目小村大吉ノ妻ガ死セマレタ時  
其ノ佛ノ事ヒラドウシレタカト申レマスト元ノ關係者許リガ  
寄り合ヒ寺院ニ頼ムノモケンクノ惡イ、神官ニ頼ムノモ  
変ダト云フコトヲ結局關係者中ノ長老野村善一ト云  
フモノガ祭主ニナツテ神式ニ據ツテ平ツタノデアリマス  
兎ニ角彼等ハ他宗派ニ變ルコトハ元ハモドルト云フコトテ  
元ニ戻ルト云フコトハ神ソオ比リテ受ケルト今テモ信切

ツテ居リマス

ソレ又々ニ轉向トハ言ツテ居リマスモノ甘露台大西愛  
治郎ヲ忘レ得ズ心ハ一樣カラウト思フノデアリマス

勿論一般宗教ノ視察取締ニ就キマレテハ先程大阪府ノ方  
が言ハレマレタ様ニ各神派 宗派ノ懐ノ中ニ信者トナリ切ツ  
テ違入り込ムコト等相當苦心ヲ要スルコトハ取締ルモノノ齊  
シク努メテ居ルコトト思フノデアリマスガ又一面治安維持  
法違反等ニ依リ一旦解放ヲ命セラレタモノノ再建運動等  
ニ對スル取締モ亦重要デアリマレテ私ノ亦テハ元天理本道  
關係者ニツキマレテハ

今度ノ檢舉デ相當長期ニ亘ツテ取調ヲ受ケタモノハ信  
仰ノ中心ヲ誤ツテ居タト云フコト大ケテモ感心シテ居リマ  
スガ檢舉ニ及レタルモノ又輕ク取扱ハレタルモノ又信者  
ノ家族ト云フモノニハ未ダ本道ノ如何ナルモノデアルト云フ

認識ハナイノガ本當デアルト思ヒマスノデ前歴者ニ對スル視  
察ハ勿論デアリマスガソレト併セ前申レマレタ様ナモノノ視  
察取締ヲ嚴重ニ致レマスト共ニ信者デナイ信仰ヲ強フ  
ル元天理本道幹部ノ通信出入關係等ノ視察ヲ嚴密  
ニ致レ

又他面於テ働クモノノ幸福ト働クコトニ依ツテ昔ヲ忘レ  
サス方法又信仰ノ暇ヲ與ヘナイ方法トレテ就職指導レ  
依而再興ノ機會ヲ與ヘヌ様些ノ間隙ナキ取締ヲ以テ臨  
ンデ居ル様ナ次第デアリマス

久井事務官

夫レデハ年前中ノ會議ハ之ヲ以テ終ルコトニ致レマス

以上



愛知縣 警部補 村 瀬 甚

御指名ニヨリマシテ之ハ本縣カラニ名ノ昇係者ヲ出シマシタガ其ノ失職談ヲ...

御参考ニ伏シタイト思ヒマス

本事件ニ昇係シタニ名ノ人物ヲ紹介シマスト大倉常吉四十九才ガ...

アリマシテ本人ノ職業ハ真綿ノ製造アリマス

幼時カラノ生立ハ非常ニ貧困アリ尋常學校ヲ終ヘテ直ニ大阪...

向屋ノ丁租奉公ニ出タノアリマス

二十才ニ年期カ明ケテ自介テ飲立レテ大阪真綿ノ小賣商ヲ始メ...

モナク失職シテ大阪ニ居レナクナリ北海道ニ渡ツタ誤アリマス

其處ニ牧場ノ牧夫ヲルシマツテ又代リ最後ニハ石狩ニ去リ...

ソノ生活ヲ二三年續ケテ居ツタノアリマスガソレモ止メテ昭和十年ニ自介...





テアリマス。カソノ時偶々影山政治が代表ヲ来クテアリマス。ソノ時、座談  
会ニ於テ影山カラ當時ノ情勢ノ語モアリ。色々質問モシタリシテ影山ノ人ト  
リヨ固々非常ニ感心シ之ノ人ナラバ本當ノ事が出来ルト言フ氣持ヲ持ッ  
タテアリマス。之ノ研究会ニ乘テノヲ契機ニ豊橋ニ支部ヲ結成スルト云  
フ相談ガアリ。當時本人モ入党シテ居ラリタノテアリマス。カ出席シテ結  
成ト全時ニ入会スルト云フコトニテリ。昭和十二年秋ニ大日本生産党ニ入会シタ  
ルアリマス。

爾來事件マテ生産党ノ幹部トシテヤツテ居タノテアリマス。本人ハ非常ニ党  
ノ事ニ付テ熱心ヲ示サタリ。アリマス。  
長崎建設ノ際ハ生産党ノ入党ハ昭和十五年ノ五月中旬頃アリマス。是年五月  
ハ大日本生産党ノ全國大会ガ開カレタリ。當時黨橋市ニ演説会ヲヤツタリ。カ  
ノマエカ此ノ時非常ニ感銘致シタリ。生産党員ナル川村信行ヲ知ツ

テ居ッタ所カラ入党ノ手續キヨトツテ貰ヒ入ッタノテアリマス。長崎ガ入党ニ  
向モタダ本事件ニ関聯スルニ至ツタ理由ハ後ヲ申上マス。カ以上カ西ノ經歷  
思想傾向ノ大休ッモノアリマス。

次ニ運動経路ヲアリマス。カ事件ニ関係致シマス。當時ノ兩名ノ行動ニ付テ申上  
スト。昭和十四年十一月一日カラ三日迄伊勢ノ惟神道場ニ於テ中部地方ノ修養  
会ガアリ。三縣下ノ講習会ハ催サレタノテアリマス。カ本人モ之ニ参加シタノテアリマス。  
ソノ時ノ講師トシテハ大森一成、日本建設ノ井田工、海軍少將ノ起田一、  
人等ヲアリ。ニシガ三日間ニ亘ツテ種々話ガアツタノテアリマス。カ之ノ時本人モ非  
常ニ時局認識ヲ印シタノテアリマス。講演会最後ノ日ニ各自ガ意見ヲ發表シ  
マツタノテアリマス。カ偶々支那事変處理問題ニ付意見ガ出タノテアリマス。カ國  
策ノ速カナル處理ノ為ニハ英米ノ支那ニ於ケル租界ヲ回收スルルニシテ  
心現存ノ所謂親英米派ガ國內ニ居ル様ニハ之レハ絶対望マレナイ。從テ

シムフ人物ヲ政治面カラ後退リセテ眞ノ政治ヲ行ハネバオラスト云フ事アリマス

其時ニ大倉ノ感ヅクハハニソノ通りテアル然モ其間ニ色々誤リ開イキガ  
終局ニ於ケル皇軍將兵ガ血ミドロニナツテヤツテ居ルノニ國内ニ於テ  
政治ガ悪イ為ニ眞ノ使命ヲ達成出来ナイ

眞ノ政治ヲ阻害シテ居ルノハ親英米派アルドウシテモ政治ノ進路カ  
ズト云フコトガ必要アルト云フコトヲ特ニ感ヅク事アリマス  
コレヲ歸ツテ来テカラ愈々ヨク視英米派ヲ除クト云フコトニ付テドウシテヨク

ズト云フコトニ付テ考ヘクノテアリマスガ直々ニ良策モ浮バナイ自分一人  
モラマイソレヲソノ及省ヲ促ス為ニ大和ノ樞原神堂ヲ断食ヲ行ヒ餓死  
スルト人トバ上層部ノ人ガソレヲ聞イテ自分ノ悲憤慷慨モテ死シタト云フコトヲ  
人テ及省ヲ促スコトガ出来ルト信ジ本人ハソレヲ所轄署ノ視察員ニ対シテ

斯ク云フ事ヲ言フコトヲ聞イタツレバ斯ク云フコトヲヤラウト思フ下  
リマス 視察員ハソレハ自分ヨガリノ考ヘ方テ效果ガナイ当 faced 必要ナ  
キ所謂旧体制ノ掃トスフコトニカラ注クコトガ必要アルト云ヒ聞ナサレ  
リマス

ソノ問題ニ付テ其後モ相当者ヘタテアリマスガ結局現在ノ政治ヲ早ク人  
ニハソソコトヲハキナルイ何レ自分ガ断食ヲシテ餓死シテシマフコトニ  
シテハ上層部ノ人ノ及省ヲ促スト云フコトニナレバ一人ハモ二人ハモ  
マツケテカラノ方ガ又效果ガアルト言フソレニ付テ具体的ニ一生懸命  
考ヘテ居ツタテアリマス又偶々昭和十四年十一月三十日ニ影山正治ノ弟  
ガ軍隊ニ入隊スルト云フ事ハ十二月一日ニ豊橋ニ来ルソノ時同志ノ人ト  
話ガシテタイト云フコトヲ手紙ヲ受取ツタテアリマス 本人ハソノ時  
ハ一ソノ影山ノ扱カラ得ヤウト云フ考ヘテスルニ致ツタノ事アリマス

其處ニ影山ガ来テソノ自宅ニ落付イタ所ハ大倉ガ尋ネテ行キ莫ク伊勢ノ



神道場へ行ツタノアルが昭和維新翼賛ノ為ニドウセ断食シテ死ニ赴クバ  
一人テモ二人テモマツテ維新断行ノツケ火トシタイト云フコトヲ打明ケタリ  
所が影山ハソレヲ聞イテ大倉カンハ急進的ノ方テス不然シ本當ニソレヨリ  
ガアルカト尋ネタ所本人ハ眞剣ヲ本當ニマリスト判然答ヘタアリマス  
影山ハソレヲ実ハ自分モソレト同じ様ナコトヲ考ヘテナル今ソノ時期ニ至リ  
ソレハ居ラナイガ飛春上京シテ来タラトリギスヤウト約束シタノアリマス  
本人ハ自分ノ意見ガ之ノ約束ニヨリテ實現出来ルト云フノ非常ニ喜ビタ  
テアリマスソレヲ翌十五年ニムツク決テアリマス一月十日頃大会ノ講習会ヲ  
マルト云フコトヲ大倉ノ所へ通知ガアリソノ上京ヲ慈惠シテ来タノアリマス  
所が本人モ講習会ニ出タイト云フ氣ニナツテ居タノ早速之ニ応イ十五日尙ノ講習会  
ヲ受ケ其後歸ラズニ泊リ込シテ講習会ノ終ツタ翌十八日ニ影山ノ所ニ行キ先  
ニ決シク決議ノ問題ニ付テ御意見ガ伺ヒタイト申し出タ所影山ハ実ハ自分モ盟

協定会ツク時以來決意シテ居ル時期ノ界係其他ノ界係ヲ詳シクハ申サナイガ  
マル時ニハ必ず連絡ヲトル一切ノ事ハ本部ニ任ジテ置イテ貫ヒタイト云フ決テ本  
人モソレヲ聞イテ一応ソレナラバ宜シクシノムト云フ決テ歸ツタノアリマスソレテ  
豊橋ニ歸ツテ来テ考ヘタコトハ自分ハ斯ク云フ計畫ニ入リ敢行スルト云フ  
コトハ外ニ三人テモ同志ヲ入レルコトが出来レバ尚更ヨイト思ヒツキ三河カラ  
之ハト云フ人物ヲ内々捜シテ居ツタノアリマス

一不視察員ノ方ニ於テハソウ云フ莫ク何モ判ラズ大倉ガ非常ニ運動ガ熱心  
テノノ徑ノヨリスルモ相当迂餘曲折ノアル余生ヲ送ツテ来タ者アリ大シク男ハ  
其ガ出来テキル人物アリ當時ノ情勢カラ之ノ生産党ノ動キハ重視スル必要ガ  
アリ同是影山トノ連絡ガ密ナル界係ト本人ノ素實カラ見テ多少非合宜モアリ  
本ニシキ予想モアリマシタノ注意ハシテ居ツタノアリマス

然レホ人ハ非常ニ態度ガ懇懇ニ日帯ノ時措モ穩健ニク大言壯語シクナ

「新様」ナ莫云氣ヲツケナクバハカントハ思ツテ居ツタノテアリマスガ年令モ四十九  
トスラテ多ク少シカカシノ男ガト云フ氣分モアツタ説カリマス所カ昭和十四年十月  
ニ中部地方ノ修養会ニ参加シテ歸ツテ末テカラ所轄員ニ講習会ヲ非常ニ得  
ル所ガマダ其時ノ話ニヨツテ國內ノ重臣財閥ガ聖戰ヲ阻害シテキルニシテドウ  
ニモホシシケレバオラヌソレカ為ニ斷食シテモ及者ヲ從シタト云フ決意ヲ試ラシム  
ニハ仲及之是レノ突比ナコトヲ考ヘテセルガ如ク注意シテケレバオラヌト思ツタノテアリマス  
影ハ昭和十一年十二月ニ於テキルニ十六年一月ニハ講習會ヲ受ケニ行ツテ居ルノ所ナリカ  
テハオラカト云フヲ想モリ最モ本人ヲ視察シテ居ツタノテアリマス  
所ガ「新様」ノ動向ノ上ニモソレヲ現ハリナイノテ實際難シイ史ガマツタ 出雲橋支那員  
「新様」行ト云フ者ガ居ツタテアルガソレヲ通ヒテ大倉ノ動靜ヲ内偵シテ居ツタ  
ノテアリマス後ツラマカリノ時ニハ大塚村ヲ通ヒテ判ルトイフツモリテ動靜ヲ見  
ツタ「新様」ノ動向ノ上ニモソレヲ現ハリナイノテ實際難シイ史ガマツタ 出雲橋支那員  
「新様」行ト云フ者ガ居ツタテアルガソレヲ通ヒテ大倉ノ動靜ヲ内偵シテ居ツタ  
ノテアリマス後ツラマカリノ時ニハ大塚村ヲ通ヒテ判ルトイフツモリテ動靜ヲ見  
ツタ「新様」ノ動向ノ上ニモソレヲ現ハリナイノテ實際難シイ史ガマツタ 出雲橋支那員

事件ニ成聯シタノテアリマス一方中西ハ昭和十五年五月月中旬ニ生産党ニ  
入党シタノテアリマスガソレガドウシテ大倉ト共ニ事件ニ成聯スルヤウニナツタカト  
云ト本人ハ既成政党ニカ係シ時局認識モアリ及少時局向ノ本ヲ説クナリナ  
ドトテ國家ノ革新ヲ是非ヤラネバオラヌト云フコト示常ニ大ヤナクコトイテ  
居ツタノテアリマス

レカラ五月ニ入党シテソレ以來太倉ノ所ニ出入シテ居ツタノテアリマスガソノ間  
ニ大倉カラ時局認識ヲ懸ラレ聖戰阻害ハ上層部ガアルカラト云フノテソレガ  
別然シテ居レバ一日モ早クソレ等ヲ國內カラ一掃シテ充分ナル革新的人物ニヨ  
ツテ内閣ヲ組織スルト云フコトガ必要ナハナイカト度々大倉ニ云ツタノテアリマス  
シカシソノ方法トシテハドウシテラ良カラウト大倉ニ聞イタ所ガ今ハ理窟ノ  
時代ニハナイ結局實行ノ時テアル 今マテノ既成政党カヤツテ居リタ様ニ  
選舉ト云フ様ナ事ハナマヌルイ断ノ一字アルノミニテアル上層部ヨヤツタルコト



が一審を取り早イト言ツタノテアリマス中西モソレニ同感シテオレニハ子供モ  
ナク毒カアルカケルウ云フコトヲ國家ニ奉公スルコトガ出来レバ幸テアルト  
云フコトヲ云ツテ居タノテアリマス

本意ニ依テ度同志が感シイト思ツテ居ツタ時モアルノテ本當ニソウ云ラツモリ  
ト云ヒ念ヲ押シテアリマス。スルト中西モ本當ニマルト云フノテ依テ度五月ノ  
終リ頃ト思ヒマスが實ハ斯ク云フ計畫カアツテ同志が着々ト進ムラレテキルノ  
時ニ参加スルツモリヲ居ルカラ君モ参加セヨト云フコトヲ申シテアリマス  
ノニ對シテ中西ニ願ツタリ通ツタリ外是非自分モ入ルテ受レト頼シタル  
アリマス。其ノ由ニ依テ度事件ノ連絡ノ為ニ六月ノ十日頃ニ玉井健ニト云フカ  
来リテ會セシメテ談ヒタルハ小人ハ頼リシタ男ヲ今度ノ事件ニハ心カウ考  
證スルト云フコトヲ申シテ居ルカラ影山カンニ云ツテ貫ヒタイト玉井健ニニ申  
シテ居タルコトヲ云フアリマス

八ヶ岳ノ時ノ打合セハ六月二十七日ノ生産党ノ党大会ノ直後行ハレタル  
ラ小席ノ時ハソノツモリヲ末テ貫ヒタイノ時ニ大休行ツ日附モ決メテ談テノ  
リマス

六月ノ党大会ノ前ニ當リ二十六日ノ日カ依テ度内田ノ三年祭ニ當ルト云フニテ  
ヨノ夜行テ上京シテ談テアリマスが其ノ間色々ソナテ話ガアツタ談テアリソレ  
等ヲ通ジテ**視察ノ欠陥**ヲ反省シテ談テアリマスが先ツ失狀ノ原因ハハテ  
ハ大倉ハ錠リシタ男ヲアル然モ決死的斷食祈願ヲヤルト云フ心境ヲ打明ケ  
テキル上ニ影山ト密ニアル然モ當時ノ状況カラ之ハ何カアルト云フ考ヘテ持ツテ居  
タルテアリマス。當時ノ情勢カラ川村ヲ内值線ニツカッタ談テアリマスが其ノ  
第一大倉ガソウ云フ急進派ナルコトヲ認メテ然モ日常ノ舉措ヨリソ  
ナ事ハ出来ソウナ男ヲナイト云フ感シテ持ツテ居ツタノテアリマス  
昭和四年頃ニ日本建設ノ紺田工同志會ヲアツタ川崎尾崎ト云フ所ニ

談論ヲイテ居タ連中ヲ度々呼ビテ座談会、講演会ヲマルト云々様々ニ  
社会的ノ男ヲナシニ建設的ノ事ヲ考ヘテキル男ヲアルト云フ感ハ有ル  
レノ事アリマス

ソレカラ本人ニ対シテ危險ナルト云フ内儀録トシテ川村ヲ依リテ  
テアリマス此處ニ又誤信ヲ持ツラ居クノ事アリマス

中野、予テ既成政黨ニ非係シテ居ツタト云フ事ト本人が輕ハズミナ大ニ信  
念ヲ持ツタ男ヲナイ生産黨ニ非係シタノモ非常ニ日ガ浅イノ事本人が  
スルニ誤ラシテ居ラナカッタト云フ事ト絶対的ノ視察ニ多少ノ欠  
点トガ最大ノ原因ヲハライカト思フテキルノ事アリマス

計四、非係者トシテ参加スルツモリト云フ事ト六月二十日ノ大別  
会ノ席上余リノ殺ム氣分ニ三十日ニハ日ウシモ参加スルト云フ氣持が出来  
たニ歸ソクイト云フ氣持が起リ三十日迄ニ至ル方ノ事ヲ整理シテ歸ル

歸ツテシマツタノ事アリマス、本人トシテハ一應内容ヲ知ツテキルノ事アリマス、斯ニ  
視察員が訪問シテ多少欠点ニ於テモシタナラバソノ事ニ付テ語シタカモ、

イノ事アリマス、中西ニ対シテハ大シクモノヲハナイト云フ誤信ヲ持ツテ居タガ、  
出来ナカッタ事欠点ヲシツタノ事アリマス、結局徹底シテ所ノ檢討が充分  
云フ事が本事件ニ上京参加サセテ原因ナルト深ク考ヘサセラレタ次第アリマス



愛知縣 警部補 本田 迪  
以今御指名ニヨリマシテ一言申ニケマス

大日本青年党ノ上海党員ノ不慮事件ノ搜查ニ付テ申シ上マス

搜查ノ情勢ト致シマシテ先其概要ヲ申シマスト本事件ハ大日本青年党上海事  
務局係者ニアリマシテ桐田政治ト稱スルモノガ新政府ノ樹立上海租界内  
題ニ対スル政府ノ政策ニ不満ヲ抱キ直接手段ヲ以テ所謂親英米派ヲ殺シ  
ラレル松平湯淺内相ト云フ様ナ所ハ目標ヲ置キ之ヲ暗殺ヲ目的トシテ  
ソノ系係武器トシテ拳銃五挺、寶包五十發、手榴彈二十発ヲ裏面ハ  
シテ不慮計畫ヲ進メカクテアリマス 本事件ニ最モ重要ナ矣ハ  
ク三謀者ナル桐田政治ノ觀念的思想ノ道義的ニ勝レテ莫ク他ノ連累者  
ト云フハ主トシテ直接又ハ間接ニ桐田ノ指導育成ヲ受ケテ居ツクノ  
事アリマス、次ニ本事件ノ搜查経路ニ付テハ昭和十五年四月一日ヨリマ

投書

其ノ内容ハ來ル二十五日上海トナリ長崎丸ニテ大日本青年黨員鈴木正行  
ヲ乗船シ維新断行ニ伴ヒ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ黨員ノ中五六七八月迄ノ中  
ニ重要人物ヲ歸國サセヨリテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ

其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送

四

係員トシテモ警察ノ主カヲ掌ルル者ニテ居ル際ニ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
マシテ本縣トシテハ早速鈴木正行ニ付テ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
事能警察宛ニ投書ノ内容ニ付テ詳細回答メシテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
在憲中ニ於テ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
本名並ニ本名等ノクルルヲ繞ル中傷的投書ナラント思料カルト云フ由ニ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
マツクノテアリマス

更ニ鈴木個人ニ対シテハ本名ハ橋本欣五郎ノ主義思想ニ心酔シテ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
較的穩健ニシテ日常ノ動靜ヨリスルモ参加スルカ如キモ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
尚同封寫眞ノ女性ノ身評ニ付テハセンマイツ子ト云ヒ昭和十五年二月桐  
田ト肉係ヲ生ジ同棲シタガ最近同僚ニ殘シタル言葉ニヨレバ桐田トノ係係斷  
チ内地ニ逃竄スミク歸國セルモノト云ヒ以上ガ回答ニ付テ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送  
本縣トシテハ一應鈴木正行ヲ所轄署ニ連行シテ歸國理由ニ付テ其ノ志ヲ宣フニ乘リ込メ五月申ニ輸送



テアリマスガ上海青年党ノ會令問題ニ付キ桐田大場トノ間ノ紛争が非  
常ニ大キカッタノ事之が公平ナ処置ヲ願フ為メニ歸國シタ自分ハ療養  
ヲ兼ねテ歸國シタト言フノ事アリマス

三月二十六日ハ鈴木が長崎ニ上陸シテ以來ノ行動ノ説明ヲ求メタ事アリマスガ  
一理路茫然トシテ容疑ノ点ヲ發見出来ナカッタノ事アリマス

然レ投書ノ内容ヨリ常ニ鈴木ノ供述ノミハ一面物足りナサラ感ジタ事從來

鈴木ト申ス男ハ上海ガヲ回ルガオツク様ニ言動極メテ穩健然モ妥協性ニ富

ム事居ル歸國ノ際モ所轄署ヲ訪レテ上海ニ於ケル動靜報告等返一スルト

云フ態度ヲアツタノ事アリマス 所ガ本人ハ

六疊ヲ借りテ居ッタノ事アリマスガ始終其處ニ居ラセ時偶遊興スルト言ツク様

子ガオカシイノ事同人ノ御指示ニ檢索ヲ行ツタノ事アリマス

其處ニハ竹内ト云フノガ居サズ六疊ノ間ニ鈴木ノ柳行李一個トラシク三個加

アリソノ内容ノ全部捜査シテ見ルト本人ノ供述ノ如ク洋服書籍日掛包  
通モ四十通位アツタノ事アリマスガ内容ヲ見テモ非常ニ軟弱的ノモノ事  
件ニ非聯スル様ナ文通ハ發見出来サカッタノ事アリマス

以上ニ於キマシテ上海領事館警察ヨリノ回答ヲ綜合シタ結果捜査ヲ打

切ラント致シマシタガ其ノ後歸國シタ桐田並ニ熊谷ノ態度ニ於キマシテモ鈴木

ト合儀從來ノ彼等ノ態度ヨリ見テ難矣カ見受ケラレタノ事アリマス殊ニ桐田ノ住

所ニ付視察シタトコロニシルト殆ド在留シタ事ガナカッタノ事アリマスソレヲ桐田ノ

其ノ後ノ動靜ヲ尋ネテ見マスト三日一週間毎ニヨク外ニ出ルト云フノ事ハ其ノ目之

ハツサイトト云フ觀莫カラ彼等ノ動向ニ付テ相当嚴重ニ視察ヲ續ケテ居タノ事

アリマス

恰度此ノ時鈴木が内地ノ司題モ一應落着シ病氣モ全快シタノ事神  
リラ大澤九ヲ上海ニ歸ソク事アリマス

此處ニ於テ鈴木ノ歸還カニ一層ノ準備ニ對スル搜查カ判ラナク  
シテアリマスモウレシ振リ下ケテ捜査ヲ世ノオケンバナラヌト云フ矢先ニ上海  
ニ歸ソクテアリマスソシテ歸國後ハ警察員ニ對スル連絡モオク一函  
接モ出秉オノテ捜査ニ統テ居リマシク時ニ月十四日内務省ノ力カテ  
不徒計畫ノ連類者ヲカニ桐田トスエ島ト熊谷ノ三名ヲ檢査シ  
テ指令ニ提シタノテアリマスソシテ熊谷ハ縣廳ニ來テ居リマス  
時檢査シ桐田トスエ島ハ立廻リ先ヲ捜査シテ居ツク并ニ各局  
ニ連絡ヲトクテ為ニ兵庫縣ノ高部西照町ニ捕ラリスエ島ハ大阪  
候尋サレタノテアリマス

次ニ本捜査ニ於ケル不備失敗ハ云々ニ付キマシテ申ニオイト思フ  
アリマス捜査ノ係路ノ際ニトシケマシテ檢査ニシテ非常ニ重トシ

枚書多  
ナク  
控記ス

カッタノテアリ然モ師團長宛ヲ初メ相対深察ヲ投書許リテ警察ノ終  
ヲ擧ケテ檢査ニ注イテ居リマシク係止ヌカト云フ氣持ト上海ヨリノ回答ナ  
ドヨリ幾分輕視シタ嫌疑ハカッタノテアリマス投書直後鈴木ヲ一尋ニ檢査  
シマウド考ヘラレタノテアリマス在名當時ヨリ警察係ト非常ニヨク連絡シ

所轄警察署ニ於テモ外線的ニ利用スルト云フ考ヘラ抱イテ居ツクノテ  
アリマス之ガ為ニ非常ニ軟論ニ傾キ密接ナ係係ニアル視察員ヲシテ満  
モ仮リニ該事實ノ係係アリトスレバ必ズヤ何處カニ探知シ得ラレル莫カ  
見サレタノテハナイカト云フノテアリマス所ガ視察員ニ全幅ノ信頼ヲ持  
捜査開始ヲ為サレタノテアリマス加之ハ縣トシテモ余リニモ小乘的テアリ軟  
的ノ方針ガ熟知サレタ様ナモノテ遂ニ鈴木ノ甘言ニ一應型通り檢査ヲ  
行ツク所ガ檢査員モ命令ト云フ氣持ヲ持ツクモノカ型許リノ檢査ニ終リ  
情人竹内菊子ノ所持シテ居タ六寸ニ五寸ノ函様ノモノニ對シテ之ハ何ト

控記ス  
ナク



ヒタル所 コレハ時計示アルト答ヘシテアリマス  
横索食ハウンソウカト取テ誤ベナカツタノ事ニ  
此處ニ於テ横索食ガ一  
迎見セテ誤ト云ツテ告ナラバ斯ル失敗  
解消シテ誤ツタカモ  
短レマセン

誠ニ汗顔慙愧ニ堪ヘマセン  
ソノ中ニハ  
奉銃ガ入リテ居タ  
ノテアリマス  
捜査員ノ熱意ハ令一步テアリ折角見付ケタ相箱アリマス此  
其使ニ令一步ノ熱意ガアレバ警視廳始メ各縣ノ方々ニモ迷入ヲ懸クハニ  
滑シタカモ短レマセン

兎ヘバ返ス  
モ残念ナルト同時ニ悔ヲ言ハシメ  
シタノテアリマス  
次ギニ式番撤入状況アリマス  
奉銃大抵下書カフツタノテス  
此相  
ニ奉銃一挺実包十三発ガツタノテアリマス  
撤入ノ法ハ極メテ嚴重ニナ  
三月十日  
相箱ノ情婦  
アル  
御座  
際  
帯  
ニ  
掛  
ル  
ハ  
セ  
コ  
ヲ  
リ  
ス  
ン  
ト  
ノ

奉銃  
実包  
送方

肩ヲ出シ包緋ニテ奉銃ヲ巻キソノ中ニ肩ヲツマテ  
ハセコノ檢好ヲ示シ  
爾ニ探ミ被々ト税関其他横索ノ眼ヲ眩マシテアリマス  
実包ノ搬入アリマス  
カニテマイツ子ハ桐田ノ依頼ヲ受ケ桐田ガ自己使用  
シテ居ツタホモ  
トノ中ニ十三発ノ彈ヲ入レテソノ上ニホモドヲ添テリ情婦ノ  
化粧品ト共ニボストンバックニ入ラセテ税関其他ヲ無事ニ通過シテ居ルノテアリ  
マス  
以上ガ大体私ノ申上ケテ捜査ノ概要アリマス  
今日之ノ失敗ヲ考ヘル時  
第一歩ニ於ケル熱意ノ如何ガ終始其ノ事件ヲ左右スルモノナルト云フコト  
ガアリマス  
誠ニ慙愧ニ堪ヘマシイ次第アリマス  
以上テアリマス

愛知縣

警部

伊 藤 守 一

**内偵線**

問題ニ就イテハ相當苦勞シテハ居リマスガドウモ右翼関係ノ内偵線

トイフモノニ就テ一應目標ヲ定メ例ヘバ危イトイフ人物其ノ人物ヲツクル人間ノ  
一選ガ一番大事ニアリマス其ノ人間ヲウマク日操人物ノ心中ニ飛込ミ一挙手一投足  
ガ判然トスル様ニスルト云フ處ニ頗ヒ處ガアルト思ヒマス 此人物ガイノト思ヒマシテ

其ノ方向ニ指導シテモ外レテ行ツ方ガ多イノ事實ハ頭ヲ悩シテモ其ノ諺ニアリマスガ今迄ノ  
経験カラ申シマスト結局ハ相手方ノ信用ヲ得然モ自分ノ熱意ガ相手方ニ感受セラレタ  
場合ニ於テ成功シテ居ル様ニ考ヘラレマス

靜岡縣

線ヲツクルト云フコト勿論マルニハマツテ居リマスガソレヲ通ジテ考ヘテ見ルト信用ガ出  
来ノイト云フコトニ到達シテモ 大抵ノ場合 此事ノ終ツタ後ニ情報ヲ持ツテ来ルノ事  
アリ





次ニ哥ルカラト云フノテソノ事ヲ大ニ視察員ニ報告シテ申ルノテアリマス  
人々ト云フテハ思ツテ居タノテアリマス

此ニ對スル言動ト云フコトニ付テヨク視察員ニ居ツテ何カアツタト思フノテ  
前ノ十一月ノ終リ及ビ翌年一月ノ講習會ニ出タ時モ時期ノ問題トシテ  
時期ヲ行ツテ居タノテアリ 既ニ三月中旬頃ニ親戚廻リト云フノテ一週向テ  
旅行ニテ居ツタノテアルガコレガ事件ニ係ルル少シ前位ナレバ何カツカメタカ  
ナイト思ヒマス

愛知縣 警部 伊藤 進  
親節 行動ヲ絶對ニ禁止シテ居ルノテアリマス

愛知縣 警部補 村 瀨 豊  
新ニ出入シテ居ツテ係員トシテ居ルノテアリマス  
以テ見ルトマハリ思フノテハ言ツテ居ラナイノテアリマス

愛知縣 警部補 村 瀨 豊

神受隊事件ノ時、事ニアリマスガ總務道場ノ大森一成ガ警視廳ノ方カラ手  
配ガアリマシク時驛ナドニウント張込ミヲマツテ注意シテ居タリマスガ結局後所判  
ツクノテアリマスガ愛知縣ノ八事ノ山下若伏ニテ居ツタ訣アリマスガ終路ヲ調ベ  
テ見ルト當時愛國團體ノ中ニ朴ライウ ト云フ朝鮮人ニ愛國團體ニ  
入ツテ居タノテアリマスガ朝鮮人ノ仲間ヨツレテ熱田驛カラ降りテ一諸ニ交  
ツテ連レテ行ツテシマツタノテアリマス 朝鮮人許リガ出迎ヘタノテ朝鮮ノ  
者ニアルト思ツタノテアリマス

ソノ様ノ事示モウ少シ強ク働カセタラヨカツタト後思ツタ訣アリマス  
川村ヲ内偵線ニ使ツタノテスガ故ノ方トシテハ川村ハ線トシテハ使ヒヨイト考ヘテ  
居ンノテアリマス 大倉ノ方カラ言ヘバ川村ニハ絶對ニ口ガ輕イカラシマツテハ

川村ニハ口ガ輕イカラシマツテハ結局向ラテモ本人ノ人物ヲ檢計

内偵線ノ人物ノ檢計

朝鮮人ノ使



中内  
我

ニテ居ルノ中心人物ニ於テソノ人向ヲ期待シテナルカドウカト云フコトモ考ヘラ  
ルルヲテワリマス

大抵ニハソノ家内ガアリマスガモウ少レ家内ヲ獲得シテオケバ多少ソノ空気がア  
ツタテハツイカト思ツタノ事アリマスソレカラモウ一ツハ中西ガ東京へ行ツノ末  
ニカラ相違煩悶ヲ持ツテ甚ク厭テアリマデモ向ツカラ鈴木ト云フノ約束テ一  
層イタノテアリマスガ本人ハ之ノ計畫が果シテ実現ガ出来ルカドウカト云フ事  
ヲ危シク思ラク駄目タト云フトモハソクマシテ居ツタノ事非シ常ニ憶シムノ事アリ  
マスソレヲ然ラズ終ツテ助カル法ヲ為ヘテキタト云フテキルノ事アリマス

結局大レ害ニ本當ニ信用サシテ居レバ恐ラク打倒ケテ更レシノ事ツイカト思フノ事アリ  
経済的ニモ人格的ニモウント信用サレルコトガ最も必要アラウト思フノ事アリマス

志山縣

志村茂人

内復線ハ所有ル面ニ接觸シテナルコトガ大切アリマス 彼等ノ態度ヲ見テ其ノ  
客觀的情勢ト睨ミ合セテ判断スルト云フコトヨリ外ニサイト思ヒマス  
郵便局其他其ノ中心ニナル者等ト連絡シテナルコトモ必要アリマス  
庶ノ方モ集配人トハヨク連絡ガツイテ居リマス

岐阜縣

警部補 笠  
心査部長 高橋 勝 三

清報中上ケタイ莫ハ昭和十年三月ニアツタ所ノ美濃部博士ノ天皇機関説排  
撃運動當時ノ視察ニ対スル失敗談並ニ苦心ヲシタ莫トモウツハ恰度アツタ版  
事伴當時ノ視察ニ付テ申上クイト思ヒマス

下承知ノ國家主義団体ノ運動ハ何處ニ於テモ主トシテ運動方針ノ中心カ軍部  
ニアツタノテ極々テ視察カ困難ナ狀況ニアリマス

昭和十年三月頃ニ美濃部博士ノ天皇機関説排撃運動ハ中央ニ於テニ  
運動カ盛ンテアツタノデアリマス

ソノ少シ前昭和十年ノ二月一日デアリマスカ岐阜市ニ於ケル國家主義団体ノ同志  
アル赤原戒心、林松治、奥田茂ハ極秘裡ニ上京致シマシテ床次、スノ  
件ノ決議文ト陳情書ヲ持ツテ床次連相ノ官邸ト貴衆兩議員ノ議長ノ所ニ行



テ御座イマレタガ遺憾ナガラズノ運動ヲシテキルコトハヨク判ツテ居クノデアリマ  
スガ上京エルト云フコトヲ確カメテ居ラナカッタノテ一月三十日ノ晩ニ出発シマシ  
二月一日ノ朝決議文ヲ床次郎ニ提出シタル後貴衆兩院へ提出シテアリマスソノ日  
ノ朝ニナツテコトヲハ出発シタコトヲコトガ判リ彼是ニル中ニ一方内務省ノ方カラ  
岐阜縣ニ之等ノ人間ハ如何ナル者デアリカ大至急調ベテ報告セヨト云フ様ナ仰示ガアツ  
クノデアリマス 之ノ真誠ニ失敗シテ誤デアリマス  
其ノ關係ヲ以後視察ヲ極メテ稠密ニ致シテアリマスガ恰度昭和十一年ノ三  
月八日戦争ニ三周年ニ当リ色々ノ催シガ各方面ニ行ハルコトニナツタノデアリマス  
其ノ人体ノ模様ト致シマシテハ三月三日ニ帝國在御軍人会岐阜支部主催テ演説  
人公ヲ開催シ其後武道大会ヲアル計画ガアツタノデアリマス  
次ニ岐阜縣並ニ岐阜市主催テ三月九日ノ満三十年記念ヲ扑スル爲ニ宣伝印刷局  
ヲ作リソレヲ當時飛行ニ聯隊ノ軍用飛行機ヲ以テ岐阜市ヲ中心トシテ散布

ニルソノ宣伝ビラハ小學校ノ子供書イタモラフ主トシ其他ノモノテモ差支ヘナイモ  
ハ認メルト云フ方針ニナツタノデアリマス 次ハ三月十日ニ岐阜市軍人後援  
会ノ主催ト致シマシテ日露戦争ノ雇戦者ノ招宴会ヲ岐阜市公会堂ヲ開催  
スルコトニナツタノデアリマス  
所ガ國家主義運動ノ連中ハ之等ノ催シテ極メテ形式的大意義ソナイヲ  
ト解釈シコンナ事テハ戦没者モ浮バナイ何カ之ト並行シテシナケレバ  
ナラヌト云フコトヲ寄々協議シテ誤デアリマス  
所ガ視察ヲ進メテ居リマスト恰度三月一日ニ同志デアル太田新太郎ト云者  
ノ母親ガヒクナツタノデアリマス 之ガ爲ニ岐阜市ヲ中心トスル約ニテ名ノ同志ノ  
中特ニ急進分子ト云ハル者ガ色々画策ヲヤツテキルコトヲ探索シテ誤デア  
リマス 所ガ三月一日ノ晩ニ母親ノ死シタ太田ノ家ニ同志ガ集ツテオ通夜  
スルノガ本来デアルト考ヘテ居リマシタ一向ニ其処ニ寄り合フ形跡ガナカ

ツクノデアリマス、彼是ル中ニ一日ノ午八時頃ニ太田ノ家ノ裏手ニアル同志寮  
源成心ト云フ男が出テ来タノデアリマス、何處ニ行クカト見テ居リマシタ所  
段々所ノ西ノ方ニ行ク、其處ニハ金津ノ貸座敷ガアリ遊ビニ行クカトモ思ハレマシタカ  
同  
モノノ其処ヲ通り抜ケ岐阜市梅川町ト云フ所ガアリマスガ其処ニ居ル同志デア  
木下彰ト云フ岐阜新聞ノ編輯長ヲヤツテキタ現在東京テ朝野通信ニ居ル  
デアリマスガ之ノ男ノ家ニハツクノデアリマス

ソノ動靜ヲヨク見テ来ルト入ル時ニ錠ガカケテアリ入レナカッタガ為ニ呼バツテ中  
ニ入り又錠ヲカケタノデアリマス、無論コノ家テ何か会合ラズルニ違ヒナイト云フ予想  
ガツイタノデ何トカ会合状況ヲ入手シタイト思ツタ所ガ表カフハ只今申シク如  
ク入レナイ、隣リカラモ入ルコトガ出来ナイノデハ時過ニナツテ非常ニ寒ク何處ノ家  
モ道<sup>庭</sup>側ノ部屋ノ電氣ヲ全部消シテ奥ノ向ニ電氣ガツイテ居リ一見表カラハ何事モ  
ナイ様ニ見セカケテ来ルノデ色々苦心シタ結果、木下ノ家ノ裏手が金津ノ山本

禮ト云フ貸座敷業ヲヤツテキル家ガアリマスガ其処ハ競馬ノ馬ヲ飼ツテ居リソノ  
馬小舎ヲ通ラネバ木下ノ家ノ裏ニ行ク訳ニハ行カナイノテ私ハ競馬ノ運動ナドニ  
タリシタコトガアリマシタノデ其ノ附近デ餅ヲ買ツテ馬ニ與ヘ馬ヲ撫テツ、ソコヲ通  
リ抜ケ僅カニ米程行クト巨根ニ沿ツタ所デ一番奥ノハ畳ノ向ノ近クニ陣取ツタ所大  
体ニ於テ中ノ話ヲ聞キ取ルコトガ出来タノデアリマス、ソレニ奥ノ方ハ馬小舎ニ面シタ方  
ハ人家ガナク為ニ硝子ノナリテ雨ヲ外レテアルノデ誰ガ集ツテ来ルカヨリ判ツタ  
ノデアリマス

恰度其ノ日ハ雨降り揚句デ非常ニ濕ッコイ、日デアツタ為ニ比較的アツチコナ  
ルニ言カレナイ其處ニ集ツテ居ル者ガ七名居ツタノデアリマスガソノ一番ノ御本尊現役  
軍人デアリ同志デアル陸軍歩兵大尉中馬太多彦ト云フノガ議長格デアリマス  
其ノ協議ノ内容ヲ聞キマス先ツ第一ニ太田新太郎ノ母親ノ死ンダ為ニ我々トシ  
テ家族ヲ如何ニシテ慰メルカト云フ問題テソレニハ岐阜縣愛國団体聯盟ト



して花輪ヲ一對作ツテ出スト云フコトニナツタノデアリマス 当時物価ガ安ク一人当リ  
金一圓ヲ出シテ計七圓テ花輪一對ヲ作ルコトニナツタノデアリマス

第三ニハ彼等同志ガ何時会合シテモソレガ直グ特高警察ノ方ニ突抜ケニ判ツテレ  
マツ コナ事テハ我々ノ運動ガ将来按ジラレル ソレデソノ対策トシテ也  
晩重要協議ヲ致スノテアルカラ之ガ若シ警察ニ判レバ此処ニ居ル中ノ者デ許カスハ  
イラズルニ違ヒナイ 決シテスバイヲシテト云フコトヲ條件トシテ協議シクノデア  
リマス

ソレテ文書ノ往復ノ莫ニ付テハ警察ガ郵便局辺リト連絡シテ我々同志ノ中ニ手  
紙ガ来ルヤツヲ殆ンド知ツテキルカラ今後之レヲ代ヘテ東京ノ中央方面ニ出ス手紙  
ハ東京ノ陸軍士官学校ノ陸軍大尉 天野勇ト云フ者ニ宛テ、出スソレモ自宅  
テナク学校ニ付テト云フコトニシタノデアリマス 又コケラニ来ル通信ニ付テハ  
宇馬太多彦ガ當時六十八聯隊ニ附テ来ルコトニナツテ居ルカラ岐阜ノ事ハ心配セテモコ

イト云フ相談ヲシクノデアリマス

次ニ三月三日ノ御軍大会並ニ武道大会ニ付テハ何ヲヤツクヲヨイカト云フ協議ヲシテ  
結果當時美濃部博士ノ天皇機関説ノ排撃運動ノ最モ旺ニテアツタノデ  
ニハ概入ヲ刷リマシテ御軍大会ニ概クハ宣シクナイカラ武道大会ノ時ニ公会堂前ノ  
廣場テ行ハルカラソノ途中テ責任者ヲ決メテヤレバ比較的容易ニ行ハレルソレデ以テヤ  
ラフテハナイカト云フコトニ決ツタノデアリマス ソレテ印刷ノ文面並ニ責任者ハ同席  
ノ本下彰ガナツタノデアリマス

次ハ三月九日ニ小学生ノ作品ヲ飛行機デ撒クト云フ事ニ付テハドウシクヲヨイカト  
云フ向題ニ付テ結局天皇機関説排撃ノ概文ヲ作ツテ撒カフデハナイカソノ数量モ  
飛行機カカラ少クトモ一万以上出来ルハ五万枚位刷ラウ 之ニ付テ上手ニヤラナ  
イト後デ発見サレルカラソノ工夫ハ後デ協議ズルト云フコトニナツタノデアリマス  
ソノ次ニハ天皇機関説排撃ノ概文ヲ作ツテ之ヲ直接定ツケナケレバオラス ソノ持

ツテ行ク先岡田啓介林銑十郎、美濃部博士ノ三人テアルト云フコトニ相談シ  
タ訣デアリマス

斯様ノ事實ヲ聞キマシタノデ直グ様署長カラ特高課長ノ方ヘ報告シタノデ  
アリマス

所カ余リ協議シタ内容ガ大キイノデ果シテソレガ行ハルカドウカト云フコトガ  
責任ガ負ヘルカドウカト云フ懸念ガアツタノデアリマス、其ノ是ハ責任ヲ負ヘト

仰シヤレバ負フケレ共果シテ行フカドウカニ付テハ何トモ云ハナイノデアリマス  
ソレテ結局事實トナツテ現シタ矣ニ付テ特高警察トシテ視察取締ヲヤラシメ

ハナイカト云フコトヲ決メタノデアリマス  
所ガ三月三日ノ武道大会ニ於テハ之ノ晩ニ冬訓シテ居ラナカッタ者ノ名前テ概テ

撤介サレタノデアリマス、後テ調査シマスト其ノ場ニ冬訓シテ居ッタ木下カ落ニ線ノ  
同志ニ連絡シテヤラセタノデアリマス、ソレハ千五百枚刷ツタノデアリマスガ撒カレルト

同時ニ御軍主催ノ会場デアルカラ憲兵隊ヲシテ押收サセタノデアリマス、ソレテ内務省  
ニ直中ニシテ飛即日登禁処分ナリ八百三十三枚ガ差押ヘニナツタノデアリマス

次ハ三月九日ノ飛行機カラ撒クト云フハ宣伝ビラヲ二万程岐阜市役所兵事課ヘ持  
ツノ事ノ訣デアリマスカ同志ノ連中ガ持ツテ来ルハ余程氣ヲ付ケテ細カク見ルノデアリ

マスカ全然関係ノナイ者ガ持ツテ来タノデ比較的検閲モ粗漏テアリ通過サセタ訣テ  
アリマス、ソレテ飛行ニ懸係ノ方、市役所カラ廻シタノデアリマス、ソレシテ隊ノ係ハ者ガ憲兵分隊ニ連絡シテ念々為ニ見テ貫ツタ所ガ其中

ニス穩大書ガアリ、ソレヲ全部押收シテ即日内務省ニ稟申シテ一枚モ外部ヘ出サズニ  
登禁處分ニナツタノデアリマス

次ハ三月十日ノ日露戦争歴戦者ノ招宴会席上デアリマズガ之ニ招待ヲ受ケタモラダ  
ケバ當時協議ニ参加シタキリハ一人モ中ニ居ラナカッタガ為ニ私ノカトシテモ極メテ緩

慢ニ考ヘテ居ツタノデアリマス  
所ガ歴戦者ノ感想ヲ五分間位ノ程度デヤツテモヨイト云フデ夫レノ歴戦者ガ代ツク

22



感想ヲ述ベテアリマスガ彼是ル中ニ矢張り日露戦争ニ冬加シテ伊藤吉左衛門ト  
云フ陸軍軍医中佐アルガ日露戦争ト今日ノ情勢ニ付テ述ベ次ニ既成政党ノ排撃ヲ昭和  
維新ノ断行等ニツキ言及シタガ為ニ其ノ場ニ居ツタ憲兵分隊長カ軍服ヲ着テ居ツテ  
ソノ事ヲ言ツテ賞ツテハ困ルト注意シタ所カソレナラバ軍服ヲ脱イテヤルト云ノノブ  
上着ヲトツテヤツタノデ会場ガ称混乱ニ陥ラントシタノデアリマス  
斯様ノ状況ニテリマシテ視察ニ付テハ苦心モシ又ソノ足ラナカクタ莫モマソクツテアリ  
マス

次帝都叛乱事件ニ付テ述ベタイ二月二十六日ノ帝都叛乱事件ガ起キマスヤ先程申上  
ゲタ中島大ツツ及ハ聯隊ニ出勤セズ同志ノ家ニ閉籠リ同志ト協議シタノデアリマスハ  
其處ハ岐阜市ニ番町ノ三浦大トスヲ現在赤誠会岐阜縣聯合支部長ヲマソクセル  
者ノ家デアリマスガ此處ニ矢張り帝都叛乱事件ガ起ルヤ昭和維新ノ断行ノ時  
リトニフ考ヘカラ岐阜市ニ於ケル同志ヲ此處ニ集メタコトガ判ツタノデアリマス

サウシテ其處へ特設電話ヲ新設致シマシテ他ノ者ハ全部ヲ禁止トイフ状況デ協議ヲ始  
メテデアリマス幸ヒシテ其当時特高主任アル處ノ後藤警部補ガ此同志ト極メテ緊  
急ニテ居ラレテ関係上丁度中ニ入ルコトが出来タノデアリマス私モ特高主任ニ付イテ中ニ入ッ  
タノデアリマス彼等ヲ視察シテオルト其ノ日ノ午後ニナリマシテ岐阜縣知事ニ對シマシテ  
岐阜縣主催ノ昭和維新断行ノ縣民大会ヲ開催セヨト申シモウヤナイカトイフコトガ  
協議サレタノデアリマス此方法モ同志ガ行ツタ處デ到底面接シテ賞ハナイカラドウシテモ之  
就イテ相当斂助ニシツタ者ヲ選定シナケレバナイトイフコトヲ當時郷軍岐阜市聯合分  
會長ヲヤツテ居ツタ加納中佐カラ司令部ノ司令官ヲ動カシ其司令官カラ吏ニ動カシ最  
近ナクナツタ金四ツ將ヲ遣ハシテヤラウトシテ運シタ處ガ順調ニ進行シマシテ二十六日ノ晚ニ  
長官ノ家ニ行カレタノデアリマス處ガ長官ト致シマシテハ即答シ兼ネルカラ一應考慮シ  
テ返答スルトイフ處デ終ツタノデアリマスガ翌日ニナリマシテ行動隊ノ裏面ハ北一  
輝、西田、税ノ魔ノ手ガ近ビテオルトガ解リ彼等同志ハ其場ヲ縣民大会ヲ開催

ルコトハ止メテ賞ヒタイトイフコトヲ長官ニ申出タテ其後ハ叛乱軍カ帰順スル迄ハ中  
並ニ愛國団体トシテノ態度ヲ強調シタノデアリマス

其ノ後ハ後継内閣ノ問題ニ就イテ中央及全國ノ同志トノ連絡ヲ採リ運動ヲヤツクテア  
リマスガ三月九日廣田内閣成立スルヤ解散致シタニニ大事件クラ三月九日迄 將校ノ中  
馬太ク多ク彦ヲ中心トシテ茲ニ立籠リマシテイロク 策動シタ此事件ニ就イテ我々  
ガ觀察ニ行ツテオルト思ヒテハ更ニ内容ガヨリ以上知ルコトガ出来ナイ夫レデアレカラ  
ソライフ態度ヲ見ヒタシテ出スル寧ろ彼等ノ運動ニ多少トモ好意ヲ持ツテオルトイ  
フコトヲ見セルガ為メ一方ナラヌ苦勞シタノデアリマス 偶ニハ酒ノ弁ヲ買ツテ行ク又菓子ナ  
ンカヲ買ツテヤクシ向フカラ出ス處ノモトハヨバレタリシマシテ其レガ為先ヅニニ大事件  
ノ當時ハ彼等ト摩擦ヲ生ズルコトナクシテ目的ヲ達スルコトガ出来タノデアリマス又其  
次等ガ其處ニ集ツテ秘密協議ヲヤツテオルトイフコトハヨク解ツテオタノデアリ  
マスカラ其晩ニ有ニ襲撃シテ檢舉シラドウカトイフ協議ガアリマシタガ内容ガ全然解

ノナリテハ檢舉セラルヲ得ナイガ内容ガ現在解ツテオレカラ將來ノ觀察ノ關係モ  
ルバノ狀況ガ解ル迄檢舉ヲ延シテ賞ヒタイト申シテタノデシレガ為大ナル摩擦ヲ  
生ズルコト終ツクノデアリマス 尚ニ簡單ナ報告ニナツタノデアリマスカ私ノ申上テント  
スル處ハ以上デアリマス



岐阜縣 巡查部長 高橋勝 三

前以テ不審リレタイノデアリマス。岐阜縣ハ御承知ノ如ク愛知ニ接近  
テイン關係ニ特ニ共產主義運動ニ就イテハ何時ノ場合テモ愛知縣  
ニ關係ナインハ殆ンドナイデアリマシテ後ニ愛知縣ノ方カラ有益ニ報  
告サアルト思ヒマスガ其レヲオ樂シミシテ戴キタイノデアリマス。  
岐阜縣ト致シマシテハ共產主義運動ノ最近ノ樞要トシテハ治安維  
持法違反トシテハ宗教事犯以外ニ無ワタノデアリマスガ、昭和十二年  
二月十五日全国一斉檢挙ニ依ツテ日本無産党ノ檢挙デニ名檢舉シ  
ノデアリマスガ取調べノ結果被疑者トシテ畑寅雄一名ヲ送局  
ノダガ極メテ事件トシテハ小サイカ未ダ檢事局ノ取調べモ済マスレテ  
起訴中止トナマテ居リマス。此ノ事ニ就イテ参考ニナル莫ク強イテ申入  
ナラバ被疑者ハ畑寅雄トイフ者デアリマス。

取調ニハ認識ヲ取ルコトガ非常ニ難シカツタノデアリマス  
此ノ認識ガ自分ノ日記ニ細カク書イテアツタノガ発見サレタノ其  
日記デ容易ニ取ルコトガ出来タノデアリマス

ツタ話ハ古クナリマスガ昭和六年十二月二日ニ檢舉致シマレタ、  
全協ノ事件デアリマスガ此ノ時ニハ被疑者トシテハ小島、木村、大野、  
宮川、山田、此ノ五名ヲ岐阜縣トシテハ檢舉シタノデアリマスガ之ヲ  
意拳ムル以前ニ於テ岐阜縣ノ稲葉、櫻井、其他ノ者ガ檢舉  
シタモ愛知縣ト關係ガアル為愛知縣デ取調ベラ受ケツ、アツ  
持テ、此ノ五名ヲ檢舉シ取調ベマレタ迄ガ小島ト木村  
取調ベハ警察デ取調ベニ當ツテ既ニ警察デ解ツテサレ  
既ニコトヲハ認テイルガ其レ以外ノコトハ全然認メナイ知ラス  
言テ口割ラナイ、大野、宮川、山田、ハ警察デ解ツテ

コトデモ全然否認シテ言ハナイ余リ言ハナイノテ少々奇ノテマツ  
モ、モアリマスガ却ツテ奇ノレバ奇メル程言ハナイサワイフ状況デアツ  
ノテアリマス、イロ、取調ベテ結果岐阜ニ全協ノ岐阜支部トイフ  
且、此ノ事ナシテ中央ノウカラオルグトシテ派遣サレテサレ者カニ  
マス、通、亦マダ不ト東京ノ吉川ト云フコトガ解ツタノデアリマス、此ノ二人  
前々デアリカトイフコトデ捜シタノデアリマス、迄カ十二月二日ニ五名  
、此ノ事ナシテヤルガ、何者デアリカトイフト十二月十日迄捜査シテ結果  
、岐阜縣、西南、加納町、西ノ方ニ住ンデ居レトイフ事實ガ解ツタノテ  
ニ、全カヲカケテ捜スコトニシタノデアリマス、時ハ湯屋ニ張込ミヲ  
致シ又散髪屋等ノ口、調査ヲ為シ又一面ノ口調査ニ相當嚴重ニ  
マツ、デアリマスガドウシテモ其レガ発見サレナイ、彼等スル中岐阜  
市平社ノ派見ト云フ迄ニ一軒ノ餅屋ガテマシテ其迄ハ一カ、イフ人相



男が来ルトイフコトヲ聞キマシタニ必通スル処カラ何処ノ人デア  
ルコトイフコトヲ聞キマシタラ東京カラ夫業シテ来テ井ルガ何カ此辺デ  
イ、南賣ハナイカトイラヌコトヲ聞イタトイフコトデアリマス時々其男  
ガ来ルデアルガ一回食ベニ来ルト二日分ク三日分買ツテ行クガ  
併シモウ今日頃ハ来ニマナストイフ、デ其辺ヲ中心トシテ獲リマシタ  
此ク一週間此ツテモ更ニ来ナイデアリマス。此ノ内ハ相當數ノ係員  
シテ捜査シマシタカ解ラナイ為イロク年来デアル關係上一人減リ二人減リ  
ンテ最後ニ拒束シテキル者ゾテテ事件ヲ片付ケマウトイフ。此ノ行  
キ、デアリマスガ切角之邊ニナツタ、今ニナツテ捨テ、シマツテハ何モ  
此辺デ一ツ頭張ラテレバナラナイト云フトコロデ松ト富特捜査デア  
ルシク、後藤サノニ人デ全部引ニケク後モ捜シタデアリマス。此ノ  
外上デタ翌日其鮮屋ニ来クノデアリマス其レデニ、

テ鮮ヲ食ツテ平ニ延ヘ入ツテ行ツタ、デアリマス。此ノ極メテ從順シ  
ク言フコトヲ聞イテ、サノヲ備テテ、錠ヲカケヨウトシタ。此ノ中ノ捕  
縄ガ入ツテ居タ為カラナカツタ、其レデ急ニ突倒シテ逃ゲ出シタノ  
デアリマス。五六丁余リモ追カケ捕ヘタ、デアリマス。此ノ男ハ井口孝三郎ト  
イフノデアリマシテ三重縣出身デアリマシタカ、岐阜縣ニ滋遣サレ以前  
ハ名古屋ニモ相當居リマシテ愛知縣ニ檢察サレ、延島警察署於  
テ、後東ヲ受ケサウレテ檢束中、隙ヲ窺ツテ逃ゲ、トイフコト、  
言ツテ居リマシタ。其レガ為愛知縣、方ニ渡シマシタガ、此ノオルグ  
デアリ延、井口ガ何故ニ早ク発見サレナカワカト云フト、彼ノ居ル  
家ガエ場地帯デアリマシテ、附近ニ工場ニ通フ者ガ多ク、從ツ  
テ昼間ハ苗字ニル、其レデ錠前ヲ掛ケ、其ノ二階ヲ借リテ井ルノ  
デアリマス。カラ此、延ノ人ハ工場ニ行ツテイルトイフ先入心ガアツタ

為此延ニ井ルトイフコトヲ發見サレテカツタノデアリマス  
モウ一人ノ通称イフコトイフハ其當時誰デアルカト云フコトガ究明サレ  
テ終ツテアリマスガ昭和八年八月ニ至リマレテ松ノ方トシテハ小島玄三  
也六右ノ振筆シテ十月九日ニ送局シタノデアリマスガ此時取調ハ依  
リ通称メカストイフ者ガ誰デアツタトイフコトカ解ツタノデアリマス  
之ハ昭和八年愛知縣ニ於テ檢舉セタマヒ通称同 瓜ニル也賢  
三ノ云フ者ニツクコトカ後日ニテ解ツタノデアリマス此九山ト昭和六年  
十一月檢舉シタトキノ山田登女尾トハ非常ニ仲シタテ悪愛關係ニ  
アツタトイフコトガ昭和八年ニテ解ツタノデアリマス其當時ニ其互ニ送  
ツレテモ解ラナクツタトイフコトガ非常ニ遺憾ニ思フタノデアリマス其レ  
テアリマスカラ特ニ左翼方面ノ關係トイフコトハ熱心ニ最後迄頑強  
ラナレバナラナイトイフコトヲ感シマシタ大體以テテ簡單デアリマスガ報  
告ヲ終リマス、

三重縣 警部 山 本 貞 治

三重縣テハ昨年十月九日ノ務省ノ御指示ヲ受テ梅川又男外三名ノ左  
翼分子ノ沿革経歴及事件ヲ極筆致シタノデアリマスガ此ノ事件  
ノ特異性ト其ノ取調ヲ通シテ感シタニ、其ヲ申述ヘタイト思ヒマス  
此ノ事件ノ特異性ノ第一トシマレテハ尾崎行雄、浜田國松等ノ自由主義  
觀念ヲ抱ノ代議士ト接近シツタコトデアリマス 即チ軍部ニアッ  
シヨ排撃ヲ唱ヘテ議會ヲ活躍シタ兩代議士ヲ利用スルコトガ當時  
ノ各親射情勢ヨリシテ極ノテ効果的デアルト考ヘテ被疑者野口健一、  
如キハ昭和十一年十二年二四ニ互ツテ舉行サレマシク衆議院議員總選  
舉ニ當ツテ浜田國松ノ應援弁士トナリ各地演說會ニ出席シテマア  
ノレヨ排撃ヲ主張シ大衆ヲ煽動致シタノデアリマス 其ノ當時前  
歴者ノ違中ヨリ極ニツラレ批判ヲ受ケタノデアリマスガ其事ハ却而



取締當局ヲ誤向化スコトナルト考ヘ其ノ批判ヲ黙殺シテ活動ヲ統  
テクノデアリマス

一方被疑者梅川文雄モ社大党ノ中心幹部トテ居タデアリマスカ昭  
和十二年ノ総選挙ニ臨ンデ社大党ヨリ正候補スルカ否カヲ協議シタ  
奈梅川ハ尾崎行雄ニ連絡ヲ付ケテ同人ヲ應援スルコトニシテハ如何ト接  
染致シテ居リマス 是レハ同志ノ答レル所トナラス結意ニ上田晋市権  
立シマシタケ斯様ニ自由主義者ト接近シ、アソク事ハ持ニ注意ヲ要スル  
モノゾアルト考ヘマス

第二、特異性トシテハ總テ合法場面ヲ利用偽装シテ活動デアリマシテ四名  
ノ被疑者間ニハ何等ノ組織モナク單獨ノ活動デアリタメ其デアリマス  
最初ノ見送レトシテハ四名ノ何レモガ新体制運動ニ便乗セントスル動キカ  
先受テラレ共ノ行動ガ一致シテ居リシタメ為ニ被疑者間テ何等カノ

非合法組織ヲ持ツテ居ルカ組織近ニハ行カクトモ意思ノ連絡ガ  
アルモノト思フタリマスガ推察シテ見マスト何レモ當時ノ喜観情勢  
ニ對処スル為メニ社大党ナリ或ハ新体制運動ナリ凡ソ合法場面ヲ  
通シテ可能ノ範圍ノ活動ヲ良心抱ニヤラズバラスト考ヘ行動シタメアリ  
マスカ其ノ内何等ノ連絡モ組織モアリマセン而シテ總テガ合法活動デ  
アリマスカラ證據書類モ何モアリマセン結局被疑者ノ共產主義意識  
ノ認識如何カ事件成否ヲ左右スルト言フ事件デアリマシテ此莫取  
調ベニヨリテ非常ニ困難ヲ感シタリマス

更ニ第三、特異性トシテハ所謂新体制運動ニ便乗シ策動シテ居リ  
莫テアリマス此莫ニ關シテハ被疑者梅川ハ次ノ様ニ述ベテ居リマス  
「新体制運動発足後ニ於テ政治中樞部ヨリ発表サレ諸々ノ革新  
政策ナルモノヲ仔細ニ検討シテ見ルト其所ニハ嘗テ吾々が唱ヘテ来タ

所ノ社會主義政策ノ要素カ多分ニ取リテ居リ特ニ經濟新体制ニ於テハ全ク意見ノ一致スルモノガテツタ爲メニ此ノ新体制運動ヲ國民一般ニ押し進メテ行クコトハ共產主義社會ヘノ一歩前進デアルト考ヘタ云々ト述ベテ居リマシテ重要産業ノ國家管理 配給機構ノ組合主義化 資本ト經營ノ分離問題等々ハ特ニ關心ヲ抱キ研究シテ居リマシタ

事件ノ特色トシテハ以テアリマスガ尚此ノ事件ノ取調ヲ通シテ今後ノ觀察ノ傾上特ニ注意ヲ要ス上思ハレタ矣ヲ申上ゲマス

一、轉向者ノ問題デアリマス轉向非轉向ト云フコトハ極メテ見極メカ困難デアリ問題トサレテ居ル所デアリマスガ被疑者野口健ニハ斯ノ様ニ述ベテ居リマス

今日ノ所謂轉向者ナルモノヲ解剖シテ見ルト三通リナル一ハ完全ニ

轉向ヲナシタ者、ニハ表面ハ轉向ヲ表明シテ居ルガ思想的ニ何

レカノ運動ヲヤラヌト淋シト云フ者、三ハ完全轉向モ出來ナイガ従前ノ

如キ活動モヤル勇氣ガナイ、サツト冬籠リノ状態ニアル者、此ノ三通リ

テアルガ自分ノ見ル所一番多クハ第三ノ冬籠リ状態ニアル者テ是等ハ何カノ

動機ヲ立チ上ル可能性ガ充分ニアルト述ベテ居リマス長期戦下ノ今日ノ客觀情勢ト睨ミ合セテ前歴者ノ視

察ニハ六イニ戒心ヲ要スルモノガアルト考ヘマス

三ニノ注意スベキ莫クハ共產主義運動ハ常ニ客觀情勢ト密接ナ關係ヲ持ツテ爲サレテ居ルト云フコトデアリマス此ノ事ハ常ニ言ハレテ居ル事

デアリマスケレ共本事件ノ取調ヲ要シテ特ニ強ク感シマシタ特高月報テ河合殿ノ聽取書ヲ拝見致シマシタカ河合ノ客觀情勢ニ對スル認識ト被疑者梅川外三名ノ觀方トハ全ク一致致シテ居リマシタ



何等連絡モトイフ不拘同様認識ノ下ニ活動ニ這一ツテ居リマス  
即チ一例ヲ申シマスト「日本ニ於テハ革新政策推進ノ中心カハ官僚  
ト軍部デアル吾々ハ此ノ宮僚軍部トテテ握ルコトニ依ツテハ一部カラ軍部  
條件ヲ成就セシムルコトニシテ同時ニ一方其ノ革新政策ヲ求ムルモ一級  
ニ於テハ徹底ニシテ下カラ上ニカク作リ一歩々々社會主義社會ニ向  
テ進歩スベキデアルトスル當面ノ任務ニ於テ相一致レテ居リマシ  
斯ル動向ハ今後ノ共產主義運動取締ノ上ニ極メテ注意シナレバハ  
又強ク感シマシム

三重縣 警部 山本 貞 治

三重縣ニ於テシテモ若イ経験ヲ嘗テ居リマス之ハ取調ニ依ツテ判  
ソクテアリマスガ相沢三郎ガ永田軍務局長ヲ暗殺スル爲メ上  
京スル前ニ三重縣ニ参リマシテ神宮参拝ヲ致シテ居リマス  
相沢ガ参拝シタ日ニ詰メテ居リマシタ神宮衛士ニ席テ見マスト  
其ノ参拝ノ方法ハ非常ニ普通ノ参拝者ト異ツテ居タソウデ十分モ  
神前ニ額々一度モ頭ヲヒゲスニ参拝シテ居ツタソウデス軍服デアリ  
マシタノデ特ニ印象ニ殘ツテ居タノデスガ其ノ當時僉士モ羨ナ人ト  
直感シタソウデス 後デ新聞ニ掲載サレタ寫真ヲ見テ此ノ人  
デアツタト語ツテ居タノデアリマスガ此ノ事ガアリマシテカラ **神宮方面ト**  
**連絡**モ極メテ重要ダト考ヘル來密接ト連絡ヲ採ツテ居ルノデアリ  
マスガ視線外人物ノ発見ノ一方法トシテ御参考ニ申ゲマス

保外人物  
ハシ

三重縣 警部補 園部 計三

之ヲ修驗リ通シテ話デアリマスガ表シタイト思ヒマス事柄ハ昨年十一  
月三日縣下ニ於テ修驗致シマシタ本門佛立講ノ治安維持法遠及事  
件取調ヲ願ヒテ觀察員ノ用意ナル言動ヲ修驗取調上如何ナル  
惡影響ヲ及ボシタカ又佛教関係ノ事件ヲ扱ムテ取調ベ如何  
ニ感シタカト云フニ惡ニ就テ申シデカクイ申思ヒマス

先ノ其ノ話リスル前邊トシテ事件ノ本質ヲ申シテ置クナイト  
御判ノ憎イト思ヒマスカラ其ノ為ニテヨ格イ捕ンデ申上デマス  
彼等ハ自己ニ信奉シテ居ル本尊ハ宇宙最高純對ノ尊体デアリ  
不兼ノ神佛ハ假令我國神ト云モ其ノ枝葉末節ヲ存存ニ過ギナ  
イ故テ比ノ有難ク本尊ヲ信仰禮拜スル上ハ皇祖天照大神ヲ始  
メ奉リ國ヲ禮拜スル必要ナク若シテ之ヲ禮拜スルトセバ本



專以私親之結果、ナリ、不專ニ對スル非禮謗法、ナリ、思想ヨリ出ス  
シ、神宮參拜モセナレバ、又神宮大麻モ祀ル事ナレトテ、大麻其他、  
國神、靈トシテ奉安セシ信仰社殿、對シテ謗法拂ナリ、  
抑、事ヲシテ、不逞思想ノ流布宣傳活動、ノシタモノデアリマス  
然レバ、此ノ事件、推察、調ヒテ、何種ノ系員ノ言動カ、如何ニ影響シ  
タカト云フ、其ニ就テ、話ヲ違、タリト思ヒマス

申上、此ノ事、其ノ特高關係ノ視察、内、演ニ、同シテ、何ノ場合デモ、組織  
主自ラノ言動ニ注意セ、不ナラヌト云フ事、今更事新シク言テ、問題  
ニ、ヒナリ、モ、センガ、稍モ、シ、ト、推察、情報、ノ、忘、ル、功、名、ヲ、柄、ヲ、シ、タ、ク、  
ノ、心、ナ、考、ヘ、方、ヲ、事、ハ、核、心、ニ、觸、レ、タ、矣、ヲ、大、致、ス、レ、ト、云、フ、コ  
ト、也、  
シ、テ、ハ、一、心、ニ、思、ヒ、マ、ス、現、ニ、只、今、ト、シ、テ、事、件、デ、モ、其、ノ、苦、勞、ヲ、言、  
フ、コ、ト、ナ、ラ、ズ、ノ、其、ノ、具體、的、實、例、ハ、其、ノ、事、ニ、信、テ、佛、立、講、ノ、幹、部、ヲ、選、  
ビ、

引續リ、ナリ、前等ノ信仰シテ居ル宗旨ハ、何カ、御本尊ハ、何様ガ祀ツ  
テ、ヤ、レ、其、ノ、御本尊ト、天照大神ハ、ト、ナ、ラ、カ、儀、イ、ノ、カ、イ、前等ノ、宗教ハ  
不逞、排、教、カ、シ、云、々、ト、恰、モ、取、調、ノ、様、ナ、下、午、ナ、矣、之、方、ナ、シ、又、或、署  
ノ、延、延、述、述、ハ、大、塚、ノ、儀、ノ、儀、ナ、宗、教、ノ、部、教、ダ、ソ、ン、ナ、宗、旨、ニ、違、ハ、ル、ト、  
云、々、ト、新、一、講、者、ニ、注、意、シ、或、署、ノ、視、察、係、ハ、教、團、ニ、視、察、ニ、越、キ、タ、ル、際  
ノ、或、レ、推、察、等、ノ、ヤ、テ、忌、ル、宗、教、ハ、一、ノ、宗、教、タ、祭、壇、ニ、皇、祖、皇、宗、ノ、御、尊  
靈、今、ニ、天、皇、陛下、ヲ、神、祀、シ、テ、レ、以、上、之、教、テ、大、塚、ヲ、奉、斎、ス、ル、必、要、ハ、ナ  
イ、ア、漢、モ、定、ハ、信、仰、シ、タ、イ、ノ、タ、ガ、職、務、上、君、等、ノ、仲、面、ニ、シ、テ、賞、ヲ、ツ、ト、  
出、來、ナ、イ、カ、ラ、此、レ、テ、祖、老、ノ、回、向、ヲ、シ、テ、失、レ、ト、裁、何、カ、金、ヲ、出、ス、ト、云、フ、様  
ニ、シ、テ、下、キ、テ、視、察、内、演、ヲ、シ、テ、ア、リ、マ、ス、固、ヨ、リ、急、許、ヲ、突、キ、核、心、ニ、觸、レ  
テ、情、報、ヲ、得、レ、ト、急、リ、宗、教、ヲ、廢、メ、自、分、ニ、信、者、ヲ、シ、テ、見、セ、カ、ク、先、方、ヲ、御、  
シ、テ、情、報、ヲ、取、ル、レ、ト、シ、テ、手段、デ、ア、ル、ノ、ニ、外、ナ、リ、マ、セ、ン、ガ、斯、レ、情、報、取、ル、  
レ、





個人主義宣傳以外ハナイト考ヘテ居リマシタカ実ハ佛教ト云フ思想  
謀畧グ昔カラ既ニナサレテ居タノデアリマス佛教ハ即チ釈迦ノ教ヘテ  
アリ法華經ニ止マラス一切經ハ全部釈迦ガ説イタモノデアリマス其ノ  
佛教ガ殆ンド支那デ翻譯サレ日本ニ渡來シテ來タノデアリマシテ之ハ  
見方ニヨリテハ支那ノ佛教ト云フ衣ヲ着セテイタ徵苗ヨバラ撒キ  
釈迦中心ノ思想ヲ侵透セシメ漸次日本精神ヲ虫喰ミ国力ノ弱  
体化ヲ圖ラントスル恐れベキ思想謀畧デアリマ現ニ其ノ代表的ナ  
モノガ即チ佛立講デアルコトガ判一シメ今後佛教關係ノ視察取締  
上斯ク云フ目デ見テ行ケル相當注意セラルベキモノガナイテモナイト  
考ヘラシ、次第デアリマス  
長イ間勝手ナコトヲ申シテ恐縮致シマシタ

調査内復ニ就テ

三重縣 巡査部長 久米 栄助

三月九日三重縣下ニ於テ檢舉致シマシタ思想前歴者梅川文男ノ報告  
及新體制活動ノ合法場面ヲ利用シ合法運動ヲ擬装シテ其處ニ於  
テ運動ヲ展開シタ事件ノ直接視察者トシテ年甲斐モナク幾多ク敗リ歸返  
シタル致シマシノテ以テ今カラ其ノ二三ヲ御披露申上ルマシテ皆様ノ御指導  
御批判ヲ仰ズ度イト存ジマス

私ハ去ル昭和十四年三月ニ現在ノ任地ヘ赴任シタノテアリマスガ當時被疑者梅川  
文男ハ坂本中ノ或自動車販賣店ニ勤メテイタクノテアリマスソレヲ彼等時  
社黨人衆黨三重縣聯合會執行委員長ヲシテイタクノテアリマスハ私ガ彼等時  
々第一行衆ハ瘦形ノ神經質ノ何カ秘密ヲ持ツテ居リサウナリト一以具  
シテアリマスガ前在者カラ引續ノ事等モアリ以テ私ハ直接同接スル職

湯八日定ニ彼ヲ尋ネテ表裏ノ行動ノ視察シシ其間時事問題ニ付テ彼  
是等ノ事ヲ時ニ理論斗争セシタ其凡有向題ニ付テ彼 思想傾向ヲ判  
断スルニ是レ大ケノ材料ハ取レル大ケ取ツソシテ其ノ情報ハ速ニ本部ニ送  
其ノ中ニハ左翼的ノイテオロギト援助ソテイナイ相当激越ナモノモアルニハアツタガ  
前歴者ナル以上此ノ程度ノコトハ当然タロウト言フ寛大ノ氣持ト當時彼ノ眞  
摯ヲ目撃ノ生活態度カラシテ之ヲ以テ直ケニ容疑行動ナリト断定スルコトハ出来  
ナドツタノテアリマスガ 之ガ抑々失敗ノ第一テアリマシタ 處ガ其ノ翌十五年七  
月連街内閣ノ出現ニヨツテ所謂新体制運動ガ新ラシク政治部面ニ展開サ  
ルハ彼ハ速早ク中火ノ呼ビニ呼應シテ社大党ノ聯合會組織ヲ解散シテ旧  
社大党関係者ヲシテ三重縣新体制促進準備會ナル組織ヲ持テ 一方松坂市  
ニ於ケル唯一ノ右翼團體トシテ時局懇談會(小出少將中心)ノ幹部ニ連絡ヲツケ  
テ同團體ニ接近ヲ策シ更ニ此ノ時局懇談會ヲ母体トシテ市町村産業組

合農會等ニ呼ビカケル等相當活発ナ動キヲ見セルニ至ツタノ一層表裏  
ノ視察内偵ヲ強化シ凡有角度カラ彼ノ行動ヲ視察内偵ニ特ニ通信關係  
ニ付テハ當時郵便局トノ關係ガ甘ク行ツテイナカツタ爲メ書ノ裏面入りニハ  
非常ニ苦心ヲサセラレシノテアリマスガ結局ハ外部カラノ指示連絡等ニヨリ動  
キ居ル様ナ形跡モナク結局ハ彼ノ愛國熱情ノ発露ナルト云フコトニ  
落付カサルヲ得ナクナリ張リ詰メテイタ氣令モ消スルト 鉅リ勝ニ  
テアリマス  
斯クスル中翌昭和十六年五月ニ至リ本部ヨリ梅川ノ行動ハ是迄蒐臬シ  
テ情報ニヨルト縣内ノ旧右翼分子ノ行動ト一脈相通ズルモノガアリ容疑ノ  
莫濃厚ナルモノガアルカラ今右ハ彼ノ視察ヲ一層嚴ニ徹底的ニ査察内  
偵ヨシヨ、トノ命令ヲ受ケタテ更ニ末任交際人物ノ再検討先收発文書ニ付  
タル認識 讀書關係等々詳細ニ亘ツテ内査ヲ遂ケタテアリマスガ依然ト



犯罪、核心ヲ把ムコトが出来ナカッタ爲最悪ノ方法トシテ視察線ヲ依ツタリテ  
アリマスガ之レカラモ余リ良シ情報ハ得ラレナカッタノ事アリマス

以テ其賊ヲ繰返入中昨年十二月九日ノ檢察トナツタノ事アリマスガ私ハ最初  
本部ヨリ梅川檢察、指令ヲ受ケタ時尙非常ニ自信ヲ失ツタノ事アリマスト  
云フノハ終始第一線ノ視察内偵ヲ担当シテマタ私トシテ自分が是迄ニ送ツタ  
情報ニヨツテ果シテ事件ハ總ルヤ否ヤニ付テ不安ガアツタ全ク自信ガ無力  
ツクノ事アリマスガ取調ノ結果ハ豫期以上ノ成果ヲ收メ稀ニ見ル異例ト  
シテ近ク起訴カレル予定ト承ツテ居リマス。之ヲ要スルニ吾々第一線視察員トシ  
テ居ルハ其時從來ノ左翼運動ハ如何ナル場合ニ於テモ必ず之ノ組織ヲ持ツテ  
其組織ヲ中心トシテ活動シテイタ爲ニ之レガ犯罪ノ端緒ヲ得ルコトモ之ヲ難  
トハ、カッタガ、今回、如何等ノ組織モナク且指導連絡等從横一切ヲ  
断テ敢行シタ矣今事件ノ特異性ガアリ視察内偵モ從來ノ方ハ

到底犯罪ノ核心ヲ把ムコトハ不可能ナリト考ヘルモノアリマス。依而將來  
種犯罪ノ視察内偵ニ際シテ一段ト工夫研究シ再ビ斯ル失念ノ繰返サス様  
ヲ思ハナラヌト思フノ事アリマス。尚モ此ノ事件ノ取調ニヨツテ痛切ニ思ヒ  
今回ノ如キ犯罪ニ於テハ千差万別ノ情報ハ犯罪取調上重要ナリト  
之カラ將來之等前歴者ノ行動ハ例ハ日常軍ナル行動ト異ニシテ  
一報告スルコトが必要ナシカト思フノ事アリマス。

此レ、報告ニ正レイ報告スルコトが必要アリマス。之ハ私ノ方ニアツタ一例  
トシテ、又ガ惑事件ノ内偵ヲ命ゼラレタ視察員ガ本部カラ非常ニ喧シク言ハレルカラト  
云フノ事何カ変ツタ報告ヲ出サネバ第一線ニアツテ遊ンテナルヨウニ思ハレルト云フ  
處カラ全然事實無根ノ偽リノ報告ヲシタノ事アルガ本部ニ於テハ眞送偽リノ  
報告ナルトハ知ラス其ノ報告ヲ世ノ手懸トシテ關係者ヲ檢査シ取調バク  
全ク事實無根ナル其ノ報告ハ視察員ガ捏造シタモノナルコト判リ他ニ有カ  
ル証

坂島がナカツタ爲ニ結局犯罪成立セバ其處置ニ因ツタ事例がアリマス恐ラフ斯様  
ノ失敗ヲヤツテキルノハ独リ重縣ノミカト思ヒマスが聊カテモ参考ニナトバト思ヒ  
シテ甲上ケタ次第アリマス  
以上下私ノ体験話ヲ終リマス

非常ニ古イ話ヲ恐縮テスガ帝都放乱事件当時視察員ガ志願人物ノ一リ  
信ニ全ク話スルニモ御取シイ様ナ失敗ヲ致シマシ然シ御取シイカラト云  
テ御取シイ置ラト云フ事モドウカト思ヒマス、此ノ際赤裸ニ告白シテ皆様ノ  
御取判ヲ御取シイト思フモテアリマス  
其ノ失敗話ノ概要ハ實ハ斯ウテアリマス 即チ三重縣四日市ニ當時新日本國民  
同盟支部準備會ガ結成リシ森慶次郎ト云フ青年分子ヲ中心ニ十數名メ  
一バ、ボアツクノ下ニカ此ノ右翼分子ヲ御命令ヲ受ケテ視察シテ居リ下  
御取判事件 眞最中ニ上京セシメタト云フノテアリマス  
又ニ評シク申ニケマスナラバ警察部ヨリ右翼團體ノ會合乃至ハ上京阻止ノ御通  
モニ基テ早速私達第一線ノ視察員ハ特高室ニ右ノ森ヲ招致シ懇談的ニ警告  
ヲ與ヘテ結果克ク趣旨ハ諒解シタガ既ニ今曉同志ニ對シ會合スル様通知ガ出シ



今カラ取消ハ通知ヲ出シテモ向ニ合ハナイ位テ其ノ時向ニナレバ同志ハ案リテ未  
クモ案ツテ来クナラバ御趣旨ヲ申傳へ會合乃至ハ上京等ノニトハ致シテ  
ハ案定ニシテ事アリマシク

係属トシテ其ノ言辭ノミヲ以テ安心スル事モ出来マセズ其ノメンバー其ノ會  
合ノ時ニ就キ視察警戒ヲシテ居リテカ森ハ警察官ニ誓約シテ通り會合  
ヲ進メシメ向ハ會合ヲ開ジト云フ様ナ模様モ見受ケレマセンテシテテニシテ  
一入又、是レ警戒ノキヲ緩メクンテアリマスガ之レガ抑々失敗ノ原因トナリ  
警察官ニ対シテ懸念ヲ持ツル様ニシテ如ク裝ヒ特高係員ヲ通断セシメ警戒  
ヲ行ハルニ乗シ深夜再ニ會合ヲ開キ幹部五名ヲ直チニ上京セシムルコトトシマシ

テ而リモ其ノ際ニテハ汽車ヲ利用セズ線外並自動車ニテ脱出シテスラ  
意見ヲサテアリマシク然レ幸ヒ上京後何レモ警視廳ノ御厄今ニナリ其ノ負  
テ載クメンツカクハ問題ヲ通シ私達ハ右翼ト云モ表面的言動乃至ハ行動

一、此ハ一テハイケナイト云フ事ヲ痛感シテ認テアリマス固ヨリ特高ノ視察ハ表面  
裏面ト云フ事ハ今更事新ラシク云フ由モナイノテアリマスガアノ時私達ガ今  
一、表面ノ視察ヲ怠ラナカッタラ斯様ナ失敗モナカッタコト思ヒ返スノモ残念  
ニ思フテ居ルハ第アリマス

ニ、負弱ノ經驗談ヲ発表シ貴重ナ時向ヲ載キマシテ事ニ對シ恐縮致シマシカ何  
止、事件ヲ通ジテノ御批判御意見等ヲ聞カセテ載キマスナラバ誠ニ幸ヒト思フモノ  
ナリトス

静岡縣

警部補

増田

裏

甚夕古イ亭カラ申上マエガ、私ハ大正十三年カラ特高係ヲヤラセテ載  
イテ居リマエノテ、其ノ内ニ自分ノ経験致シマシタコトデ、視察ノ積上ニ家宅復  
索上ニ或ハ取調ノ技術上ニ就イテ特ニ苦シタ事、失敗シタ事等ヲ今  
々ノ御参考ニ申上テ見タイト思ヒマス。

先之案ニ尤翼事件ニ對シテ家宅搜索、餘程慎重ニ綿密ニ行ハサレタ  
ナノノイト云フ事ヲ感シタ矣デアリマス。

其ノ一例トシテハ、私ノ縣ノ浜松市ニ大正十五年ノ四月下旬カノ八月下旬掛ケテ彼ノ  
有名ノ日本樂器製造株式會社ノ労働爭議ガ勃発シマシタ時、當時日本労働  
組合評議會会ナリ爭議ノ指導者トシテハ、三田村四郎、鍋山貞親等ノ共産主  
義者ノ巨頭カ應援ニ卷リ、益ニ爭議困難ヲ「ア」シテ争議ノ必勝ヲ  
計リ、同時ニプロレタリテ革命ノ予行演習ノ目的ヲ持チマシテ、全市ノ工場ニ



「セネスト」ヲ執行シ様トシテ畫策シ正ニ實現ノ域ニ迄到達セントシテ  
急迫ノ情勢ニテソクノテアリマス。其處テ縣警察部ノ首腦部ニ於  
カンマノテハ之ガ打倒案ニ関シマシテ色々協議致シタル結果内務省司法省  
ノ指令ト下ニ其ノ指導者テアル三田村、鍋山ヲ檢舉シ多量ノ統制力ヲ打  
破シ可及的速ニ争議ヲ解決シ様ウト云フ意見ニ一致シテアリマス。  
其ノ結果三田村、鍋山ノ隱レ場所ヲ発見シテ逮捕スルト云フ事ニナリシレ  
ヲ発見スル迄ハ非常ニ苦心ヲ要シタリマス。總シル工夫ヲ凝シ決死  
的ノ努力ヲ熱意ヲ以テ彼等ノ隱家ヲ発見ニ從事シテアリタルガ亦不  
可シラ発見スルトカ出来ナカツタデアリマス。  
ソノ多ク考ヘテ彼等ヨリ警察ノ方ガ遙ニ技術的ニ負ヒテイタルノ下  
ニ、ト云フノハ三四村、鍋山ノ隱家ヲ発見スルニ此ノ兩者ノ使用シテ居  
ルコトハトシテ尾行スルニ必ズ居處ガ判ルカラフト云フ方針ノ下ニ隠レ

評議會ノ執行委員長ヲシテイタ野田律太ガ應援ニ卷リ浜松市ノ松城町ハ百  
屋ノ二階ヲ借りテオクテ委員長トハ必ズ傳令ナリシホトナリテ連絡スルテ  
「ト」ト考ヘ其ノ野田ノ家ノ附近ニ比較的尾行張込ノ優秀ナ刑事巡查數名ヲ選拔  
テ張込ニ密カニ出入スル者ノ後ヲ尾行サセタノデアリマス。  
處ガ二等ノ傳令ナリシ「ポーター」ヲ尾行スルト途中テ何時モ向カテ来ル者ト速  
給シテ何かハサキ紙ノ様ナ物ヲ出ス其處テ尾行スル者ハ占クトバカリ之ヲ捕ヘム  
ト幾ノ嚴重ニ身体検査シテモ大シク物ヲ持ツテ居ラナイ。不思議タ不思議  
ノ「ト」思ヒ乍ラモソレヨリ外ニ最善ノ方法ガナカツタノテ相當永イ向テ續行シテ本  
タノテスガ結局不成功ニ終ツテ仕舞ソクノデアリマス。後テ調べタラ三田村ノ指令ニ  
依リテ警察官ガ尾行スルニテ利用シテ警察ノ作戦ナリ動キナリヲ見更ニ自分達ノ  
隱家ハ秘密移動本部ヲ発見サレトイ様ニシタトノ事デアリマス。  
即チ警察官ニ尾行サレ傳令ナリ又ハ其ノ傳令ト途中テ連絡スル「ポーター」ハ





其ノ實例ト致レマシテハ昭和五年五月下旬ニ安田愛知縣警務部長殿カ  
和野縣特高課長ヲヨラシテオク時畏クニ天皇陛下ノ地方清道寺カ彼在  
ルノテアリマス。

一、伊豆半島ノ真新ニ全協分子ノ縣下ニ齊檢擧ヲ断行シ約二百三十名任ラヌ事  
ニ候来ニテアリマス其ノ事件ヲ檢擧スル時私ノ縣ノ赤松平ニ伊豆森使  
一ト云フ非常ニ戰闘的ナ共產主義者ガ動イテ居ツノテアリマス。

此ノ男ハイデオロギイハ極メテ低イノテアリマス其ノ英雄主義的ナ氣持ヲ以テ  
正軌上活動ヲ事ニスル性格ガ下ノテアリマス。

其處ノ所轄浜松署ノ特高係ハ伊豆森ノ動キニ神経過敏ナリ其ノ動靜ヲ目撃  
スル事ニ無新ニ「防新」等ノ「アドレス」ヲヤリ毎日ノ様ニ同志ヲ訪問シテオク愈々

臭イト云フノテ約三月月間位連續ニ終始行テ附シテオクテアリマス。  
天皇陛下ノ清道寺仰出サレ警衛ノ萬全ト内偵トニ全方ヲ擧ゲテ居リマシテ處

（因ラズニ浜松地方ハ恐レ多クモ御巡幸被在為時危害ヲ加ヘルト云フ様ナ實  
不逞極ムル投書ガ度々アツタノテアリマス

ソノノ關係テ地元浜松署トシテハ非常ニ視察内偵ヲ強化シ伊豆森ノ動向ニ細心ノ  
注意ヲ拂ツテ居リマスト彼ノ家ノ前ニ晝間ハ旗ガ出夜ニナルト提灯ガ出テオルデ

之ハ何カノ連絡スル暗号ナラント直感シ出入スル者ノ視察ノ為ニ数名ノ刑事ヲ張  
リ込メヒタガ一週間経ツテモ何者モ出入ガナイ或ハ家ノ中ニ中央部ノ幹部ガ隠シテ

非ルノテハナカニウカトモ考ヘテ縣ノ特高課ヘ報告ガアリマシタノテ私ガ出張シ色  
々ノ方法ヲ講ジテ内偵シタガドウシテモ正体ガ解ラナカッタノテアリマスガ檢擧シ

タ時家ノ中ニ這入り搜索シタ處結局此方ガ想像シテオク人モ居ナイシ又太シ  
ク秘匿文書モ無カッタノテアリマス、其ノ後取調ノ際右ノ状況ヲ聞キマシテ警

察ノ主力即チ視察内偵線ヲ伊豆森ニ集中サセ其ノ際ニ他ノ大勢ノ共產主義者ノ活  
動ナリ運動ナリヲ容易ナラシメ様トスル作戰テアル事ガ判カンテ警イタノコトガ

アリマス

九翼分子ノ会合ニ就イテ視察内偵ニル際ニ必ズ集マル前ノ行動ト解散シタ  
後ノ個々ノ動静ニ注意シテケレハナラナイト云フ事デアリマス

ソレハ私ガ取扱ツク事件ヲ思想保護觀察所ヲ利用シテ人戦運動ヲマツク治安維  
持法違反事件デアリマシタカ此ノ時痛切ニ其ノ矣ヲ感シサセラレタリデアリマス  
即チ転向者ガ保護觀察所ノ外廓団体トシテ転向者グループノ団体ヲ造リ定期的ニ  
會合ヲ持テマスノデ此ノ状況ヲ視察スル為メニ特高係ノ刑事ガ其ノ都度参加  
シマスガ會合ノ席上デハ注意ヲ要スル様ナ言動ハ少シモヤラナイカラ會合カ終ヒバ  
刑事ハ安心シテ歸ツテ仕舞フ

處ケ彼等ハ刑事ガ歸ルト其ノ後歸リガケニ街頭連絡ヲシタリ或ハ一定ノコト  
ヲ定メテ運動ヲシタリスル危険性ガ可ナリアルデアリマス

其ノ實例トシテハ私ハ昭和十二年ニ静岡思想保護觀察所ノ外廓団体デアリ

マニル淡光会ト云フ転向者ノグループガ沼津市ニアリマシタカ此ノ転向者グル  
ープヲ巧ニ利用シテ人戦運動ヲ展開シテ之ヲ檢舉シタ事件ヲ取扱ヒマシタ  
非転向者デアル厚不嘉一、松本一ニノ兩名ガ先程申上マシタ様ニ其ノ會合  
リダケニ何時モ連絡シテ淡光会デ決定シタ事業ヲ上手ニ取上ケテ同志ノ獲得  
努メテホタト云フ事ガ判カッタデアリマシテ之ハ當時異例ナル事件トシテ事務者  
クテ御褒メノ言葉ヲ頂イタ事ガアリマシタ

第三ニ六事件ヲ檢舉シタ後ニ決シテ安心セズニ其後ヲ張込マセテ置キタル場合  
彼等ノ人検索ヲヤル必要ガアルト思ヒマス

ソレハ「連絡トク又ハ同志ノ連絡ケアルト云フ事ヲ考ヘテヤル必要ガアルデア  
其ノ點ヤ一例トシマシテハ先程申上ゲマシタガ昭和七年七月上旬頃静岡市ノ  
續会ヲ自標工場トシテ運動スル指令ヲ受ケテ潜入シテ来ノ「ラクレ」活動  
ヲ展開致シマシタ日本共產黨員ノ國東一成「派ヲ檢舉シタ事件」テスル



私ハ取調ヘニ當リマシタ處全協関係ハ出マシタガ党ノ關係ハ如何ナル歟ニ就キテハ  
私テ未チイノテ止方カナイカラ党活動ハアキラメテ全協関係ヲケテ報告ノ  
經ノ様ト思ヒ殆ンド調書ガ終ヘタ頃國東一成ノアジトノ受持ノ大河原ト云ノ  
邊倉ノ私ノ所ヘ奉リ

國東ノ留守宅ヲ時々張り込ミシテオクテラコシテ手紙ガ矣リマシタ

ト云テ手紙ヲ渡シテ吳レシノテ私早速函封シテ見マシタ處日本生糸株式會  
社(東京市所在)カラ國東ニ宛テシテアリ其ノ内容ニ

君ハ先日重役ノ幹旋デ當会社ノ外交員トシテ入社シ尙且重役ノ命デ特  
一節岡縣ノ鷺津紡績會社ト取引關係ヲ結ブ重要ノ仕事ヲスルコトニシ  
タダ君ガ斯クシテ重要ノ仕事ヲ命ビラレタノハ既ニ充分承知ノ事ト思ヒ居  
ル紡績事業ニ就テ特殊ノ技術ガアルカラテ充分手技カリノ無イ様ニ會社ノ  
爲ニ大イニ願張ツテ活動ラシテ呉レ

外交ヲスルニ相當ノ「ゲル」ガ要ルダロウカラ若レ入用ナラ遠慮ナク認シテ  
呉レ

又其ノ内ニ外交上ニ必要ナ宣伝文書ヲ送ルカラ必要部數ダケ通知シテ當  
イ

ト謂フ意味ガ書イテアツタノデアリマス

私ハ是ヲ見テ何ウモ此ノ「レボ」ノ内容ガ怪シイトハ直感的ニポイント未  
シレテモ之ヲ解剖シテ真ノ意味ヲ掴ムコトガ出来テカッタノデス

色々考ヘタ結果

一當時「ゲル」ト云フ言葉ハ殆ンド左翼分子ガ使ツテ居タユト

二日本生糸株式會社ト云フハ日本共產党ヲ「カモフラージ」シテアルデハナカ  
三重役ハ日本共產党ノ中央ノ幹部ヲ指シテアルノデハナカロウカ

四重役ノ幹旋デ入社シタト云フハ党幹部ノ勧誘ニ依リ入党シタト云フコトヲ  
示ス

ハナカニウカ

三 鷲津紡績会社ト取引関係ヲシヨウト云フコトハ鷲紡ヲ目標工場トシテ再  
カリマト云フ意味デハナクウカ、

ト推測シ國東ニ對シテ右ノ強硬ニ定イタ處私ノ推測通り黨ノ中央部トシテ  
シヨレホレデアルコトヲ認メテ全協活動ヲ通シテ鷲紡ニ黨ノ組織ヲ作シトシ  
指令デアルコトヲ自供シ同時ニ入黨シテ居タ矣モ自白シテ又其ノ事實ハ  
補充調書ヲ取ツタコトガアリマシタガ是ハ一ツニ愛持外勤巡查ノ張込ノ賜ア  
アツタト云フコトヲ感謝致シタノデアリマス

四 六 左翼事件ヲ取調ヘルニ其ノ事件ニ照應シテ技術ニ工夫ヲ凝ストニ  
トク最モ肝要デアリマス  
私ガ従来取扱ツタ事件デ技術的ニ苦心致シマシタノハ

一 昭和十二年二月ニ檢察致シマシタ初メテノ人民戦線運動ニ依リ治安維持法違反  
事件デアリマシタ 此ノ人戦運動ハ前歴者五六名ガ中心トナリ社大党全協等  
組合救援等ノ合法団体ヲ利用シテ運動デアリ幹部ノ大半ハ其ノ真ヲ認メタノテ  
アリマシタガ幹部ノ一人デアル古波津英典ト云フ共產主義者ハ何ツテモ人戦  
運動ヲ認メズ飽迄デ頑強ニ否認シテ

人自今ハ従来ヨリ「コミンテルン」ハ日本ノ國情、國民性ヲ無視シ日本ノ國体ノ破  
壞ムル所謂暴力団デアレコト

二 日本共產党ハ昭和九年ノリンチ事件以後事實的ニ潰滅シ「コミンテルン」ト  
ノ連絡ハ完全ニ切ラレテ居ルカヲ党ト存在ヲ認ムル事ハ出来ナイコト、

三 従ツテ吾々左翼分子ガ如何ニ活躍シテモ党ヲ再建フズルコトハ出来得ナイ  
等ヲ口實ニ逃ケ斯ル觀莫ヨリ

古波津ハ



我々左翼ノ者ハ日本ノ國体ナリ日本ノ國民性ヲ自覺スルト共ニ從本ノ共產主義  
義運動ノ誤謬ヲ徹底的清算シテ新ナル運動方針ヲ確立スルニシテハナラナイ  
即チコミンテルンヒカラ完全ニ羈絆ヲ絶テ世界共產主義ニ反對シテ日本  
獨特ノ共產主義運動ヲ展開シナケレバナラナイト思フ

然ラバ日本獨特ノ共產主義運動トハプロレタリア天皇制ノ確立ヲ以テ  
此ノプロレタリア天皇制ノ確立ノ目標ハ日本資本主義ノ打倒ヲ以テ  
天皇制ヲ否定スルモノデハナイ 何故テハ日本ノアルレボルニシテハ  
ヲ防衛強化スルモノニ悉ク表面天皇制ヲ抑立テプロレタリアアートを新取  
彈圧シテキルノデアツテ所謂天皇制ヲ濫用シテキルノデアル

カカラ我々プロレタリアアートのハブルジョアアートのチカラ天皇制ヲ奪還シテ  
タプロレタリアアートの天皇ヲ戴キ國体ニ即應シテ政治ニ協力シ忠節ヲ獻  
サケレバナラナイ

ソフスレバ眞ニ日本ノ國体ニ副ツタニ派ナ政治ガ出来ルノデアル

ト扁説ヲ主張シテ天皇制ノ打倒ヲ極力否認シマレタル為メ取調上非常ニ苦  
心致シマレタガ結局

ハ日本資本主義ノ育成ト半封建性ニ依ル天皇制トノ関連ニ就イテ

ニプロレタリア天皇制ヲ確立スルモ天皇制ヲ認ムル以上帝國主義戰争ヲ如何解

剖スルヤト云フ事ニ就イテ

又日本共産党ハ一應潰滅スルモコミンテルンヨリ脱退シタル事實ナキヲ以テ何時

ニモ情勢如何ニ依リ日本共産党ヲ再建シコミンテルントノ連絡復活ス

ル可能性アリト云フコトニ就テ

及駁シタル處漸ク日本民族運動ヲ利用シテノ運動ナルコトヲ自供シタノデアリ

マスガ此ノ事件ヲ取纏メルニ實ニ苦勞致シタノデアリマス

一、次ハ昭和八年九月十八日ニ私ノ縣テ党全協共青ノ一斉檢舉ヲ行ヒ約三百五

六十名ノ共產主義者ヲ檢舉シタ事件ガアツタノデアリマス

此事件テ私ハ党中央部ヨリ「オルグ」トシテ派遣サレタ党静岡縣キヤンツノ

芥沢總一郎ト云フ黨員ヲ調べ送局致シタノデアリマシタガ此ノ芥沢ガ当時日本

共產党中央兼任委員農村部長片野事大泉兼藏ノ推薦デ入党シテ

トシテ静岡縣ニ派遣ヲ命ゼラレテ党活動ノ具体的指示ヲ受ケテ運動ヲ致シマ

シタル關係上送局後予審判事ノ命ニ依リ大泉兼藏ヲ取調べニ上京シ色々尋

問ノ便宜ヲ得マシテ麻布島居坂警察署テ大泉ヲ取調べ致シタノデアリマス

處ガ芥沢ノ調査ヲ讀ミ聞カセ入党セシメタ矣ヲ取調べタガ大泉ハ

自分ハ中央委員トシテ全國ノ黨員ヲ取扱ツテ居ルカラ「ワソ」ト小サナ事

マテ覚テオナリ

ト否認シテ認メナイノデア私ハ死シタ小畑ヲ負傷シタ大泉ニ同情シ宮本顯ハ

激シク「チ」ヲナレル者ヲ攻撃シテ本人ノ甘んビ買ヒ此ノ点カラ自供セシメ様ト共

術的ニ色々苦心シマシタガ大泉ハ

私ハ忠實ナ共產主義者デスカ例ヘ党内テ如何ナル事ガアツテモ敵デアル君ニ

敢テ同情サレル必要ヲ認メナイ

ト相手ニサレズ遂ニ出張予定日数デアル六日ガ切迫シタノテ口惜シカクテ断念シ

テ歸縣シ様ヲト決意シ予審判事ニ

私テハ到底取調べルカガアリマセンカラ明日歸リマス

ト電話マテ架ケ其ノ晩宿屋ニ歸リ色々考ヘタル末 明日大泉ト逢フノ

全農全國会議ノ話ヲ聞キ土産トシテ歸ルハト思ヒ翌朝島居坂署ニ

赴キ大泉ニ逢フテ歸縣スル挨拶ヲ述ベ全農全國ノ運動ニ就テ色々話ヲ致シマシ

タ處話ヲ進メテ行ク途中ニ芥沢ノ入党關係ヲ卒直ニ認メタノデアリマス

其處テ私ハ意外ニ思ヒ下ラ調書ヲ取り無事ニ大任ヲ果シマシタガ私ハ二十一年

ノ警察官生活中 此ノ嬉シイコトハアリマセンデシタ



調書が終へ夕瞬間思ハズ目頭が熱クナリ自然ニ涙が出タノテ大泉モ同情シ調書  
が終へテカノ私ニ向フテ

君ハ特高係リヲ何年ヤラレマスカ

ト聞キマシタノテ

僕ハ約十年位ヤラテキル

ト答ヘマス大泉ハ

アナタハ夫礼タガ未ダ取調カ下手デス、今ノ芥沢ノ入党内盟

ニ短カ直入ニ入党内係ヲ聞イテ来ルカラ僕トシテハ絶対ニ話セマセンヨ

ソナテ調ベカラズルト確カリシテ共產主義者ハ死シテモ口ヲ割リマセン

ルニ足張り一ツノゴツシガアル様ダネ

ツマリ調ベラレル方が自然ニ言ハナケレバナラナイ様ニ仕向ケテ来ラレルト困ル

遂ニ頑張ラウト思フテモ話シテ仕舞ス、今度ノ取調ベモアナタガ全會ノ

話ヲサレタカラ良カッタノダ

次シテ型ニ嵌メマウトシテハ駄目デス

ト言フテ大泉ニ取調ノ方法ヲ教ラレタ事ガアリマシタ

三、ソレカノ共產主義者ヲ取調ベルノハ決シテ焦ラズ飽迄テ辛棒シテ腰ヲ落シ

着ケル事ガ絶対ニ必要デアリマシテヤキモキエル事ハ禁物デ幾ラ日時ガカ

コトモコジツクリレ落付イテヤツテ行ク事ガ大切デス

其ノ實例トシテハ先程話シ致シマシタ昭和八年九月十五日ノ縣下一斉檢

査シテ治安維持法違反事件ノ際ノ中心分子ノ黨員芥沢總一郎ヨリ私ガ取

調ベルコトニナリ取調ベニ當ツタノデスガ最初芥沢ハ一言モ物ヲ言ハナイノテ

私モ知ラン顔ヲシ両者朝カラ夜迄互ニ無言テ押通シ約一週間位イ過ギ

テ仕舞ツタノデス、十日目位ニナルト彼ハ

一体何シノ為メニ俺ヲ調ベルノカ俺ハ党ノ運動ナド絶対ニヤラナイ

ト否認シテ党ノ問題ニハ少しも觸レ様トハシナク一仕方カナイカラ私ニ党因  
係ノ話ヲ避ケテ

ムソングエトトノ知名ノ士ノ話ヲシタリ

三、四、大事件ノ話ヲシテ増田可一郎君(芥沢ノ崇拜シテ来ル先輩)ガ  
涙ヲ流シテ話ヲシタ事デ「日本ノ共産党ノ首脳部ノ人達、又新ナ運動  
資金ヲ独占シ毎月殆ンド待合ニ居リビタリシテ酒色ニ溺レテキルガ我ヒソソ  
端ノ者ハ飯モロクニ食ズ襤褸ヲ着彈圧ヲ受ケテ活動シテ来ソ  
考ヘレバ馬鹿クシイ」之シカカラ日本ノ共産主義運動ハ發展シテ  
グレートツクツク述懐シタ事カアツタガ實際日本ノ共産主義運動ノ  
ヤル人達ハ大変タ

ト同情シテ話ヲシマシタ處芥沢ハ此ノ話ニ釣リ込マレテ遂ニ

金ノ共産主義運動ハ大変タヨ、實際ヤツタ者デナケレバ判カラナイ  
ト不用意ニ口走リタル為人

何シタソレデハ君ハ運動ヲヤツタノカ

ト突込ミ矢継早ニ取調ベタル為メ遂ニ彼ハ入売因係ヲ自供シソレカラハ比較的  
順調ニ取調ルコトガ出来マシタ

斯シタ兵カラ考ヘテ取調ベニ当ル者ハ餘程慎重ニ落付テ少しモ焦ラズ一度  
取調ベニ當ツタ以上死ンデモ喰ヒ付イテ陥落サセル處ハ決シテ高サナイト  
ムフ氣持デ取調ベラシナケレバナラナイト思ヒマス

以上



静岡縣 警部補 米山喜三郎

生活学校ノ檢舉ニ就キマシテハ別ニ視察内偵上苦心シタトイフヤウナラデアリマセ  
ンガ視察内偵カラ檢舉ニ至リマシテ経緯ニ就イテ申上ゲマス

昭和十六年二月ニ保安課カラ特高月報ノ十五年十月ヲ頂キマシタガ其ニ檢舉  
ノ事実が載ツテ居リマシテ其ノ中ニ教育雑誌「生活学校」ヲ中心トシテ戸塚廉他  
五六人カ入ッテ居リマスガ之ハ静岡縣ノ出身デ昭和八年二月ニ新興教育同盟事件  
ヲ發シ當時起訴留保ニナツテ東京ニ上京シマシタ其關係者デアル牧澤伊三村  
松元トイフ連中モ東京ニ行ツタノデアリマスガ本縣ニ於テモ「生活学校」ヲ中心トス  
ル生活主義教育運動ガ無クハナラナイト思ヒマシタノデ一應縣下ヲ洗ツテ見タノデアリ  
マス處ガ其ノ當時ハ直接ニ實踐活動ヲシテ居ル者ガ無イテ念ノ為警視廳ト連絡ヲ取  
ツツノデアリマススルト實踐活動モヤツテ居リ約十名バカリノ者ノ名前モ知ルコトガ出来タノ  
デアリマス其ノ名前ノ中ニ平田トイフ者ト高木トイフ者ノ二人ガアツタノデアリマスガ是

等ノ者ニ付イテ内偵シテ居リマスト其年ノ五月ニ教育科學研究会ガ解散ニナリ  
マシテ静岡縣本部ニ習フテ解散シタデアリマスガ支部役員デアル師範學校ノ教  
諭國民學校ノ訓導トイフ連中ガ元教研ノ本部員デアツテ現在静岡高等學校ノ  
教授デアル津村ハ之ハ共乙デアリマスガ之等ノ者ガ教研解散ヲ德慮シタ處ノ  
人評者ノ不當ヲナラシ解散ヲ決定シタ幹部ニ對シテ不満ヲ唱テハ其解散ニ及ハシタ  
デアリマスサウシテ飽迄ニカウシテ団体ノ存續ヲ主張シ曰支部員十名バカリ外ニ合  
テ静岡實踐教育聯盟ヲ作ツタデアリマス 其メンバーハ嘗ツテ新築地劇団ガ  
静岡ニ公演ニ参リマシタ時ニ座談会ヲ開イタ其時ノ分子ガ之ニ居ツタトイフコトヲ知  
ツタデアリマス夫レテ彼等ノ思想動向ヲ内偵シテ居ツタデアリマスケレドモ茲テク  
ウシテ容疑事實ガ度重シテ來タデアリマスニ教研ノ性格ヲ究明シテ見ヤウ 夫レト斷  
ウシテ分子ノ思想動向ヲ徹底的ニ内偵スルトイフ此ニツテ目標トシテ内偵ニツタ  
デアリマスガ第一ノ教研ノ本質究明ニ就イテハ機関紙「教育科學」ト岩波書店發行

ノ雜誌「教育」ヲ昭和十五年十四年十三年ト逆ニ通ツテ研究シテ見マシタ夫レト共ニ國  
民學校ノ訓導ノ學級経営教授案研究発表物父兄ニ出シタ通信文児童ノ作品ニ等  
ヲ蒐集シテ居ツタデアリマススルト十六年十一月内務省保安課カラ「生活主義教育連  
動」ニ就イテヒトイフ参考資料ヲ頂キ續イテ山形縣カラ生活主義運動事件ノ通報ヲ  
頂キマシテ本縣ニモヤハリ綴方細胞トイフ雜誌ヲ出シテ相当意識ガ濃厚デアルトイ  
フコトヲ知リマシタデアリマス其時初メテ「生活學校」必讀人ノ平田高木トイフ者ガ主腦者ト以  
テ「綴方細胞」ヲ出シテ一般教師ヲ啓蒙シテ居ツタコトガ解リマシタカ何ニシテ口雜誌ノ現  
物ガ入ツテ居ラナイシ又其後如何ナル者ヲ同人ニ獲得シテ年九カ高繼續シテ發行シテ斗  
ルノカトイフ真ガ不明デアルト同時ニ先ニ内偵線ニ浮ヒタ夕望月山本トカトイフ新  
業也關係者ガ入ツテ居ツタカ其他ノ者ハドンナモガ入ツテ年九カトイフコトガ不明テ  
アツタ爲當面ノ目標ヲ綴方細胞ヲ入手スルコトサウシテ同人等ノ思想動向ノ徹底的  
偵察實踐教育聯盟ノ本質究明此ニ真ヲ中トシテ内偵シタデアリマス 處ガ所



懸着クテ頂キマシテ報告ハカウソト同テアル處ノ小學校ノ訓導ハ兒童或ハ父兄側リラ  
ルニ極メテ信頼サレタ良イ先生アリ學校側テハ非常ニ教育ニ熱心テ特ニ國語綴方  
イフモノハ他ノ訓導ノ追隨ヲ許サナイトイフ特技ヲ有テ將來ヲ嚮望サレタ所謂模  
範訓導デアルトイフ良イ矣カガ報告サレテ思想的ニ疑惑ヲ持ツトイフ部向ノ報告  
コレカウタテアリマス 乍然新築地劇団ノ座談会ニ出席シ教研ノ解解ヲ示満ト  
シテ静岡教育聯盟ヲ組織シタトカ綴方ニ熱心デアルトイフ矣カガ考ヘドウシテモ  
ノ予期スベキモノガナケレバナラヌト思ヒタノテ今度ハ表面的ナ視察内偵ノ止メ  
專ラ裏面内偵ニカヲ注イダテアリマス丁度私天前職ガ学校ニ関係ガアリマシタ  
ノテ他ノ小學校ノ先生アタリヲ知ツテ居リマシタレバ特高課員ノ中テ役場ニ寧  
居タ者等ニ依リヨク知ツテキル先生ヲ選ビ「綴方細胞」「學級經營案」「教授案」  
「研究発表物」「父兄ニ対スル通信文」「子供ノ作品」等ノ入手ニ努メタノデアリマス幸  
ニ綴方細胞ハ中三ノバカリ手ニ入り學校經營案教授案トイフヤウナモノ兒童ノ

綴方ノ作畫等ハ非常ニ大ナモノヲ入手スルコトガ出来タノデアリマス サツシテモ  
テ檢討シテ行キマスト大体此カテ考ヘテ居タ處ノ輪廓ニ嵌ツテ来レノアツ  
イフカガ保安課ノ御指示ヲ得テ所轄檢事局ト連絡シ本年三月二十九日学期末休  
ミニナルヲ待ツテ檢學シタデアリマスガ取調ベノ結果綴方細胞ノ自ノハツイグ  
アカラ静岡縣綴方教育人同盟ニ發展シテ其ノ綴方聯盟ガ教育科學研究会ヲ利用  
スル合法偽裝所謂人民戦線運動デアツタコトガ解リ之又本省トモ連絡シテ本  
年八月十日ニ第二次檢學ヲ致シタデアリマス  
大体事件檢學ノ経緯ハ以上デアリマスガ之ニ依リ考ヘテタトイフコトハ熱心アリ  
新築地劇団ノ事件ガアツタ時モウケテ取調ベニ際シテ堀下ゲテ行ツタラバ之等  
小學校教員ノ思想動向實踐活動モ解ツタノデアルト思ヒマス  
夫レクノ視察内偵デアリマスガ表面的ナ視察内偵テ檢學セント思フコトハ到底駄目

アドウレテ裏面的の内偵テ行カナケヒバナライトイフコトト斯ツレタ文化運動  
關係事件ハ色々ノ出版物ガ非常ニ多イゲアリマスカラ之ヲツヨクハテテ  
計一ナケハバオノムトイフ三長ノ痛感シタノデアリマム

静岡縣 警部補 藤 浪 仁 吾

御令ニヨリマレテ右翼分子来往ノ状況ヲ申上マス 当管内ノ熱海ハ東京ノ負産數  
ト言ハレルカケニ相当ガ見エ 右翼尤翼方面カラモ来ルンデアリマス

就中五二五事件、血盟団事件、二六関係者ノ来往モアルデ嚴重視察シテ居ル  
デアリマス。最近ニ於キマス、橋、井上西名ノ来往ニツキソノ視察状況ヲ申上ゲマス。ト  
表面的視察トシテハ他府縣トモ大同少異デアルト考ヘラレルデ主トシテ裏面視察ノ  
方ヲ申上ゲタイト思ヒマス

井上昭 橋 孝三郎ノ西名ハ昭和十五年十月熱海ニ入り施療ト称シテ十六年三  
月頃マテ滞在シタノデアリマス。ソノ間ニ東京ニ往復シヌ来往者ク繁クアリ之等動  
静ノ視察ズルト云フコトガ私等ノ任務デアツクノデアリマス。先ツ最初ニ井上 橋  
ガ熱海ニ来ルト云フコトニ就テハ群馬縣送出ノ元代議士畑挑作ガ世話ヲシタノデア  
リマス



畑採作ハ頭山満、井上昭或ハ松岡元外相等トノ関係モアツク様デアリマス。井上  
ト同郷ト云フ様ノ関係デ井上ノ出獄ト同時ニ畑ガ之ヲ迎ヘテ當時熟海ノ入神所  
ト云フ所ニ（東京山王ホテルノ分店）惣井上ヲ案内シテアリマスガ静養ニ為ハ  
テ別荘ヲ見付ケタ方ガイト云ノテ物色シテ居ツタデアリマス。

尚、大仲所ニ居ル建築請負業ノ某ニ依頼シテト云フコトガ私共ノ方ニ判ツタノヨリ  
マス。コレハ視察上大夏好都合ガ何處カ物色シテアツク方ガヨクラウト云々ト判  
ラヌ處、熟海市西山、木ノ宮神社ノ直ク傍ノ家ヲ私共口添ヘテ借り受ルコトト  
シテアリマス。一戸ハ畑ガ買受テモウツハ借りタ方ハ橋ガ買ツタ家ニ井上カ  
入り井上ハ翌二月七日ヨリ橋ハ二月五日カラ夫レノ落子付イタデアリマス。

視察ニ就テハ最初話カアツク時、ソノ別荘ノ大体ノ状況ヲ知レ為ニ附添ノ見取圖等  
ヲ（手スル必要ガアルテ）以前熟海事件ケアツク時ニヤリ見取圖ヲナカシテ授學  
ノ旨ガ折レク事ガ下リマス。市役所ノ稅務係員ニオ願ヒシテ家ノ状況ヲ見ルコト  
トシタ。

圖面ヲ作ツタデアリマス、ソレテ大体ノ部屋ノ状況、本人等ノ住ル状況等ヲ見  
テ貰ツタノデアリマス。

関係者來往ノ動靜ニ付テハ私共係員ハ勿論面接スル関係上幸ヒ米ノ配給其  
他ノ配給ノモノガ多クイ為ニ隣組長ニオ願ヒシテ彼等ノ住所、氏名等書クテ之ヲ  
届ケ出ルト云フ方法ヲトツテ貰ツタ為ニヨク判ツタノデアリマス。尚、駐員或ハ歌、赤  
帽等ニ連絡ヲツケ斯ウ云フ者ガ末タ場合ニハ知ラヒテ貰フコト、勿論取前ノ派出所員  
署員等ニ對シテモ、アレガ井上ノ所ニアレガ橋ノ所ニ行ク者デアルト云フコトヤ出入ノ状  
況ヲヨク調査サシタノデアリマス。尚、手紙、電話、電報等ニ付テハ郵便屋、隣家者  
等ニ連絡シテ之等カラソノ状況ヲハテシ、書面ノ内容ニ付テモ郵便局ノ方カラ連絡  
シテ貰フコト云フコトニテ居ツタノデアリマス。電話ハ隣家ノモノヲ借りルノテ判ル  
デアリマスガ自働電話ニハ一寸困ツテオタノデアリマス、電報ニ付テハ局長リンガ心配シテ  
往復トモ入キスルコトガ出来タノデアリマス。

物資ノ不足ト云フ様ナ關係上幾分私ノ方デ口添ラシテヤツタ關係上大夏彼等ノ好感ヲ得マシテ私共ニ對シテハ温顔ヲ以テ接ムルト云フ嫌味ノナク狀況デアソテ大夏視察内偵ガヨク行ハレタデアリマス

〔事務省麓屬〕

本間トク前田トカ云フ者グ待合ヤ宿屋デ打合セムルニ就イテ狀況ハトウイフ風ニムルノデスカ

本間ハ今年ノ五月四日飄然待合翠光亭ニ参リマシテ少シ疲レタカラ滞在ムルトイフコトテ大體適面位滞在シテ居ツタデアリマス、翠光亭トハ前々カラ連絡ヲツケテアツタデアリマシタノデ本人カ未ルト莫ク私ノ方話ガアリマシテ本間サンカ未アキルトイフコトヲモシテ未マシタ、女將ハヨク協力ムルトイフコトハ前々カラシテオマムカラ其ノトモシテハ一々彼等ノ動靜ヲ知ルコトガ出来タデアリマス、從シ彼等ハ直接家ノ者電話ヲ受ケサセマシテ自分カ出カケ或ハ書面モ自分テ書キ電報モ自分テ打ツトイフコトデアリマス

アリマスノデ郵便局ト連絡ヲトリマシテ万全ヲ期シテ居ツタデアリマス

本間憲一即ハ何か淋レイ氣持デアツタト云フコトヲ聞イテ居リマシタガ三日滞在シ井上カ水戸ニ居ツタノデ電話シタカ不在デア電報ヲ打ツテ居リマシタ。前田虎雄ニ電報ヲ打ツテ是非未テ貰ヒタイト云フコトヲ言ツテヤツタラ六日ノ日ニソレク参リマシタ。當時ノ狀況ハ藝妓ヲ呼ビテ唯騒イグト云フ程度テ待合ノ女將ハ部屋ニ詰メヤソテ居タケ別ニ三人デ内緒話ヲシタトイフコトモ無カワタト云フコトデアリマス、待合ノ女將カ理解シテ居テ是レ、バアル程度情報ノ入手ハ出来ルト思ヒマスガ相手ニ金テ動くノデアラカラドノ程度迄信用シテイ、カ解ラナイノデアリマスカラコノ場合相当苦心ガ要ルト思ヒマス、夫レテ電話等ヲ加サケマストキ何處ニ架ケルカトイフコトガ一寸解ラナイコトガ幸ヒ熱悔ノ局ト連絡ケトシマシテ何處ニ架ケルトイフコトガ解リマシタ。

大體熱悔ニ於キマシテハ旅館、料亭等ノ連絡ガ充分出来テ居リマスノテ



哀共ニ先ツ充分ト云フ自信ノアル視察内偵カ出奉テ中ルムアリマス

福井縣 警部補 朝倉敦士

本日特高實務研究会ハ過去ニ於ケル檢舉事件ヲ通シテ自己カ  
體驗シタル事項ヲ披瀝シテ相互ニ檢討シ今後ノ視察取締上  
ニ充テ活用スル爲メ會議デアリマスガ私ノ縣ト致シマシテハ昭和十二  
年十一月佛青一齊檢舉ノ際被疑者ニ名ヲ檢舉シマシテカラ未  
ク共產主義運動ノ事件トシテハ檢舉ヲ見テ居リマセヌデ此莫基  
ヲ申説無イト存シテ居ル次第デアリマス  
從ツテ本日 研究会ヨリ參考トナル様ニ體驗談ハ持合セテ居リマセ  
ヌノデ只今カラ甲上ノ度イト思ヒマス事ハ直接御參考トハナラナ  
イフモ知リマセヌカ縣下ニ於ケル右翼分子ノ動向ト之ニ對スル取締  
政策トモ言ツタ事ヲ申述ヘテス方ノ御批判ヲ願ヘレバ甚ダ結構  
ダト存シテ居リマス

先ツを翼陣營、現勢ヲ申シマスト所謂要視察人トシテ名簿  
至數者ヲ特要三十名思注四十余名ヲ特要ハ慨シテ知識階  
級ヲ多ク思注ハ労働者階級ノ者カ多數ヲ占メテ居リマス  
之等ノ分子ノ思想動向ヲ見ルニ慨シテ穩健ナル如ク見受ケラレ又  
其ノ運動形態ヲ見マシテモ過去ニ於ケル昭和七八九年頃ノ全協全  
盛時代トハ一變シテ矯激ナル運動ハナク專ラ合法場面ヲ利用シメ  
レ合法運動ニ為シツ、アルニ見受ケラレレノデアリマス。之ハ所謂人  
民戦線戰術採用ノ結果ダラウト思ヒマス。斯ウユウ運動形態ニ  
變化シテ來テ居ル結果トシテ文化部内ニ於ケル活動ガ漸次旺盛  
トナリツ、アレニ見受ケラレレノデアリマス  
公 録ニ於キマシテモ昨年六月頃ヨリ  
一 郷ニ文化ヲ創造シテ日本文化ノ育成發展ニ寄與スル

一 消費的享樂的自由主義文化ヲ廢止シ縣民ノ生産的建設  
的活動ヲ促進スル

二 新地方文化ノ所産ニヨリ縣民ノ生活ヲ明ルク潤ヒアリ且力強ク  
モノトスル

ト云フ三目標ノ下ニ大政翼賛會縣支部ニ於テ文化部内ノ結成  
統一ヲ進メツ、アツクテ當時ノ某組織部長ガ積極的ニ乘出シ  
今年九月ニ至リテ畧、結成ヲ見茲ニ翼賛會縣支部ノ外廓固  
體トシテ福井縣文化翼賛聯盟ノ誕生ヲ見クデアリマス  
テ此文化翼賛聯盟ノ機構ヲ概畧申シマスト聯盟ニ直屬スル  
文化部内トシテハ思想科学藝術報道ノ四ツニ大別サレ各々其ノ下ニ文  
藝懇話會トク詩人會トク歌人會俳句作家協會美術協會  
音楽協會華道聯盟ト言フ夕色々小サナ部内ニ分レ又縣下ヲ



九地ニ分テ各地ニ夫々文化會トカ文化協會トカラ作り其又  
下ニ小部門ノ何々會ト云フモノガ出来會員數ニ至ッテモ數十名ヲ算  
スル一大組織ガ成ソテ居ルノデアリマス

勿論之ヲ指導統轄スル機關トシテ縣文化委員會ト云フモノヲ結  
成準備中デアリマスアレドモ言フ迄モテク此ノ文化部内ト言フモノハ  
彼等ノ合法活動舞台トシテハ最モ適シク組織形態ヲ有シ又一面  
左翼化サレ易イ性質ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ此文化翼賛聯盟  
結成ニ際シ活躍シタモノ、中ニ特要數名ガ特ニ異彩ヲ放ッテ居リマ  
ス、關係カラテ現在特要思注其他視察ヲ要スル者等合セテ十數  
名ガ其ノ會員トナリ會ヲ牛耳リ指導シテ居ル様ナ狀況ニアルノデアリ  
マス

本縣ノ現在ニ於ケル左翼分子ノ大キナ動キト申シマスト大体以上ノ

通シテ下ノマスガ斯カル情勢ニ對應シテ其ノ視察取締ヲ如何ナル  
方法ニ以テマツテ居ルカト申シマス

先ノ第一ガ重要視察デアリマス

即チ最モ注目スベキ主動人物ニ對シテハ一要視察人ニ一警察官ヲ  
配置シ居ルニ並ニ晝間夜間ニ於ケル間接尾行ヲ徹底的ニ實施シ  
視察担当者ハ責任ヲ以テ晝夜ヲ分マス視察内偵シ或ハ又正面ト向  
テ特局問題其ノ他ヲ扱ヘテ其ノ思想動向ヲ探究シ或ハ又常ニ通  
信官署ト連絡提携シテ通信文ノ裏面入手ニ努メテ居ルノデアリマ  
ス又通信文ノ裏面入手ノ結果生ムタ悲劇ノ一ヲ申シマスト先日某  
特要ノ下ハ縣外在位某ヨリ一通ノ封書ガ届テラレマシタ内容ヲ見マス  
ト多少左翼思想ノ抱持者ノ如ク見受ケラレマシタノテ發信人ノ所轄  
廳へ身許の査方ヲ最秘裡ニ照會致シマシタ所一外勤警察官ガ此

調査ニ當ツノモノヲ受信人ニ其事カ知レタ事實ガアリマシクガ之等  
ハ將來ト互ヒニ注意シナレバナラナイ所ダト思ヒマス。  
次ニ等カ之等文化同人ノ発行シテ居ル同人雜誌綜合雜誌類ノ分析  
檢討テアリマスガ

次、其ハ他關係ト緊密ナ連絡ノ下ニ遺憾ナキヲ期シテ居リマス  
先ニ申シテ、翼賛會文化運動ニ關係スル敦賀地方文化會ニ屬スル  
敦賀歌詠會ト云フ短歌同人、一グループニ在リマシテハ、三ノ特要ガ中  
ハトアツテ指導シテ居リ定期不定期ニ一個所ニ集合シテ歌ヲ詠  
研究シ合ヒ或ハ又傷疾軍人療養所ヲ訪問シテ慰問短歌會ナルモ  
閑作シテ傷疾軍人ノ短歌研究ヲ指導シツ、アリテ其ノ短歌ノ詠向  
ヲ見テモ建設的激勵的内容ノモノ少ク徒ラニ感世悲感の傾向  
持ニ斯ル方面へ、策動ニ對シテハ十分ノ注意警戒ヲ拂ツテ居ルデ

アリマス

之等ノ分子ノ會合ハ盡ク出席シテ視察シ或ハ徒ラニ出席セズシテ裏面ニ於テ  
内偵スル等表裏両面ノ視察内偵ヲ實施シテ居ルノデアリマスガ今日  
迄容疑ノ言動ハ認めラレナイデアリマス

最後ニ之ハ視察取締ノミノ向題デアリマセヌガ時局ノ重大ナルニ鑑  
ミ所謂特高警察網ノ確立ト云フ事ハ刻下喫緊ノ要事デアル事ハ  
申シ又追ヒ無イノデアリマスガ如何ニシテ此ノ限ラレタ警察官ヲ以テ  
倍加シタル警察事務ヲ完全ニ処理シ如何ニシテ最高度ノ能率ヲ  
發揮シ得レカニ付テハ、互ヒニ研究シナレバナラヌ所デアリマスガ從來  
特高警察事務ノ法ヲ共文字ノ示ス如クコレハ六ヶ敷イモノデアル一般警  
察官ノ爲シ得ベキ事デアハ無イト頭カラ寄ラズ觸ラズシテ來タノテハ、  
カト思ヒマスガ之ハ大ナル誤リデ特高警察ノ眞ノ本性ヲ發揮シ其ノ自  
60



改善

的ヲ遺憾ナク達成セシムルニハ全警察官打ツテ一丸トシタル特高警察網、確立乃至ハ再編成ヲ痛感サレハ所デ私ノ縣ニ於テ目下實施シテ、ヤリ又將來ナサントスル計劃、大要ヲ申上ケテ比留サレ御批判ヲ乞ヒ又緩分ナリトモ參考トモナレバ幸甚デアルト考ヘテ居ラス

共ニ第一ニ採リソ、アリマス、ハ一般警察官ニ對スル一巡回教養アリマス、從來共實施シテ考リマシク、目下實施シツアル所ノ教養方法、特段ハ各警察署毎ニ全署員ヲ參集セシメ本部ヨリ課長係主任等列席シテ從來ノ講義的教養方法ヲ廢シ座談的ニ相互研究シ意見ノ交換發表ヲシ合フ研究会ノ様ナ仕組デアリマス之ハ全署員ト懇話ノ合セテマルデ内容ハ比較的平易デアリマスカ一般外勤警察官ニ對シ如何ニ特高警察ノ重要ナルカラ再認識セシメ

又新任警察官ノ特高教養トシテモ相當效果アルモノト思ハレマス

次ニ特高主任者ノ會同デアリマスガ之モ從來ノ様ニ指示注意事項ヲ羅列シテ説明スルト言ツテ形式的ナモノデハナク縣下ヲ數ブロツクニ分テ座談的ニ意見ノ交換研究事項ノ發表研究ヲ主トシ如何ニシテ特高警察ノ萬全ヲ期サレカニ付檢討シ又ハ一般警察官ニ對スル教養ノ資料タルベキ事項ヲ提供スルノガ目的デ近ク開催ノ運びトナツテ居リマス、又將來實施スヘキ計劃中ノモハ各受持駐在所員派出所員ヲシテ部内ノ特高事情ヲ各方面ヨリ觀察シタル企画表ヲ作成セシメ自己ノ受持部内ニ於テハ特高警察上如何ナル方面ニ注目スベキカラ一覽表トナシ署主任之ヲ更ニ檢討シ刻マノ情勢變化ニ則應シテ適宜改正ヲ加ヘ其ノ對照物ニ對スル情況ヲ時々報告セシメル方針ヲ採ルベク目下

計画準備中デアリマス

其他關係係員トノ横ノ連絡ト相俟チ有機的一体ト為テ始メテ特高警察ノ真威カヲ發揮セシメ之ヲ縣政國政ノ上ニ活用シムルト云フ大目標下ニトシテ實行ニ移レテ居ル様ナ次第デアリマス

石川縣

警部

山崎與次

先般ノゾルゲ檢舉ニ依リマシテ若産黨員トスパイカ密接不離ノ關係ニアツタトイフ  
トガ解ツタデアリマスが其レニ就イテ共產主義運動ハ運動ノ方面ヨリ視察内偵ズル共  
ニ面ムバイノ方面カラモ共產主義運動ノ視察シテハナイト思フデス夫レニ就イテ  
科学的設備ガ要ルデアナイカゾルゲカ十年間日本デスパイシテキルニ拘ラズ檢舉  
レトカツタトイフコトハ日本ニ科学的設備ガ出来テキナカツタ為メデアイカト思フデア  
アリマス石川縣テハ部長殿ガ防諜ニ非常ニ御熱心デアリマシテ無電ノ方向探知機ヲ設置  
シタイトイフコトテ昨年縣方へ要求シテ設備資材購入ノ予算モ通ツテキルデアリマ  
スガナク、品物ノ入手ガ出来ナイノテ困ツテオマス何處カ外ノ府縣デ現在設テ  
居ラレル處ハナイカトイフコトヲ調べタデアリマスガ他ノ府縣デモ設備サレテ居ケイ様デ  
リマスニ外事ノ關係ニナルカモ知シマセンガ内務省トシテ補助金ヲ交付スルナリ方向探  
知機ノ資材ヲ世話シテ頂ケレバ非常ニ結構ト考ヘマス



石川縣

警部

山

崎

與

次

野口警部が病氣にて居リマス為私が代ツテ出マシク山崎デアリマス石川縣方  
テハ最近右翼ノ事件トシテ檢擧シタモガアリマセンガニニ大事件當時ソノ關係者  
ヲ数名檢擧シマシクソノ莫ニ付テオ話しタイト思ヒマス

金沢市ニ居ル右翼分子ノ官本、越村、谷内ノ三名ハ平素カラ非常ニ過激ノ言動カ  
リ警察トシテハ相与注意シテ居ツタデアリマス

所カンノ連中ガ神武会ノ運動ニ關係シテ居ツタノデアリマスガ之ノ運動ハナマ  
イト云フノデアリテ大剣塾ト云フモノヲ組織シテ之カ同志十数名ヲ糾合シテ中央ニ

於ケル北一輝、西田、税其他ノ軍ノ連中ト連絡ヲ採リ又金沢ノ師團ノ急進青年  
將校トモ連絡ヲトツテ居タノデアリ何カ不穩行動ヲアルノデアリカト思ハレ嚴重視

察シテ居ツタノデアリマス

然レ仲々之ト云フ確實ナ証據ヲ登見ズルコトガ出来ズ何トカ握リタイト云フ

ノテ郵便局等トモ連絡シテ視察ヲ続ケテ居ツタノデアリマスガ仲々材料が乏しく  
本ナイシテ非合法ノ手段テアルガ材料入手ノ爲ハ止ムヲ得ナイト云フテ本人不在  
ノ時ヲネラツテ家宅捜査ヲヤツテヤラウト云フコトヲ考ヘテ當時ノ隣家ト連絡  
ヲトツテ隣家ノ二階カラ本人不在中ニ捜索ヲヤツタノデアリマス  
所ガソノ結果所持品ノ中カラ不穩文書等ヲ発見シテ中央ト連絡ヲシテアル事實ガ  
判リ之ハ何カヤルノデハナイカト云フ疑ガ益々強マリ層嚴重ナ視察ヲシテ居ツタノデ  
アリマスガソノ矢先例ノニニ六事件一ガ發生シタノデアリマス 所ガ之ノ三名ノ連中  
ハニニ六事件發生ノ当日日本カラ携ヘテ石川縣知事ニ面会シタイト強要シ  
テ未タノデアリマス  
目的ハ知事ニ面会シテ臨時縣会ヲ召集セシメ中央ノ叛乱軍ヲ指持スルト  
云フ決議ヲサセル爲メデアツタノデス  
ソレヲ警察官ノ方デ阻止シタノデ本人ハ之ヲ怒ツテ警察官ニ切リツケ約一週向ノ傷害

○  
フ奥ハタノデアリマスガ其ノ場デ三名共檢擧サレタノデアリマス取調ノ結果彼等ハ中  
央ノ同志ト金沢師團ノ青年將校ト連絡ヲトリ中央ニ於テ反乱軍ガ蹶起シタ場合  
ニ天劍塾ハ同志ヲ率イテ縣廳ヤ市役所ヲ占據スル一方青年將校ノ連中ハ  
軍隊ヲ率イテ地方ノ重要ナル行政機構ヲ占據スルト云フ計畫ヲ建テ居ツタノデ  
アリマス  
所ガ昭和十年暮滿州ニ九師團ガ派遣サレタガ爲ニ青年將校ハ彼地ニ行ツテシムク  
ノテ軍方ノ行動ヲ起スコトガ出来ズ先程申シタノ様ニ七官ニ面会シテ臨時縣会ヲ開  
カセヤウトシタノデアリマス  
ニニニノ事件ハモウ少し視察ガ徹底シテ居ツタラバニニ六事件ハ其ノ發生ノ前ニ判ツタと思ハ  
ルノデアリマスガソノ出来ナカッタコトハ誠ニ残念デアリマシム 即チ事件發生ノ直  
前テアル二月二十三日ニ東京ノ同志カラ宮本宛手紙ガ来テ居ルノデアリマスガソレニ  
二十六日ヲ期シ在京同志結束シテ軍ヲ出動セシメ昭和維新斷行ノ烽火ヲ擧



地方同志六組新軍ノ赤誠ヲ上面ニ達スベク第一段トシテハ大學實力ヲ示シ知事ニ呈  
シテ昭和維新ニ賛成セシメ云々トノ密令ヲ未テ居タノデアリマシテソレヲ強要セル  
的ヲ持シテ居ツクノデアリマス

二十三日ニ宮下ノ邸ニ未テホル手紙が事前ニ入手出来タラバニニ六事件ハ恐ラク事前  
ニ探知サレト思ハルノデアリマスガ残念ナカラソレガ及バナカッタノデアリマス

現在テハ郵便局長トニ連絡シテ手紙ナドハコチラノ方カラ内容ヲケヨソリ知ラセテ  
ソレニテヤツテホル認デアリマス

山崎角

コノ問題テハ内偵線ヲ考ヘテナカツタノデスカ

石川縣

石トニ連絡シテ居ツクノテ結局ソウ云フ方面ガ欠ケテ居ツクト思ヒマス

石川縣

警部補

喜多ヲ三治

本年檢擧致シマシク人民戦線事件ニ就イテオ話シクイト思ヒマス

人民戦線関係者ハ本年一月ヨリ二月ニカケテ六名ヲ檢擧シタノデアリマスガ三名ハ現在豫

審ニ廻ツテ居リニ名ハ起訴猶予処分其ノ中一名ハ予防拘禁ニ附シテ残り一名ハ不起

訴ニテツテ居リマス此事件ハ昭和十三年ニ本縣ニ於テ檢擧シマシク人民戦線事件関係分子

ノ味デアリマス即チ昭和十三年ニ五名檢擧シタノデアリマスガ此五名以外ニ事件ノ中心人物ニ

ニ名ガ今事変ニ應召出征シテ居ツクヲ爲檢擧ヲ免テ居ツクノデアリマス処ガ昭和十四年

ニテツテ之等分子ガ歸還除隊後屢々合シテ居ル事實ガアリ再ニ蠢動シ始メテ如何認メラレタ

ノデア最重視察ヲ開始シタノデアリマス併下ヲ十三年ノ檢擧直後デモアリ事変ノ関係モアツテ

殆ニト表面的ナ動向ハ認ラレナカッタガ引続キ視察ヲシテ居リマスト昨年十月三日ニテツテ

十三年ノ事件ニ起訴猶豫ニナリマシタ石野栄作ト歸還除隊シマシタ淺井茂人ノ二人ガ取上

トシテ就取レテ居ル軍需工場朝日ミシン製造株式会社金沢工場ニ於テ期末賞與ノ巡ツク

傷争議ガ勃発シタデ左翼分子ノ就職シテキル工場デモアリ軍需工場デモアル関係上其  
發生原因思想的背景アリニアラズヤト思料サレマシタデ特高課長自ラ視察係ヲ伴  
ンテ工場ニ出張シレ其原因探究ニ当リマシタ 先ヅ其原因ノ探究ニ就キマシタハ合社  
側ノ争議ニ対スル状況ヲ内偵シタデアリマス処ガ其ノ左翼分子ノニ名ガ就カシテ屋上鉄  
工部ガ争議ノ発端デアルトガ解リマシタ又 争議ニ及シマシタ處ノ職工ニ就キテモ所  
轄係員特高課員ガ課長ト協クシテ所謂争議ノ指導煽動等ノ事實ガ無イカ付無ク内  
偵シタノデアリマス、ソウシマシタト左翼分子ノ石野栄作ハ平素極メテ眞面目デアリ  
又仕事モ極メテ實直ニ勤務ニ服シテ居ツタノデアリマスガ偶々争議ガ起リマシタ態  
度ガ一変シテ此際取テカ全部團結シテ会社ニシタナケレバナラナイ也或ハ又合社對シテ  
側ノ代表者ノ人選ハ職工ニ任シコト極メテ不穩且煽動的ナ言辭ヲ使シテキルコトガ判リ  
マシタ以上ノ様ナ状況デアリマシタ石野栄作ニ對シテハ應取調ベノ必要ガアルノデアリマス  
今人ヲ所轄署ニ檢束シテ檢束ト同時ニ本人ノ家宅搜索モシテ争議ニ関係シテ取工

取調ベタノデアリマスガ職工ヲ調テ見ルト取テ数人が石野栄作ヨリ昨年五月カラ争  
議ノ發生シタ十二月迄書籍ヲ借リマシテ回讀シテ居ツタ事實ヲ発見シタノデアリマス  
其書籍ハ長塚節著ノ『土』石坂洋次郎著ノ『聞犬図』阿部知二著ノ『所』外  
數冊デアリマシテ何レモ合法出版物デアリ見容疑ノ其ハナイノデアリマスガ此等ハ何レモ  
謂レ左翼的作家ノ著書テ其内容農村ノ疲弊犯罪ノ發生等ヲ通シ社会ノ矛盾ヲ暴  
露シテアリ全無左翼的意識ノ無イ取テ啓蒙スル爲メ斯ル初步的ナ合法出版物ヲ利用  
シテ職工ノ左翼的啓蒙ニ努メテ居タ容疑ガ濃厚トナリマシタ治維法違反トシテ  
取調着手方檢事局ノ方ト話シタノデアリマスガ左翼的文献トシテハ非常ニ低調デアリマ  
スノテ檢事局トシテモ躊躇サレタノデアリマスガ残存分子ノ合合事實ヤ争議ノ状況ヨリ  
シテ取テ漸次左翼的ニ啓蒙シ同志ニ獲得スベク活動シテ居タ事ガ確信ヲ持テルノ  
テ其旨ヲ強調シテ遂ニ檢事局ヲ動カシ一月二十日正式治安維持法違反トシテ石野栄作  
ノ身柄ヲ拘束シ嚴重ハ取調ヘテ續行シマシタ処石野栄作ハ頑強ニ否認シテ居ツタ



デアリマスが取調ベノ進行ニツシ昭和十五年一月頃ヨリ残存分子ト屢々合シテ現在ノ情勢  
下ニ於テハ所謂組合的ナ運動方法デハドウシテモイケナイ各自分共職場ニ於テ事ヲ大翼  
的ニ啓蒙シ同志ヲ獲得シ其目的ヲ達成シヤウトノ運動方針ヲ協議決定シテ浅井氏人等ト  
計リ目工場ニ於テ右運動方針ノ實踐活動ニ努メテ居タ事ヲ自供致シマシク二月十日  
関係者五名ヲ族擧シ取調上送トシタ事デアリマス

次ギニ彼等ノヤツテ居タ協議ノ内容ヲ御参考マデニ申シマスト

(一) 日本ハ將來政治経済外交ニ益々苦境ニ陥ル從ツテ國体ノ崩壞ノ虞ガアルカヲ當否ハ  
左翼分子ノ取締ヲ一層嚴重ニスルベアラウ我々ノ様ナ前歴者ハ十分警戒シテハバ  
ライイ從來カウナ組織的ナ運動ハ益々困難ナリ危険アルカヲ各自ハ自己ノ持場ノ範  
圍内ニ於テ活動スルコトガ最も效果的デアル

(二) 今後工場内ニ於ケル然ノ運動ハ産業報國會之ニ便乘シテ思想ノ啓蒙ヲヤルス取テ各種

ノ不平不満ヲ利用シテ勞資ノ対立ヲ計ルコト

(三) 煽動宣伝ニ際リテハ決シテ思想的ナ言辭ヲ用ヒズ自然的ナ形容ヲ以テ取テハ持  
ヲ自分等ニ引付ケナケレバナイ

(四) 同志ヲ獲得スル場合ニハ除々ニ取テ近寄り親密ナ關係ガ生ジテカラ之ヲ同志トスルコ  
ト又組合等ノヤウナ形式ヲ廢シ何時デモ閉争ニ動員レ得ルコトニ努ムルコト

(五) 勞資ノ対立ヨリ争議ヲ惹起セシメ其機ニ乘シテ全取テ閉争ニ動員シ益々紛糾  
セシメ勞働革命ノ機運醸成ニ努ムルコト

(六) 工場内ニ於テハ頻繁ナル同志ノ會合ハアラナイ暗黙ノ同志トシテ活躍スルコト

等デアリマス

最後ニ此ノ事件ヲ通シテ將來共產主義運動ノ觀察取締上労働争議發生シタル場合  
ハ表面的ナ原因ノミノ探究デナク飽迄モ其原因ノ真相ヲ把握スルトイフコトガ必要  
デアル事ヲ痛感シタデアリマス

又左翼分子が同志獲得ノ為メ最も活動シ易ク且多ク部面ハ工場労働者デアリマスヲ  
観察上吾々トシテ特ニ注意スル必要ガアルト思ヒマス

石川縣 警部補 越 田 善 太郎

其レテハ昨年暮迄學シタ四高在學ノ朝鮮出身者ヲ中心トスル  
事件ヲ申シマス此事件ハ本年七月六名起訴サレマシテ十名起  
訴一名不起訴トナリ目下予審中デアリマスガ 捜査ノ内容ニ  
就テ概畧申シタイト思ヒマス本件視察ノ端緒ハ昭和十五年  
三月頃漠然トシテ四高在學ノ朝鮮人ノ生徒テ共產主義ヲ研  
究シテイル者ガアルトイフ所キ込ミガアリマシタ四高在學ノ朝鮮  
出身學生ト云ヒマシテモ當時七名アリマシテ果シテドレガマシテ  
イレカ解リマセンノデイロク苦心シテ捜査シタガ結局七名全部  
ニ就イテ一應洗ツテ見ルヨリ手段ガテ一、テ三月末ノ休暇ヲ利用シ  
テ一奇ニ下宿ヲ洗ツテ見タ也 其ノ當時金澤ノ松山莊ト云フ  
アパートニ居リマシタ林應苞ト云フ文科一年生ガ相當ニ興味文藝



ヲ讀シテ居ル形跡ガアリ大體コレト云フ見當カツイタノテ本  
格約ニ視察ヲ開始シタノデアリマス

今年四月ニナリマストニ名ノニ級學校ニ受験シ新ニ四名ガアリシ  
クテ結局九名ニナツタノデアリマス此九名ノ者ガ互ニ行キ來レ  
テイレコトガ判リ尾行ニヨリ會合ノ事實ハ突テ止メルコトガ出来  
ルガ彼等同志ノ會話ハ鮮語テマルノテ會談内容ハナクハ鮮語  
ニイナウシテイル中ニ朴ノ所持シテイル花翼文献ニ増減アリ同  
志ニ面覽セシメテイル傾向が見ヘタノテ朴ノ花翼文献全部ニ一定  
ノ口印ヲ付テ誰カ持ツテイタモノデアルカトユウコトノ視察ヲ続  
テテイマスト其ノ目印シタ本ガ予想通り他ノ者ニ渡ツテイルニ  
ク發見セラノテ之ハ確ニ研究會モ拾メテイルトユウ見込テ引續  
キ捜査シテ居マシタガ確實ナ證據モ把ミ得ズ昭和十六年

四月ニナルト三名ハ卒業シテ十二名入り全部デ十八名ニナツタノデ  
アリマス此新入生ガ入ノマスト急ニ活潑ナ行動ヲ取ルマウニテソノ  
ノテ更ニ尾行ヲ増シ特ニ朴ニ對シ四月ニ互リ尾行專從ニシメ  
テイレ南ニ在ト云フ音ノ下宿屋ガ松ノ小学校テ習ツタ恩師ノ家  
テアリマシタノテ其ノ家ニ張込シタノデアリマス併シ張込シテ見テモ  
言葉ガ解ラナイカラ真相ヲ把メナイ様シ本ハ面覽シテイルシ會  
合モシテイル夫ニ裏面入手シタ通信並ニ學校ノ答衆等ニモ大  
膽ニイデテゴキーガ出テイルノテ彼等ハ非合法活動ヲヤツテイルニ  
間透ニナイトユウ確信ヲ得タノテ昨年十二月十日非常措置ニ  
ヨリ檢舉ニ着手シマシタ最初四名引張ルコトニナリ警視廳  
ノ協力モ得スシテ卒業生デアル衆大在学中ノ者モ一緝ニ引張ツ  
テ來キ拘留訊問等ヲヤツテイル中一十五日ニナル

視察係ノ方カラ後ニ致ツク連日ガ協議シテイルトイフ情報ノ  
知ラセテ察マシタ 茲ツク連日ニ證據湮滅サレテハ困ルト云フ  
テ即断テ取致ズ證據品タケ押ヘマシタ其レガ結局ヨカワタノテア  
リマス 便箋ニ組織ラシイ表ト一方ニ研究会ヲマツク事項ヲノ  
トシテ雜記帳ガチニマツクテ 庶事ニ報告シタ 迅ガ誰ノ指揮デ  
マツタカト云フコトデ小言ヲ頂イタノデアアルガ之ハイモノガ入手出来  
トイフコトデ結局功罪ヤースルト云フコトデ英ヒデ済シタデ  
アリマス

次デ又三月十八日英ニ次トシテ十三名ヲ檢舉シマシタガ調べ  
マシテ結果昨年新ニ生テ入ツテカラ波等ハ崔ノ下留ヲ真合新  
ニ朝鮮青年マルクス主義研究会 (畧称 Y.M.S.)  
云フ秘密結社ヲ結成シ河上肇著「近世経済学思想之論

ヲテキスト、シテ盛ニ共產主義ノ研究会ヲ開催スル他 昭和十四  
年以來コンバ 個人接觸等ニヨリ共產主義的朝鮮独立ノ啓蒙  
活動ヲマツテイタ全貌ガ判明シタノデアリマス

此事件ニ就イテ重大ナル失敗談ガアレノデアリマス 肝心ノテキストヲ  
逃シタノデアリマス 此レハ第二次捜査ノ際急イデ押ヘナケレバナ  
ラスト云フデチ分シテマツタノデアリマス 其ノ際慌テタメ肝心  
ノテキストヲ見落シテ来タノデアリマス 後カラ調べ見マスト  
其ノテキストハ崔ガ小説ノ構成ト云フ偽装シタ表紙ヲ作り本棚  
ノ中ニ入レテ置イタ為ニ見落シタノデアリマス

次デ波等ガドウシテサウ云ウ思想ニマツカトイフコトニ就イテ説明  
ヲ求メマシタ 迅我々ハハルハ達カラヤツテ来タ當時ノ昭和十四  
十四五年頃ハ支那事變ハ長期化シ日本人トシテ最も緊張ノ



要スル時期デアツタ然レニ高等学校ノ生徒タル内地人學生ノ  
思想動向ハ如何デアツタカ 彼等ハ余リニモ個人主義的デア  
ノ若シ中ニ愛國物ヲ言葉ヲ云フ者ガ居ルト 朝廷ヲ受ケル  
程ノ空気がアツタサウシク 中ニアツテ我々ハドウシテ斯クシタ  
カ持チニナラズニオカレヤウカ更ニ教授ハ學問ノ切賣リスルノミ  
デアツテ身ヲ以テ生徒ヲ引キツツテ呉レルトニウ愛情カナイ  
語氣振々ヲ斯クアラシメタノハ日本ノ指導者ノ責任デアルト云  
フコトヲ言ツテ居リマシタカ之ニ依リ現在ノ高等学校ニハ今日  
猶自由主義ノ者ガ如何ニ多イカト云フコトガ解ルノデアリマ  
シテ今後益々注意シナレバナラナイト思ツテ居リマス

富山縣 警部 和田 豊治 部

私ノ方ハ昭和十四年ノ白線グループニ就テオ話シテ見タイト  
思ヒマス 大体事件ノ内容ヲ述ベマシテ 最後ニ捜査ニ入ル迄カ  
ラ話ヲ進メナイト思ヒマス 此事件ニ致シマシテモ他ノ事件ニ致  
シマシテモトウモ 捜事ノ腰ヲ弱 一トイフコトデアリマス 此  
事件ニ就テハ捜事正ト一夜四時間有余ニ直ツテ激論シテ漸ク  
其中ニ三名ヲ檢擧スルコトニナリマシタガ先ツ落付イテ取  
調ベヤウトイフ 返ニ話ヲ定メタノデアリマス 其レデ此事件ノ  
捜査ニ入ル前ニ此高等学校内ノ文藝部ヲ中心トシタ口録  
グループノ内容ヲ誌シマス 此ノ白線グループハ機關紙 白線ニ出シ  
テ居ツノデアリマスガ 昭和十二年ニ第十三號ヲ発行シタノミデ  
其後出シテ居ラナイニハオウシイニイヌノテ仔細ニ検討スレ

同時ニ白線ケルノ行動ヲ視察シテ見マスト文藝同人ガ歌  
奈石ニ或ハ菓子屋ニ屢々會合スルトイフ氣配ガアリマシタノテ  
尾ツサウイフ氣配ガアルナラバ一應中心トナル文藝ノ者ヲ檢討シ  
ヘウイフデ先ツ搜查ニ入ルコトニ致シタノデアリマス 檢挙試  
案ヲ作りマレテ早速搜查ニ入ルトイフコトニナリマシタ其レデ私  
ノカノ係員ニ對シテハ諸君ノ手デ檢挙ニナル迄取ラセテモ  
其ノ中間ニ於テ報告事項ガアツタナラバ相テテ宿テシマツタ  
後ニ何時デモイ、カラ私ノ方ニ報告シテ呉レトイフ方法ヲ採フタ  
ノデアリマス 其レデ捜査員ハドウイフ方法ヲ採ソタカトイヒマスト  
先ツ自分下宿屋ハ附近ニ下宿スルコトニナリマシタ 下宿十一日  
十二日其頃ハ雲ガ降ルマウナ時期トナリマスノデ土木建築業者  
ガ相當山カラ歸ツテ來ル時期デアリマスカラ之ヲ利用シマレテ

二 本事業ニ携ツテ居ク者ガ下宿ヲ求ムルトイフ 訣テ中心人物ノ  
附近ニ下宿ヲ求ムルコトニ方針ヲ定メタデアリマス 相手ノ下宿  
ニ知ルマウナコトガアツテハ一ラナリイフコトニ注意シテ一應世帯  
道具ノ鍋釜トク市國トイフモノ迄モ運ンデ山ハ雪ガ降ソテカケ  
ナクナツタカラ下宿サセテ貰ヒタトイフヤウニ触レ込ンダノデアリ  
マスサウシテ張込ト尾行ニ重負ヲ置イテ取カ、リマシタ 内偵線  
ノ便ツタハ学生デアリマスガ文藝部ニ關係ノナイ者ヲ無愛  
關係ヨシテモ者ヲ発見シテ半強制的ニ其ノ弱矣ヲ窺ツテ  
内偵線ニ利用シマシタガ結局張込ト尾行ニ重負ヲ置イタノ  
デアリマス其間彼等ハ郊外電車ヲ利用シテ通学シマスノデ  
大体七時半ニ電車ニ乘リマスガ電車迄燃又取リテハ之ヲ迎ヘ  
大体二月上旬迄続イタノデアリマス 其間ニ於テハ雪ガ降ソテ相



當困難デアリマシテ、視察員ガ非常ニヨク働イテ呉レマシテ、  
ヲ離レ而モ下宿生活ヲ爲シ終始ニ階カラ其ノ行動ヲ注視シ出テ  
行フヲラバ此ニ人ハ後ヲツテサウシテ其間ニ於テ配違サレテ架ル  
テ紙ヲ御用聞キニ化ケテ其玄閑カラ其ノ手紙ヲ持ツテ來レトイフガ  
法ニ探メテ居ワメノデアリマス非常ニ冒險デアリマスガ之ヨリ他  
ノイサウニウマウニ二月トイフモハ寢食ヲ忘レテマツタノデアリ  
マス其ノ狀況ハドウユウコトデモイカラ詳細ニ目撃セヨトユウコトニ  
シテアリマス

雪時デアリマスカラ、彼等ハ時々スキーニ行キマスガサウユウ時ニ  
於テハ尾行者ハ同シマウニススキー服ニ身ヲ固メ之ニ隨伴スルト  
ユウ行動ヲ採リマシタガ之等ガ完全ニ成功シ檢挙後ノ取調ニ  
於テハサウニウ尾行者ヲ少シモ彼等ハ感付イテ居ナクワクノデアリマ

シ、第一次檢挙ニ際シテハ三人檢挙シマシタガ僅カニ三人デ多  
量ノ材料ヲ予ニ入レ更ニ第二次檢挙ニハ七名檢挙シ第三次ハ  
四名ト次々ト檢挙ニ成功シタノデアリマス

其處デ取調ヘニ就キマンテ私ノ方針トシテハ先ヅ一應取調ベノ  
以テ各ソノ者ハ必ス独房ニ收容スルトイフコトヲ嚴守シ而モ  
此房ニ收容スル場合ハ、彼等ニ對スル差入レハ一應一般ノ差入レハ  
サセナイ唯自費ニ依リ取調スル者モ取調ヘラレル者モ同シ控  
度ノ食事トシ寢具ハ自分ノ寢具ヲ使用サセルトユウコトニシメノデ  
アリマス其結果ハ非常ニ良カツタノデアリマス此ノ檢挙ニ當ツ  
テハ潜伏ト尾行者ハ非常ニ後ニ立ツタトユウコトカ考ヘラレマス  
其レテ富山ノ高等学校ハドウユウ学校デアルカトユウイテ申  
シ上テテ見ナケレバ解ラナイト思ヒマスガ富山ノ高等学校ハ大正十

二年ニ創設ニナリマシメ 七年制ノ高等学校ヲ大正十四年  
ニ初メテ募集シマシタカ何時ニ此學校ハ早イ期間ニ試験ヲ  
行ハシメ其ノ為ニ人材カ茲ニ集ツテ聚ルノデアリマス此高等学  
校ノ生徒ヲ募集早クドイツ語ノ教授トシテ美濃部運吉カ參  
ツタノデアリマス其時早クモ社會科学ノ研究カ行ハレ當時ノ社會  
科学ノ研究トイフヤウナコトニ關聯シテ初メテ昭和二年ノ学生事  
件トシテ檢査サレ其後ニハ引続イテ毎年檢査ヲ見テ居リマス  
下度此檢査ニ昭和七年度迄続キマシタカ昭和八年後ハ余リ  
檢査ニカ無カツタノデアリマスガサウユウ關係デ白線グループガ出  
シテ居ツタ白線カ中断シテ居ツタノデアリマス其レデ昭和九  
年前ノ此機關紙ヲ出シテ見ルト相當深刻ナモノガアツタノデアリマ  
ス同時ニグループ以外ニ映画研究会トイフモノガアリマシテ

モルターシユトニウ機關紙ヲ出シテ居リマシタ學校全体トシテ出  
シテイル校友會紙カウイフモノガアリマスガ所謂 昭和十二年ノ後  
ハ發行サレナイ様ニツタノデアリマス偶々モルターシユガ十二月ニ  
出サレタノデ之ヲ檢討シテ見マスト白線ノ映画研究会ハ必要ナ  
イテ言ハバ白線同志ノモルターシユニデアルトユウコトダ考ヘラマス  
當時ノ中心人物デアル 塚田庄平ヲ檢討シテ見マシタ此カ塚田  
庄平ハバンドバックト云フ名目ノ下ニ創作ヲシテ居リマシテ之ニハ  
余リ意識ガ現ハレテ居リマセンカ其次ノ白夜トユウ創作ヲ見  
マスト之ニハ相當ノ意識ガ出テ來テ居ルトイフヤウニ漸次更新  
シテイルノデアリマス大体以テ概畧ヲ申シ上ゲタ次第デアリ  
マス



富山縣 警部補 吉村茂人

富山縣 元ハニニ六事件関係ニ就キマシテ失敗シタノト成功シタノトアリマス

ニニ六事件関係ニ就イテ成功シタト云カラ最初ニ申上マス

其レハ不穩文書臨時取締法違反事件檢舉アリマスガ

ニニ六事件が勃発シマシテ当時検束シタノガ二十七名内一名ヲ内乱糾劾罪トシテ送局シタノアリマス

其ノ名ニ当時検束サレテ平夕者二名ガ中心トナツテ不穩文書ヲ発行シタノアリマス

此ノ檢舉ノ状況ヲ申シ上ケマス

帝都叛亂事件後不穩文書が発行サレルノアリカト云フノアリ續キ取締ラシテ居ツタノアリマスガ昭和十一年八月五日六日両日

更リマシテ富山縣石動郵便局ヨリ全國愛國運動者ニ宛テ「愛國」士ニ檢ス」トイフ不穩文書が郵送サレマシタ其ノ内容ハ愛國ノ士ハ二六事件ノ冤元ヲ繼イテ立ツテサウシテ昭和維新斷行ニ邁進シナケレバナラナイ」トイフ内容ナル内務大臣ニ對シテ稟申ノ結果勿論禁禁處分トナリマシタ

捜査ノ結果高岡市ノ中根松男以下六名ヲ檢挙シ在該公布后最初ノ檢挙ヲ見タ次第ニアリマス

二六事件 齊覽ノ原因ヲ申シマスト當時富山三十五聯隊ノ留守隊長ニシテ

延々中佐カヲ連絡ガアリマシテ直ニ捜査ヲ開始シタノニアリマス先ニ最初ノ捜査方針ハ石動町ヲ中心トシテ國家主義者殊ニ帝都放亂事件當時ノ檢束者ニ就テ重受ヲ置キ捜査スルニ及縣下全般ニ亘ツテ國家主義者ノ筆頭騰寫機所有者及州紙ノ購入先等ニ就キ捜査ヲ命ジサレ

捜査ヲ為シタノニアリマス 先心 石動署ニ於テハ管内ノ二六事件當時檢束セル立山塾同人太谷安次ヲ一時檢束シ取調べタルモ遂ニ事件ニ関係無キト判明シ釈放シタノニアリマス其ノ後一週間経ツテモ端緒無キ處ガ當時右翼ノ視察係赤尾部長ガ此事件ガ發生シマスト其ニ責任ヲ感マシテ是ガ非ヲモ檢挙シナケレバチライトスル意氣込テ國家主義運動者ヲ片端カラ調査シマシタ當時富山市柳町皇國青年前衛隊長

藤井清航

ヲ視察シマスト偶々カウイフ言ヲ聞イタノニアリマス

高岡ニキル中根松男ガ最近旅行シテ末テ私ノ家ニ寄ツタガ急モ態度ガ少シ違ワテキタト云フ言葉ニ「ヒント」ヲ得マシテ其レハ同人ヲ洗ハシチヤナイカトイフコトヲ課長ニ其旨報告シ協議シタノニアリマス 本人ハ言テ前科ニ犯モアリ其レニ感激性ノ強イ男ニアリ而カモ二六事件



ニハ検査サレテナル関係等ニヨリ有カナル容疑者トシテ先ス引致スルコトハ  
決定シテ高岡署ニ引致取調ノ結果速ニ犯行ヲ自供スルニ至ツタノテアリ  
又此ノ事件ヲ検査シテ結果判明ニテ特異ナ受ヲ申上マヌ

中根ハ不穩文書ヲ発行スルト当然警察ノ捜査アルコトヲ考へ所謂  
警察ノ検査防止策ヲ考へ其犯者ト協議ノ上ニ通リ之ヲ實行シ以  
テ捜査ヲ困難ニ導イタノテアリマス

一先ツ犯行ニ使用シタル用紙テアリマスガ用紙ハ地方ヲ買入レルトハ  
カラト云フノテ本人ガ旅行中ノ際岐阜縣高山町ノ或ル雜貨店ヲ買  
取ムテナルノテアリマス

二將眞版ハ高岡市ノ勤勞農民同盟事務所ノモノヲ使用セバ非常ニ  
同筆テアルガサインツ圍外ノ謄寫版ヲ使ハバイケナイト云フノテ國家主義  
者ト全然連絡ノナイ小學生ノモノヲ使ツタノテアリマス

三謄寫版ノ原紙ヲ切ラスノニ國家主義者ヲ使フトイフコトハ危險ナルト  
イフトコロニ國家主義運動ニ就イテ意識ノ無イ第三者ヲ利用シテ切  
ラシタノテアリマス

一又封筒ノ上書トイフモノモ國家主義者ニハヤラサインテ第三者ヲ利用  
シタノテアリマス

四投函ノ方法テアリマスガ縣内ニ於テハ危險ナルカラトイフモノモ  
縣ノ枚往町ニ入レルトイフコトヲ定塚トスフ者ニ依頼シタガ途チテ氣ガ  
重リテ動町テ投函シタノテアリマス

以上ノ如ク用紙ハ縣内ニ購入シナイ印刷ハ國家主義運動ニ関係シテ居  
者ニ担当サセルトイフ点ナド極メテ特異ヲモノテアリマス  
此ノ事件ヲ通ジテ將來執務上受ケタ不檢ヲ申上セマス

一國家主義者ノ動靜ハ細大トナク知悉シテ置クコトガ肝要ナル

中根松男が容疑者トシテ発見サレシタカ当時中根ハ相当  
長期ニ亘リテ旅行シテ来マス 即チ岐阜ニ行キ当地ハ名古屋ニ参  
リマシテ國家主義團體ノ者ト連絡ヲ採ツテ「ナルヤウ」状況下  
アリマスガ其ノ事實實ヲ所轄署ガ知ラナカッタノテアリマス

(二) 國家主義者ト全然關係ノナイ処ノ交際者友人ヲ平素調査シテ置ラコト  
本件ノ如ク全然主義ヲ同ジシテ居ラナイ友人特ニ小學校訓導  
ヲ利用シテ実行ヲ担多サシテナルトイフコトアリマス

(三) 謄寫版所持者ヲ徹底的ニ調査スルコト

最初學校トイフ方面迄ニ及バナカッタノテアリマス 後テ學校  
ノ謄寫版所持者ヲ押收シテ来マシタガ鑑ニ不穩又ハ歴然ト残ツテ居  
ラノテアリマスガ  
此処迄調査サシテ居タラバ容易ニ発見檢尋ガ出来タノテアリマス

#### 四) 國家主義者ノ思想指導ノ徹底ヲ期スルコト

主犯中根及大庭ノ兩名ハニニ六事件当時檢束シ後放  
ラ居リマスガ放ノ際徹底的ニ思想指導ヲシテ置イタラハ恐ラ  
ク斯様ノ事件ハ起ラナカッタノテナイカト考ヘマス  
放スル時ハ漫然ト放スベキモノテナク何処迄モ思想指導  
ヲシテ歸ラセルトイフコトガ必要アリマス

之レハ参考アリマスガ實行運動ヲ担多シマシタ定塚實ハ使喚サレ  
テカウイウ事件ヲ起シタノテアリマスガ事件後毒ハ離別シ去  
リシヲ憤慨シテ其ノ專ヲ殺害シ徵役十三年ニ処刑サレ目下  
服役中 テアルトスフ本事件ニ関連シテ一ツノ悲劇ガ起  
シタノテアリマス

(二) 次ニニニ六事件関係者ノ地方蹶起ノ不穩又書未発見ノ史跡ノ中  
78



シテマス

二二六事件ニ太田幸一ヲ檢束シテ取調ベノ結果凶犯計四  
罪トシテ送局シテ遂ニ不起訴処分ニ附セラレタリテアリマス  
處ガ

昨年太田ノ家カラ地方蹴起ノ不穩計画書ガ発見サレ石川縣

山崎警部殿ガ未縣連絡ガアリマシテ始メテ解ツタリテアリマス  
宮山縣トシテハ飛屋テアリマスガ取辱トシテ匿シテオラレナイカ  
ラキケマケテオ話シシマス

昨年十一月二十九日石川縣ノ山崎警部殿ガ未縣カレ玉川署署  
山刑事部長外一名ガ露店商人ヨリ入手セル不穩計画書  
ノ報告アリシ旨ノ連絡アツタムテアリマス

大ノ昨年十一月二十八日 金澤市ハ式ル露店商人ガ管下伏木

所ノ太田屋旅館(太田幸一ノ實家ニ投宿シニ階客向ノ長  
押ニ洋服ヲ懸ケントセル処長押ト壁トノ向カラ紙ノ一角分現  
ハレテキルヲ発見シマシタ 其レガ

縣廳其他ノ襲撃ノ地方蹴起ノ不穩文書テアリマス之ヲ持  
ツテ行カレ其レ石川縣ノ入手トイフコトニナリマシタ  
縣ニ於テハ内務省トイフコト連絡指揮ヲ仰テ此ノ事件ハ総局

時放ニカ、ソテキルトイフコト取調ベハ咀簡單ニシテ終ツタノ  
デアリマス 其ノ内容等ニ就イテハ省署ニマスガ此ノ事件ト通  
ジテ我々ガ注意シナケレバナラナイトイフ要ヲ参考ニ申シマス  
一 家宅搜索ノ徹底ヲ期スルコト

二ニ六事件當時本人ヲ檢束取調ベタリテ當時所轄署時  
高保ニ於テ家宅搜索ヲマツタリテアリマス 本人ノ居宅ハ宿屋

天アルノ示奉人ノ居向又ハ書齊ノ方ハ徹底的ニ捜索  
アリマスガ一般客問ニテガ居カカツタ客問ノ方ハ尚早ニ物  
式的ニ捜査シタ為ニ不穩之書ガ発見未ナカッタテアリ  
又此ノ事實弁覺後課員ヲ特派シテイロク徹底的ニ捜  
索ヲマツタ結果其ノ不穩之書ノ他ニ種ノ不穩之書ガ発見  
サレ又地圖モ発見サレテアリマス太田一ハ先ニ中ニテ  
ノ如ク証據不充分ノ故ヲ以テ不起訴處分ニ終ツタテアルガ  
當時此ノ不穩之書ガ発見サレテ居ル感ハ不起訴處分ニ  
終ラシムルコトハナカツタ今更ラ慚愧ニ堪エナイテアリマス  
四左翼ト翼ナリ右翼介子ト平素親シク交際ヲ為シ以テ行動ヲ視  
察スルニ付ハ犯罪取調ニ際シテハ相当毅然タル態度(内心)取  
ルコトガ肝要ナリ

平素ニ於テハ彼等ト偶ニハ酒ヲ飲ムコトモアリマスガく  
詔シテオルトモ彼等ガ冗談的ニ不穩行動ノ一端ヲ漏スコトガ  
アリマス  
昭和七年ノ時テアリマスガ私が視察係ヲシテキタ頃藤井上  
航ハカワイウコトヲ煽シタコトガアリマス  
縣廳ヲ襲撃スル時ニハ電話線ヲ切断スルトガ我々ガ隊ヲ  
組シテ道路ヲ休ンテキル丁度其ノ時軍隊ハ連絡ニシテ我々  
ノ隊ノ傍ニ休憩ヲスル其ノ時ニ軍隊ノ銃ヲ取ツテヤルノ旨ト  
イフコトヲ冗談ノ中ニ漏ラシタテアリマス其レヲ之レハ油  
断ヲラヌト思フツタテ其ノ後ノ言動ニ注意シテ居ッタテア  
リマスガ右翼ハ最悪ノ場合ニハ必ず不穩行動ヲヤルノタトイ  
フコトヲ考ヘテ居ラナケレバナライ彼等ハドウイフ計



副ヲマルカトイフコトヲ考へ其対策ヲ行ハナケレバナラナイ  
尚不穩計副ヲ考ヘテナルトイフコトニ着眼シテ檢禁ヲ取  
調ノ際ハ徹底的ニ之ノ裏ヲ追及スルトイフコトが昨要戸  
アルト痛感シタヤウ次第ニアリマス

(三) 次ニセ、五事件ノ失態ヲ申エケマス

七、五事件ニハ本縣ヨリ林晋平兄弟が参加シテ居リ  
マス

我々、東京ノ方カラ檢禁ノ命令ガアリマシテ初メテ兩名  
ノ参加事實ヲ知り檢禁シタト云フ状態ニ申譯ナイ  
失態ヲシタノニアリマス

島根縣出身ノ岩田孝三之不大道ノヤツテナル立山塾ニ入ツテ  
居リマシタノヲ林晋平、林佐夫朗ノ兄弟ト一語ニ指導

ヲ受ケテ居リマス

後滿州ノ立山分塾ニ岩田、林晋平ノ二人ハ居ラ同シマシテ  
滿人ノ指導ニ當リ國事ヲ論シテ互ガ肝膽相照ス仲トナ  
ツタノニアリマス

岩田が國內情勢ヲ憂へ滿州カラ歸リ其ノ後ヲ追フテ林  
モ亦直ク歸ツテ来タノニアリマス岩田が昭和十五年四月十五  
日上京シテ影山、前田等ト面會シテ「劍ノ無イ虎ハ  
繼新ハナイ」トイフコトヲ聞カサレ歸塾後之レヲ林ニ  
傳ヒ林モ亦之レニ共鳴シテ居リマス

其ノ後五月二十七日ニ岩田が立山塾ヲ去リ翌二十八日大  
東塾ニ入塾シタノニアリマス

同人が立山塾ヲ去ツクノハ如何ナル譯ニアルカトイフ内容ヲ

東塾ニ入塾シタノニアリマス

特高主任の交代  
を引継ぎの上を極

宛明しき電報がアツタが先分ホナカッタノテアリマス  
又其ノ頃視察係が駐在調査ニ連絡ニ行ツタ時ニ

駐在調査がドウモ最山山ニ行ツテモ林がワラキナクナツ  
キト云フニトテ言ツタノテアリマス」が結局カウイフ時が危イ  
ノテアルカラト警告戒ヲ急ラリル様指導シテアリマシタガ

其ノ右林が立山塾ヲ去リ実家ニ歸ツタノテアリマス如ガ  
家ニ歸ツテカラ所轄署が不断ノ視察ヲシテ是レハバヨ  
カッタノテアリマスガ

遠慮俟ラウ特高主任が代リマシタ當時ホアツタノテ林ノ實  
体ヲ知ラナカッタ林ノ視察ヲ欲イテ居ツタノテアリマス夫レ  
ガ為メニ急ニ尋ニガ林ノ短ニ自動車ヲホヤツテ末テ上京  
方ノ連絡ヲ付ケテ居ツタノテアリマスガ

田舎へ自動車ヲ末テ連絡ヲ付ケテ居ツタトイフコトヲ  
知レバ「ビ」ト末ナケレバナラナカッタノテアリマス如到々  
解ラナカッタカフイフ譯示十分視察スルコトが出来ナカ  
ッタノテアリマス

尚林音平ハ或ハ何カヤルガモ解ラマイトイフコトハ考ヘラ  
レテ視察サレテ居ツタノテアリマスガ  
弟ノ佐夫朗道が入ルトイフコト迄考ヘテ居ラナカッタ者  
時十ハカルテアリ結極其ニテ者ガトイフ位示輕ク見テ居ツ  
タノテアリマス

其處ニ注意シナケレバナラナイ矣ヲ申シマス  
一特高主任ハ視察係交代シマス時ニ其管内ノ情勢ヲ嚴  
密ニ引継ギヲヤルセル交代事務引継ニハ特高課が積極



的ニ干渉指導スル等其ノ管内ノ状況ヲ充分知ラセル其レハ  
ナイト十分視察ガ出来ズ緩慢ニナリマス

ニ其レカラ普平ノ弟一佐夫朗ガマサカサワイフコトヲヤル等ハ  
ナイトイウフウニ輕視シテ居ッタノテアリマスガ一族勤皇トイフ  
コトヲ考ヘマス今日サウイフ場合ニハ弟一アロウト兄弟一アラウ  
ト一切視察ニナケレバナライ表面ニ現ハレテキル者バカリ  
テナク家旗全体ノ視察ヲスル必要ガアルトイフコトヲ教ヘ  
ラレタノテアリマス

大体以上雜駁ニアリマスガ之ヲ終リマス

富山縣

警部補

吉村茂人

松ハ直接取調ヲシタ人が係長ヲヤツテキルノテ伺ツテ冬ツタノデアリマスガ引致レテカラ  
約一時間デ泥ヲ吐イテシマツタ事例ガアリマス

先程申上ゲマシタ不穩文書臨時取締法違反者中根松尾ヲ取調タ時ノコトデアリマ  
ス本人ハ二三事件ノ檢束ヲシ其後釈放シタノデアリマス勿論其ノ時不穩行動ハ日本臣  
トトテハ誤ツタ事デアルト云フコトヲ説諭シ之ヲ承服シテ釈放シタノデアリマス故ニ  
本人ヲ引致レテカラ<sup>本人ニ根拠當時心腹ハ偽リデアリマス</sup>改善ヲシテ居ラナイ本岩ノ多ヲ把テ居ラナイト云フコ  
トヲ淳々ト説イテ聞カセタ上少シ考ヘタラドウカト云フノデ約一時間程留置場ニ入レテ置  
キク後引出シテ所誠ニ濟マナカッタトスリクト事實ヲ申シタノデアリマス

(六非事務官)

コトヲ云フ其ヤツバリー帝ガ大事デス不前ノ警視廳第二係長ヲ一テキタ聞口ト云ク人ハ  
絶對ニ信賴ヲ置カレテ居ツタ影山ナドハ聞口サシテバ云ハナイアリ人ノ前テハ嘘ヲ

云ハナイト云フテオクルノデアリマス

云ハシ事ハ云ハナイト云フ様ニ判然断ツテオクルト云フ風デ極メテ誠意ヲ以テ話シテクノデアリマス

ソレカラ内口君ノ話デアリマスガ多少ハアノ事件ニ付テ警視廳ガ影山ト内口君トデ芝居ヲシクノデハナイカト云ハレタ位デアツタノデアリマス

当時私ハ警備課長ヲヤツテ居リマシタガ愈々明日ヤルト云フコトナツテ警戒ヲヤツテ呉レト云ランデ私ハ方テハ警視廳ノ警察官ヲ集メマシテ大臣礼遇頭官当

リノ警備ニ鉄帽ヲヤラセ警備サセタノデアリマスガ此処へ何人カ自動車ノ前向

白紙ヲ貼ツテ来ルカト云フノデア芝居ハナイカト云フ疑ヒヲカケラレタノデア

アリマス所ガソレガ言ツク通りヒレマツト當ツタト云フ事ハ内偵線ノ内偵

モアリマセウガソレヨリモ一歩進デ自分カ右翼分子デアレバソノ時ハドツズル

カ只單ニ警察官ト云フ最後ノ線ヲ忘レテハイケナイケレ共疑ノ眼ヲ以テ疑レテ

居タノデハソコ迄行ケナイ自分モ國家主義者デアル此処デヤラナケレバナラヌト

云フ場合ハ其処迄行ケバ感シラレト云フデアリマス之ノ人ハ非常ナ権威者デア

リマスカ我々トシテモ大イニ聞クベキ事デアラウト思ヒマス所ガ余リモソレニ固ツテ

オ前モヤルナラオレモ一緒ニヤラウカトナツテシマツタノデハイカント思フデアアリ

マス  
モウ一ツ尾行張込ト云ツク莫ニ付テ苦心ガアリマセウガソノ失敗成功ノ苦心ヲ衆

莫クテオ話願ヒタイト思ヒマス  
第一線ノ視察係ノ人ニオ願ヒシマス例ハ此向會同デ本間建太郎ヲ捕ル場合ノ

張込妻ヲ置イテアル所ハ此處ニ来ルニ遠ヒナイト云フ場合ニヨクモ付ケテオツテ所ガ

ソノ物チニ女ノ赤イ腰巻ガイツモテシテアルドツモオカシイトモツケテオクルト本人



富山縣 警部補 吉村 茂人

松ハ直接取調ヲシタ人ガ係長ヲヤツテ牛ルノ示伺ヲテ答ツタノ事アリマス  
ガ 被疑者ヲ

引致シテカラ約一時間位ヲ泥ラヒイテシマツタ事例ガアリマス  
先程申上ケマシタ不穩文書臨時取締法違反者中根松男ヲ取調ク時  
ノコトアリマス本人ハ三ニ六事件當時檢索ラシ其ノ右取放シタル事アリマ  
ス勿論其ノ取放時ニ不穩行動ハ日本臣民トシテ誤ツタ事ニアルト云フ  
コトヲ 説諭シ之ヲ承服シテ取放サレタノ事アリマス 故ニ本人ヲ引致シテカ  
ラ本人ニ取放當時ノ心境ハ偽リテアツテ未ダノ改善ヲシテ居ラナイ事  
當ノモノヲ把シ居ラナイト云フコトヲ淳々ト説イテ聞カセタ上少シ考ヘタ  
ラドウカト云フ示約一時間程留置場ニ入レテ置イタソシテ引出シタ所  
誠ニ指マナカッタトスラノト事實ヲ申シタノ事アリマス

長野縣 警部補 伊藤清人

長野縣ニ於キマシテハ今日迄縣ヲ中心ト致シマスル事件ノ發生ヲ見テ  
吾リマセン從ヒマシテ之ガ檢舉ノ體驗談トシテ申上ゲルヤウナモノガアリマ  
セン故ニ本省ヲ御指定ニナリマシタ第ニ、視察ニ関スル問題ニ就キテ  
詳畧ヲ申上ゲタイト思ヒマス

視察ノ方法ハ所謂視察線ニ依リマシテ其ノ狀況ヲ把握スルコト  
ハ勿論デアリマスガ視察係ノ視察ニ関スル信念ト申シマスカ如何  
ナル基礎ノ上ニ立ツテ視察ニ當ルカトシテ認識ノ下ニ視察目標ノ核心ヲ  
視察ガ実態ニ行ハレケレバ一ラナイトイフコトデアリマス

以テハ長野縣ガ天明三年以來明治初年迄經濟政治等ノ問題ヲ  
中心トシテ非法事件ガ六七十件モ發生シ其ノ性格ガ縣民性ニ中  
ニ流レテ來テ今日ノ經濟事情ノ中ニ立ツテイルトスレバ之ニ因ツテ受ケル



**縣民性ノ把握**

ト考ヘマスサウシテ一方ニ視察線ヲ強化スルト共ニ視察係ガ現實ニ真相ヲ捉ム迄進行カナレバナラナイノデナイカト思ヒマス  
本夏経井澤ニ於キマシテ政治面視察ノ一例ヲ甲上ゲマスト此迄ハ外人中央名士等多ク人ガ集ル所謂國際的避暑地デアリマシテ之等ノ人ノ出入ガ頻繁デアリマシタ其迄テ時局柄中央政情等ヲ中心ニ相當ナル動キガアルコトヲ相像致シマシテ此面ノ視察ヲ致シマシタガ人ノ出入關係ハヨク解リマスガ避暑地ニ於ケル之等ノ人々ノ動キガ如何ノ様ノマセン其迄テ特高課員ヲ情報係トシテ派遣シ時高談ヲ聞クトモ二前テ一層重テ知名士ニ會ツテ情報ヲ得ルト同時ニ其動向ヲ見マシタガ之ト同時ニ視察係ガ直接中心トナツテ動クト認めラレル知名士ノ動靜内容ヲ捉ムコトニ苦心ヲシメテアリマスガ此ノ視察係ノ現實ニ握ル

内容ト知名士ヨリ聞イタ時局情報ト人ノ出入ト比較推理シテ大体  
一ツ政治的動向ヲ捉ムコトガオホクゲ下ラ出来タマウニ思ツテ居リマス  
斯ク事情ヲ考ヘテ見テ職務遂行ニ當ル場合基礎的認識ノ把握  
一視察係自体ガ目標ノ核心ニ触レル視察ヲ行フトイフコトガ特  
ニ考ヘラレル譯デアリマス

長野縣 巡查部長 上 尾高 啓

産業組合関係治安維持法違反事件ノ檢舉ニ就テ

御指名ニ依リマシテ長野縣ニ於テ檢舉致シマシテ産業組合関係治安維持法違反事件ニ就テ申上タイト思ヒマス

事件ノ内容ヲ一〇ニ概括シテ申上ニスト産業組合ノ中火機関ヲアル産組中夫等  
中又生車 全縣餘全廠聯等ノ東京 神戶及大阪(内)計 仙台 北海道等ノ各  
出張所ノ若シ職負が大々ノ地方ヲ周東 周西 九州 東北 北海道 中火機関  
産組 青野聯盟(産青聯)ヲ組織シテ更ニ夫レヲ聯合シテ全國中火機関産業  
組合 青野聯盟ヲ組織シテ居ンテアリマスガ此ノ中機産青聯ノ中ニ夫々ノ各分  
子ヲ潛入シ其ノ指導權ヲ握リ各地方毎ニ横ノ連絡及縦ニ連絡スル左翼クルーパー  
ヲ成シ産業組合及産青聯ノ持ノ偉大ナル経済力組織力ヲ利用シテ全國的  
規模ニ於テ共産主義運動ヲ展開シテ表ヲ示シテ運動ノ方法トシ





啓蒙シ共産党宣言ノ交付トナツトアリマス

レニ依リテ東京カラ山口加藤ノ両名ヲ檢舉シテ参リマシテ取調ラシマス

トモ宣言ノ受ケケハ此方ニ大シテ追及シナイ中ニスラノ自供シタノアリ

マスガ其ノ他ノ受ハ左翼ノ危強ハシタガ実践活動ハシナイ、宣言ハ加藤カシ全購

聯テ勤務シテ居ル境況ト云フ者カラ供リテ寫シタモノアリト云フ申立テアリ

テアリマス

宣言ノ関係ハ彼等ガヌラノト申立テノ餘リ面白クナク其レ以外ニ必ズ何

ナルト考ヘ追及シタノアリマスガ彼等ハ其レ以外ハ絶対ニ否認シテ居リ何分

クも関係ノ人間ト違フテ從來ヨリノ捜査ノ資料ハナイシ彼等ノ家宅捜索

結果更ニ加藤ノ所持品ヲ検討シテ見マスト其ノノートニ「米ヲヨコセ土地ヲ

ト云フ字句が見付カツトアリマス

此ノ字句ハ御承知ノ通り党ノ活動ガ盛ニ行ハレタ時代執ラヒタ方針即チ

土地ト自由ノ為メ人民革命ト云フスローガン全農全会ノ土地ヲ農民ト云

フニ或ハ党ノ指導下ニ在ツタ米ヨコセ会ノスローガント實質的ニ一致スルモノガ

リマシテ加藤ガ実践活動ノ経験ガナイト云フ申立ト食ヒ違ヒガアルノ事其ノ事

實重ニ追及シタノアリマス。スルト案ノ定加藤ガ仙臺ニ居ル時代東北洋行

音聲ノ小崎道雄ト云フ男ト左翼的結合シ其ノ小崎カラ解説サレテ書イタモノ

アリト云フ事ヲ自供シタノアリマス。

更ニノートニ左翼之敵ノ書名ガ記載シテアリ加藤ハ自己所有ノ書籍名タ

ト云テ居タカ本人ノ所持シテ居タモノトナリタル内容ガ違フテ居タノテ其ノ

テヲ追及タルト此レモ昭和十三年秋頃山崎ノ友人ガ檢舉サレ自命テモ危陵カ

テテ追及タルト云ハレ其ノ書籍名ヲ書イテ置イタモノト云フ事ヲ陳述シテ



昭和十三年秋頃、検察ト云フ事トノ関係ヲ明カニスル爲内務省カラ頂イテ  
ル社会運動状況ヲ調査テ見マス大阪ニ於テ検察サレク日本共産党主義者  
團下部組織ノ産青聯ガルトノ関係者トシテ山崎道雄ノ名前ガ於テ未  
クハアリマス

従来遺メ申シ譯ナイ事ニカ内務省カラ頂イテ資料ニ其レ任ニ思ハスニ居リ  
マシテ此ノ事ヲ通シテ矢張り直接関係ノ有無ニ拘ラズ資料ハ大切アリテ究明  
ニ見ルベクイモノ事ト云フ事ヲソクシテ感シテ次第アリマス  
其レ依ッテ更ニ被疑者ヲ追及ニマシテ結果東京内司大阪仙谷等ニ活動ガ  
行ハレテ居ルコトガ判明シタノ事アリマス

此運動ノ一部ガ昭和十三年大阪府ニ検察サレ其他ノ者ガ繼續シテ更ニ運  
動ヲ擴大シテ居ルニホアリマス。此ノ状況ヲ本部ニ報告指揮ヲ受ケマス山崎  
宮城ノ方ノ関係ガカテ其ノ方ニヤリ東京ノ方ハ警視廳ハ他ノ事件アリ

一 春ノリラ 長野縣ニヤル様ニトノ事アリマシタカラ

長野縣トシマシテハ東京ヲ中心トシテ二十名検察シテ

先ニ申シマシタ様ナ事案ヲ究明シテ結果セ名ノ起訴ヲ見タノ事アリマス

運動ノ中ニハ正統派ノ労働者ニツノ流レガアリ更ニ産業組合ニ対スル共

主義ノ立場カラ分析之ガ利用ノ限度戰畧戰術等仲々ヤカマシイ理

論ガアリ係員一同其ノ究明ニ非常ナ苦勞ヲシタノ事アリマスガ其ノ長ハ省署致

シテ 支那事案後彼等ノ執ッテ居タ運動方法ニ就テノミニ一申上ラ見テ

コト思ヒマス

波等ノ支那事案前ノ運動ハ人民戦線ノ戦術ハ採用シテ居リマシテ階級斗  
争ノ形テ執ッテ居タノ事アリマスガ支那事案ノ発生ニ依ッテ從來ノ行キ方ハ  
許サレナクナリ一時活動ガ頓坐シタノ事アリマス。産青が産組当局ニ於テ戰時下國  
策ノ要請スル才依ニ協力シテ何等カノ活動ヲシナケレバナラナイコトニナツタノニ巧

二夜ニシテ

校同報國運動

ヲ展開ルニ至ソクノホアリマス。

後等ノ考ヘシ校同報國運動ノ内容ハ産業組合ガ農村ノ各部落ノ農事実行  
組合ヲ指導シテ農村校同報國建設スルトスニ在ルノホアリマス。

同ノ戰時ニ於テ國家ガ農村ニ要請スル處ハ農業ノ増産ホアリマス。處ガ現実ノ

困難ニ對シテ肥料其他資材ノ不足、青壯年ノ大量的出征ニ依ル人手不足ホアリマス。或シテ

此ノ要條件ヲ克服シテ國家ノ要請スルモノニ答フルニハ農業ノ近代化、協同化以  
トシテ之ヲ行フノホアリマス。

下リ後等ニ依リマス。ト日本農業ハ手労働ヲ主トスル遲シタル封建的労働ニ依  
リテ之ヲ労働ノ生産性が極度ニ低位ナルガ此レヲ更改シテ、労働ノ生産性を

高ルニハ農業ノ近代化、機械化、協同化ヲ圖ル以外ヨリナイ。此ノ協同化ノ方法ト

シテハ部落ヲ主体トシテ校同耕作共同耕作等ノ初歩的、端初的協同化ヨリ

シテ結局ハ部落全体ノ校同經營ヲ實現スル、即チ部落全体ノ所有地ヲ全部

共同經營トシテ、部落校同審議會ノ決定ニ從ツテ經營スル土地ノ所有者ニハ地

代、交付スルガ土地ノ管理利用ニ就テハ干渉サセナイ、耕作ニ從事シクモノニハ労働

者ニシテ排外ト云フ任組形式的ニ所有權ヲ認ムルガ實際ニハ共同農場トシテ

ノ内容ノモノヲ實現セントシテ居タノホアリマス。表面私有否認禁止ノ條

々ル事ノ因縁シテ實行ヲ取ラントシタモノホアリマス。

更ニ此ノ底ノ根底トナツタモノハ此ノ校同報國建設ノ策ニ依ル日本農業ノ近代化

協同化ハ即チ農業革命ノ遂行ニアルト云フノホアリマス。即チ共產黨ノ

對テアルニ般革命ノ前段ニアルナルヨリ、民主主義革命ノ大キイ要素

ハ農業ニ於ケル半封建的零細耕作地主的土地所有權之ヲ排除スルコトハ此



ノ前段の革命ノ大キヲ遂行スルニ相当スルモノアリマシテ彼等ハ此ノ農業革命ヲ國策支持ノ外觀ヲ持テ農村協同体ノ建設ト云フ方法ニ依リテ實現セントシタモノアリ國策遂行ヲ呼號シテナガラ共產主義ニ前(進)實ニ憎ムベキ

更ニ見外スコト出来ナイ莫ハ此ノ農村協同体ノ建設ニ依リテ日本人トシテノ忠君愛國ノ觀念ヲ崩壞セシメントシク莫クアリマス 御承知ノ通りマルクス主義者ニ依リマスト絶対制若クハ絶対主義ト云フモノハ封建社会カラ資本主義へノ過渡的形態ニアルト云フノアリマスガ彼等ハ我が國体モ合様此ノ絶対制

ニアルト主張シ三十二年テトセ等ニ於テハ明瞭ニ此ノ事ヲ主張シテ居リマス 此ノ絶対制ノ物質的基礎トシテ半封建的要素殊ニ農村ニ於ケル半封建的構

造ル地主的土地所有者ヲ中心トスル諸關係ニアルト云フノアリマス此ノ莫クハ當時ノ封建論爭ニ於テ強ク争ハレタ所ニアリマス

此ノ半封建的ナモノヲ農業ノ機械化機同化即チ農村協同体ノ建設ニ依リテ掃スルコトが出来ル 農業革命ニ依リテ絶対制ノ物質的基礎ヲ失ハシメ

ルコトが出来ル其ノ結果絶対制ノイテオロゾク據定ヲ崩壞セシムルコトが出来ルト考ヘタノテアリマシテ別ノ言葉示申シマス日本人トシテノ忠君愛國ノ觀念ヲ握リ崩スコトヲ狙ッタモノニアリマシテ此ノ一見ヲ見マシテモ彼等ノ企圖ガ如何

ニ不逞ノモノナルカガ解ルニテアリマシテ表面國策支持ノ建設活動ニアルト称シテモ決シテ油断ナラナイモノナルト云フコトヲ感ジタ次第ニアリマス

此ノ事件ノ取調ヲ通シマシテ感ジタ莫クニ就テ申上マス

第一ニ

運動ガ非常ナ自然性ト効果性ヲ持ツ大キナ経済力ト農村ノ隔、維持組織力ヲ利用シ産業組合ノ事業産青聯ノ運動ヲ通シテ企圖ノ實現ヲ圖フ

此ノ事トテアリマス産業組合ノモツ

此ノ事トテアリマス産業組合ノモツ

此ノ事トテアリマス産業組合ノモツ

ラ居タモノヲ関係者ノ大部分が産組中央機関ノ課長主事級ヲ一時代  
ルニバ必実共ニ産組ノ実権者トナル立場ノ者ヲアツクコトアリマス  
此等ヲ通ジテ見テ從來ノ党ノ政治偏重ミ代ツテ経済面ノ重視ノ方向ハキリツク  
ナルヤニ察セラレノテアリマス

第三

一 識分子ノ動向ニハ大ナル警戒ヲ拂フ要アリト思惟シテアリマス  
一 産組事件ノ次第金ノ蓄が大衆高等學校ノ卒業者ヲ陸軍左翼教壇ノコトラスニ  
一 教壇ノ教育ヲ受ケ更ニ學内実践運動ノ洗礼ヲ受ケタ者ガ澤山ニシテ  
一 産組ノ事ヲ言フ人ハ大正末期以降ノ大學卒業生ハ全部左翼トシテ  
一 居リマスガ其レ程極端ナ事ハ兎ニ角イニテリノ動向ハ將來相當注意  
一 ヲモノガアルト感ジラレタノテアリマス

第三

一 産組ノ要索ニ注意ヲカリマスガ非合法関係ノ莫ハ先程末御意見ガカリマシタコト  
一 目録ニマシテ合法的ナモノヲモ輕視スルナト申シタイノテアリマス 出末レバ後述  
一 念ヒ治ヲ警察ノ手ニ投ストスフ迄徹底シテ方執ルベキト思ヒマス  
一 産組事件ニ於テモ最初合法的ナモノヲ差支ヘナイト考ヘシ東大助教佐藤林  
一 海統計課長近藤康男ノ校同組合原論ノ如キガ左翼ヲ左翼書籍ヲ運  
一 動スルモノトシテ役割ヲ演ジテ居ル事ガ後カラ判ツク様ナ事例ガアリマス

第四

一 調査官ノ力ト技術ノ獲得ノ必要アリ喰ヒ付イタラ離サヌアルドツクノ如  
一 キ執拗ヲ必要トアリマス  
一 産組事件ニ何今難事件トアリマシタノテ調査官一同力ノ不足ヲ感シ將來  
一 信用ノ養成ヲ痛感シタノテアリマシテ調査ノ途中ニモ以前ノ運動ハ全録  
一 掘リテアツクガ現在ノモノハ砂金掘リテアルト云フテ莫ヒ合ツタノテアリマスガ



レテ熟練エトシテノ知識ト技術ガ要求サレル其レニ加ヘテトコトシテ究明シテ  
レバ止メニ熱心サト執拗サガ必要ナルト思ハレルノテアリマス。

前上ニ  
各府縣ノ連絡強化ヲアリマス。産組事件ニ就テモ感シタ事ヲアリマス  
加ハテ薩ガ門司勤務中俸給値上ノストライキノ関係者ヲ松本栄之助  
ト云フ男ガワツタノホホリマスガ如クノ申立ニヨルト松本ハ思想的ニモ何モ  
ナシト云フ事ヲワツタノテ大シタモノヲ示イノテ通報シタリシテモト考ヘ其ノ終  
ニシテ置クノテアリマスガ最近ノ特高月報ヲ見ルト此ノ松本栄之助ガ入  
政府ヲ被辱サレテ居リマス。私共ノ方モ当然通報シテ置クベキヲワツタノテ  
レテヤラスニ置クコトハ手落テアリマシテ此ノ事カラ考ヘマシテモ將來烈ヘ経  
度ノ輕イ関係者ヲワツテモ相互ニ通報シ合フ事ガ必要ナルト思ハレルノテ  
最後ニ産組事件ノ関係ノ事件ヲハアリマセンガ長野縣ヲ被辱サレシ

### 日本建設協会

事件ニ就テ一言申上タイト思ヒマス。

日本建設協会ハ御承知ノ通り東京ニ本部ガアリ川崎望雄 尾崎隆 等ガ  
中心トナツテ協同体建設運動ヲ展開シテ居タモノヲ長野縣ニ在翼分  
子ノ多数ガ之ニ参加シテ居タノテアリマス  
此ハ建ノ参加者三名ヲ本年ニ入ツテ検査シ取調べタノテアリマスガ其ノ  
結果運動ノ本流ハ純粹ナ共產主義ヲナク一國社会主義ガ指導精神  
トナツテ居ルコトガ判明シマシタガ此ノ一國社会主義ハ従来私共トシテハ大シク  
モノヲナイ餘リ莫イモノヲナイ位ニ思ツテ居タノテアリマスガ取調べテ見ルト仲  
々ドウシテ其ノナモノヲハアリマセン  
コミンテルント関係コソ持タイガ社会主義革命ヲ目的トシテ居リマスシ  
農業革命等ニ対シテモ大土地所有ハ無償収ト云フ様ナスローガン迄掲

ヲ居ルノホアリマス

当國体ノ問題ニ就テモ、ハツキリト変革ノ目的ヲ内包シテ居ルノホアリマシ  
テ純粋ナ共産主義ホナイカラ放任出来ルト云フ生ヤサシイモノホナイノ  
ホアリマス

コニテ現在戦時下國民ノ思想統化が要求サレル時、此ノ問題ハ相当重  
視スル必要ガアルト思ヒマス。此ノ一國社会主義が日本建設協会ノ指導精  
神トナツテ居タノホアリマシテ尾崎、川崎が一國派ナルコトハ勿論此  
ノ其後ニ當テ党中央部ノ主要人物が数多ク支持シテ居ル事實ト、日建  
ノ決定シテ建設綱領ト佐野、鍋山ノ意見ヲ収録シタ日本共産党及コミン  
ソニ批判トガ全クニツホアル事實カラ見マシテモハツキリシテ居ルノホアリマス  
事件ハ横事局ニ送致シタ結果ハ一國派ナル為ニ名共起訴猶ホリニテ  
リマシタガ斯様ナ新ニ形ノ運動ハ將來ニ於テモ各種ノ扮装ヲ執ツテ登場

テモ、ト思ヒマスノテ益々益成イ事ガアルト思料致シマシテ御参考並ニ甲  
上タ次第ホアリマス

以 上



# 労働農民例規

40/10



国立公文書館	
分類	③ 青
排架番号	3 A
	15
	40-10

1  
2

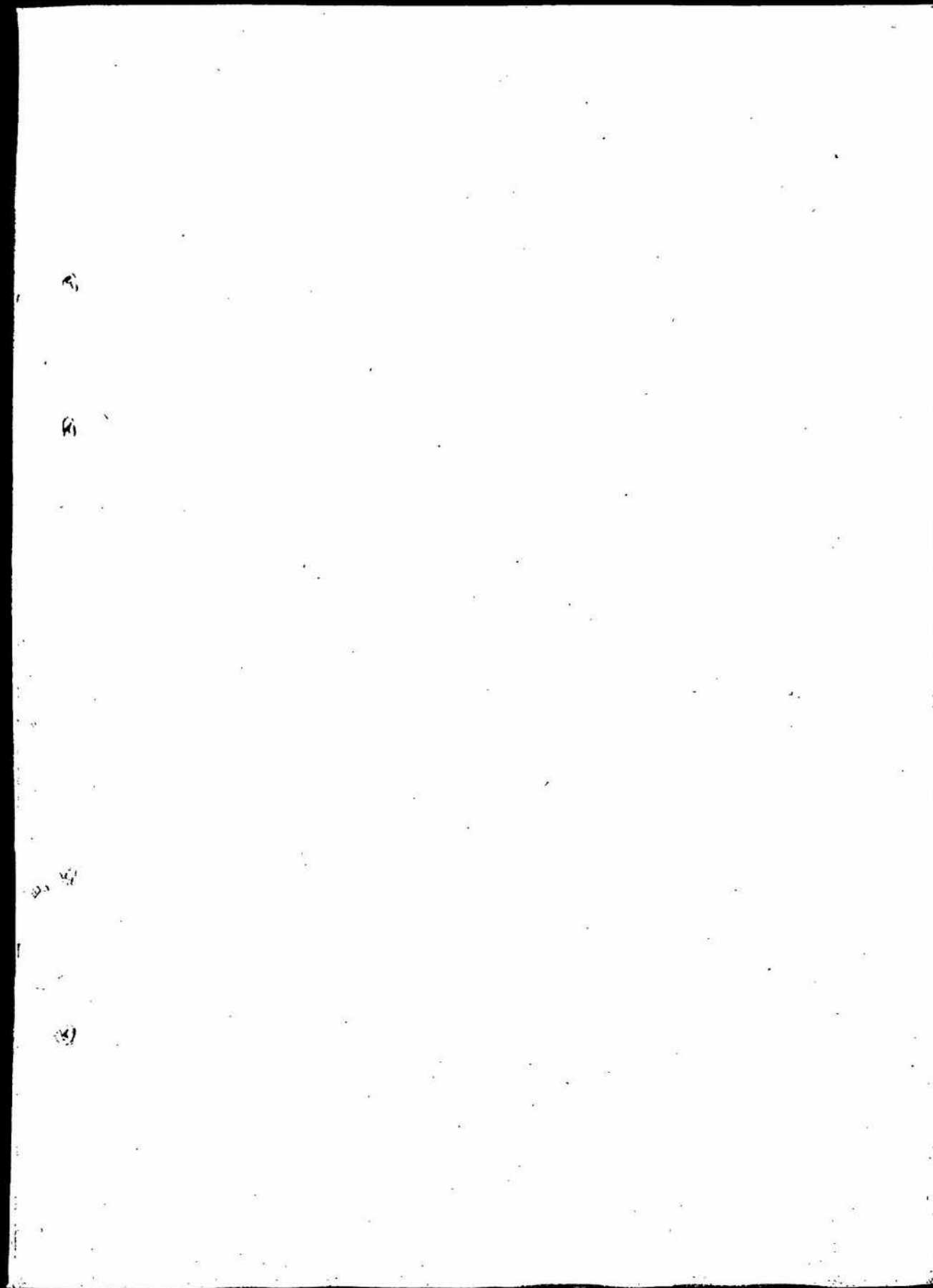




EXHIBIT V  
Ser 66-181-16 Jul, 46-17

40-10

執務心得

例規

別

# 労働農民例規

特別高等課

SHIPPING ADVICE# 10102  
SACK # 5  
ITEM # 1

国立公文書館	
分類	返 青
配架番号	3 A
	15
	40-10

EXHIBIT V

裏面白紙

めくれず

第 9 號

第 種 類 別

收第 九

發第

號 號

提出 昭和十七年

八月一日

日 印書

校合

送

八月五日

主任

警 察 部 長

特 高 課 長

係 長

主 任

管下各警察署長之訓達案

例規

年

月

日

警 察 部 長

先

勞働争議未だ停止、月報之件

埼 玉 縣

日本標準規格 B5 (182×257mm)

裏面白紙



(對稱) 昭和十六年三月十二日特高例規第七九號) 勞働爭議、未然防止ニ関スル報告ニ付テハ

對稱) 訓達ニ依リ報告ニ来リタル處ナル

カ爾今右報告ニ依ル、他左記様式ニ依

リ月報トシテ翌月五日迄ニ報告セラル

ル

記

埼玉縣

(由勞務管理局保局保局保局長通牒、左記以下  
全文)